

小金井市立保育園の在り方に関するアンケート調査【確報版】

I 調査概要

1 対象者

調査区分	対象者	対象数
保護者	市立・民間保育園に通う子どものいる保護者全世帯	2,984 世帯
市民	無作為に抽出した18歳以上の市民	2,000 人
保育者	市立・民間保育園で働く保育士	965 人

2 調査期間

▼2024年7月29日(月)～2024年8月12日(火)

3 調査方法

(1) 回答方法

▼スマートフォン・パソコン等によるオンラインでの回答

(2) 調査の依頼方法

調査区分	依頼方法
保護者	保育園を通じた調査ページへのアドレス・二次元コードが記載された依頼文の配付
市民	郵送による調査ページへのアドレス・二次元コードが記載された依頼文の送付
保育者	保育園を通じた調査ページへのアドレス・二次元コードが記載された依頼文の配付

4 回収状況

調査区分	配付数	回収数	回収率
保護者	2,984	942	35.1%
市民	2,000	460	23.0%
保育者	965	279	28.9%

5 留意事項

- ①回答者の属性の表中の「計」は設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比を算出するための基数である。
- ②表中の構成比はすべて小数点第2位以下を四捨五入して算出している。そのため、単数回答の設問でも数値の合計が100%にならない場合がある。
- ③複数回答の設問は、回答が2つ以上あるため、合計が100%を超えることがある。
- ④属性別のクロス集計の結果でサンプル数が少ないもの(50件未満)については、精度が低いため分析は行わない。

II 調査結果

1 保護者アンケート

II 調査結果

1 保護者アンケート

F 1. 年齢

単位：票、%

	実数	構成比
10代	0	0.0
20代	45	4.8
30代	638	67.7
40代	257	27.3
50歳以上	2	0.2
無回答	0	0.0
計	942	100.0

●回答者の95%は30代・40代で、中でも30代が66.7%で最も比率が高くなっています。

F 2. 性別

単位：票、%

	実数	構成比
男	149	15.8
女	782	83.0
その他	1	0.1
回答しない	10	1.1
無回答	0	0.0
計	942	100.0

●女性が83.0%、男性は15.8%となっています。

F 3. 就業状況

単位：票、%

	実数	構成比
フルタイムで働いている	767	81.4
パートタイムで働いている	157	16.7
働いていない	18	1.9
無回答	0	0.0
計	942	100.0

●98%は就業しており、81.4%がフルタイムで働いています。

F 4. 居住地区

単位：票、%

	実数	構成比
東町	153	16.2
梶野町	107	11.4
関野町	9	1.0
緑町	139	14.8
中町	107	11.4
前原町	98	10.4
本町	150	15.9
桜町	27	2.9
貫井北町	87	9.2
貫井南町	60	6.4
小金井市外	5	0.5
無回答	0	0.0
計	942	100.0

●東町が16.2%で最も比率が高く、以下、本町、緑町、梶野町、中町、前原町の順が続いています。

F 5. 居住年数 単位：票、%

	実数	構成比
1～3年未満	182	19.3
3～5年未満	237	25.2
5～10年未満	309	32.8
10～20年未満	121	12.8
20年以上	90	9.6
小金井市には住んだことがない	3	0.3
無回答	0	0.0
計	942	100.0

●5～10年未満が32.8%で最も比率が高く、10年未満の方が8割弱を占めています。

F 6. 通園児童との関係 単位：票、%

	実数	構成比
母親	782	83.0
父親	153	16.2
祖母	0	0.0
祖父	2	0.2
その他	5	0.5
無回答	0	0.0
計	942	100.0

●母親の回答が8割以上と比率が高くなっています。

F 7. 同居家族 単位：票、%

	実数	構成比
配偶者・パートナー	911	96.7
子ども	902	95.8
子どもの配偶者・パートナー	6	0.6
孫	0	0.0
父・母	23	2.4
祖父・祖母	14	1.5
兄弟・姉妹	7	0.7
その他	1	0.1
無回答	1	0.1
計	942	100.0

●「配偶者・パートナー」、「子ども」以外は比率が低く、ほとんどが親と子どもからなる核家族世帯となっています。

F 8. 通っている保育園 単位：票、%

	実数	構成比
市立保育園	209	22.2
民間保育施設（認可保育園・認定こども園・特定地域型保育事業）	725	77.0
市立保育園と民間保育施設の両方	8	0.8
無回答	0	0.0
計	942	100.0

●通園している保育園は、民間保育園が77.0%、市立保育園が22.2%となっています。

II 調査結果

1 保護者アンケート

Q1. 保育園の選択にあたって重視すること（複数回答）

	全体	市立保育園	民間保育施設	市立と民間両方
	(942)	(209)	(725)	(8)
1 立地（自宅に近い、職場に近い、送迎しやすい）	85.8	82.3	86.8	87.5
2 保育園の周辺の環境がよい（公園、自然環境など）	34.9	45.9	31.7	37.5
3 保育時間の長さ（朝・夕・土日祝日の対応など）	26.9	15.8	29.9	37.5
4 低年齢から入園できる	29.2	26.3	30.2	12.5
5 障害のある子どもなどを受け入れている	3.1	7.7	1.8	0.0
6 安全・防災対策、感染症対策などがしっかりしている	15.7	18.2	15.0	12.5
7 保育方針・理念	32.0	35.4	31.0	25.0
8 特色のある保育をおこなっている	9.9	4.3	11.4	12.5
9 保育士の子どもへの接し方	31.3	38.3	29.5	12.5
10 子どもが楽しそうに生き生き過ごしているから	29.1	36.8	26.8	37.5
11 保育士などの人柄	31.0	34.9	29.8	37.5
12 保育士の人数が多い	9.4	12.0	8.7	12.5
13 保育士にベテランが多い	9.8	26.3	5.0	12.5
14 園長が信頼できる	19.4	25.4	17.9	0.0
15 給食の内容	16.7	26.8	13.9	0.0
16 周辺での評判	14.4	17.7	13.1	50.0
17 大規模園だから	6.2	11.5	4.6	12.5
18 小規模園だから	4.5	2.4	5.1	0.0
19 運営が安定し、長く続いている	15.7	31.1	11.3	12.5
20 保護者からの質問に対する職員の対応	10.1	15.3	8.7	0.0
21 保護者に連絡帳（アプリ）などで子どもの様子を知らせてくれる	13.3	12.4	13.4	25.0
22 園舎が広くゆとりがある	19.4	34.9	14.9	25.0
23 園庭の有無	40.6	61.2	34.3	62.5
24 施設や設備の清潔さ	33.5	24.9	35.9	50.0
25 施設や設備の安全性	18.9	15.3	20.0	12.5
26 兄弟姉妹が通っていた	13.9	18.7	12.7	0.0
27 近所の同年齢の子どもが通っている	2.3	2.9	1.9	25.0
28 公立保育園だから	7.6	31.6	0.8	0.0
29 民間保育園だから	3.3	0.0	4.3	0.0
30 その他	4.5	2.4	5.0	12.5
無回答	0.1	0.0	0.1	0.0

【全体】

- 全体では、「立地（自宅に近い、職場に近い、送迎しやすい）」が 85.8% で最も比率が高く、立地が重視されていることがわかります。
- 立地以外では「園庭の有無」「保育園の周辺の環境がよい（公園、自然環境など）」、「施設や設備の清潔さ」、「保育方針・理念」が 30～40% 台で続いています。

【通園する保育園の種類別】

- 市立・民間ともに、全体結果と同様に「立地」が 80% 以上で最も比率が高くなっていますが、「園庭の有無」は、市立では 61.2% で第 2 位となっているのに対し、民間では 34.3% で第 3 位となっています。
- 市立では民間に比べて全般的に比率が高い項目が多くなっています。また、市立では「公立保育園だから」が 30% 以上と高く、公立保育園へのこだわりが表れています。
- 一方、「保育時間の長さ（朝・夕・土日祝日の対応など）」や「施設や設備の清潔さ」では民間が市立を 10 ポイント以上上回っています。

【保護者と市民との比較】

		保護者	市民
		(942)	(460)
1	立地（自宅に近い、職場に近い、送迎しやすい）	85.8	93.7
2	保育園の周辺の環境がよい（公園、自然環境など）	34.9	57.4
3	保育時間の長さ（朝・夕・土日祝日の対応など）	26.9	53.7
4	低年齢から入園できる	29.2	37.9
5	障害のある子どもなどを受け入れている	3.1	14.7
6	安全・防災対策、感染症対策などがしっかりしている	15.7	57.4
7	保育方針・理念	32.0	35.3
8	特色のある保育をおこなっている	9.9	8.4
9	保育士の子どもへの接し方	31.3	58.9
10	子どもが楽しそうに生き生き過ごしているから	29.1	54.7
11	保育士などの人柄	31.0	47.4
12	保育士の人数が多い	9.4	30.5
13	保育士にベテランが多い	9.8	15.3
14	園長が信頼できる	19.4	40.0
15	給食の内容	16.7	32.1
16	周辺での評判	14.4	42.6
17	大規模園だから	6.2	2.1
18	小規模園だから	4.5	2.1
19	運営が安定し、長く続いている	15.7	32.6
20	保護者からの質問に対する職員の対応	10.1	36.3
21	保護者に連絡帳（アプリ）などで子どもの様子を知らせてくれる	13.3	25.8
22	園舎が広くゆとりがある	19.4	33.2
23	園庭の有無	40.6	42.6
24	施設や設備の清潔さ	33.5	39.5
25	施設や設備の安全性	18.9	40.5
26	兄弟姉妹が通っていた	13.9	12.1
27	近所の同年齢の子どもが通っている	2.3	7.4
28	公立保育園だから	7.6	11.6
29	民間保育園だから	3.3	1.6
30	その他	4.5	0.5
	無回答	0.1	0.5

- 市民では保護者に比べて全般的に比率が高い項目が多くなっています。
- 市民・保護者ともに最も重視しているのは「立地」で90%前後となっています。
- それ以外では、「安全・防災対策、感染症対策などがしっかりしている」などで、市民が、保護者を40ポイント以上上回っています。
- また、市民では「保育士の子どもへの接し方」や「保護者からの質問に対する職員の対応」などの職員の資質の面を重視している人が多くなっています。

II 調査結果

1 保護者アンケート

Q2. 通園している保育園で感じていること（複数回答）

		全体	市立保育園	民間保育施設	市立と民間両方
		(942)	(209)	(725)	(8)
1	子どもは毎日楽しく通うことができている	87.0	87.6	87.2	62.5
2	子どもの活動が豊かで、家庭では体験できないような体験ができている	72.2	74.2	71.7	62.5
3	安心して子どもを通わせることができている	79.0	79.9	78.6	87.5
4	子どもの年齢にそって発達のことや、子育てに関する知識を教えてくれる	47.2	49.3	46.8	37.5
5	子どもの日々の様子を、愛情を持って伝えてくれる	64.5	66.0	64.1	62.5
6	生活その他のことで困難な状態になったとき、寄り添って支えてくれる	28.7	34.4	26.9	37.5
7	子どもの発達に不安があったとき、子どもをしっかり見て対応してくれる	29.1	35.9	27.0	37.5
8	該当するものはない	1.3	0.0	1.7	0.0
	無回答	0.4	0.5	0.4	0.0

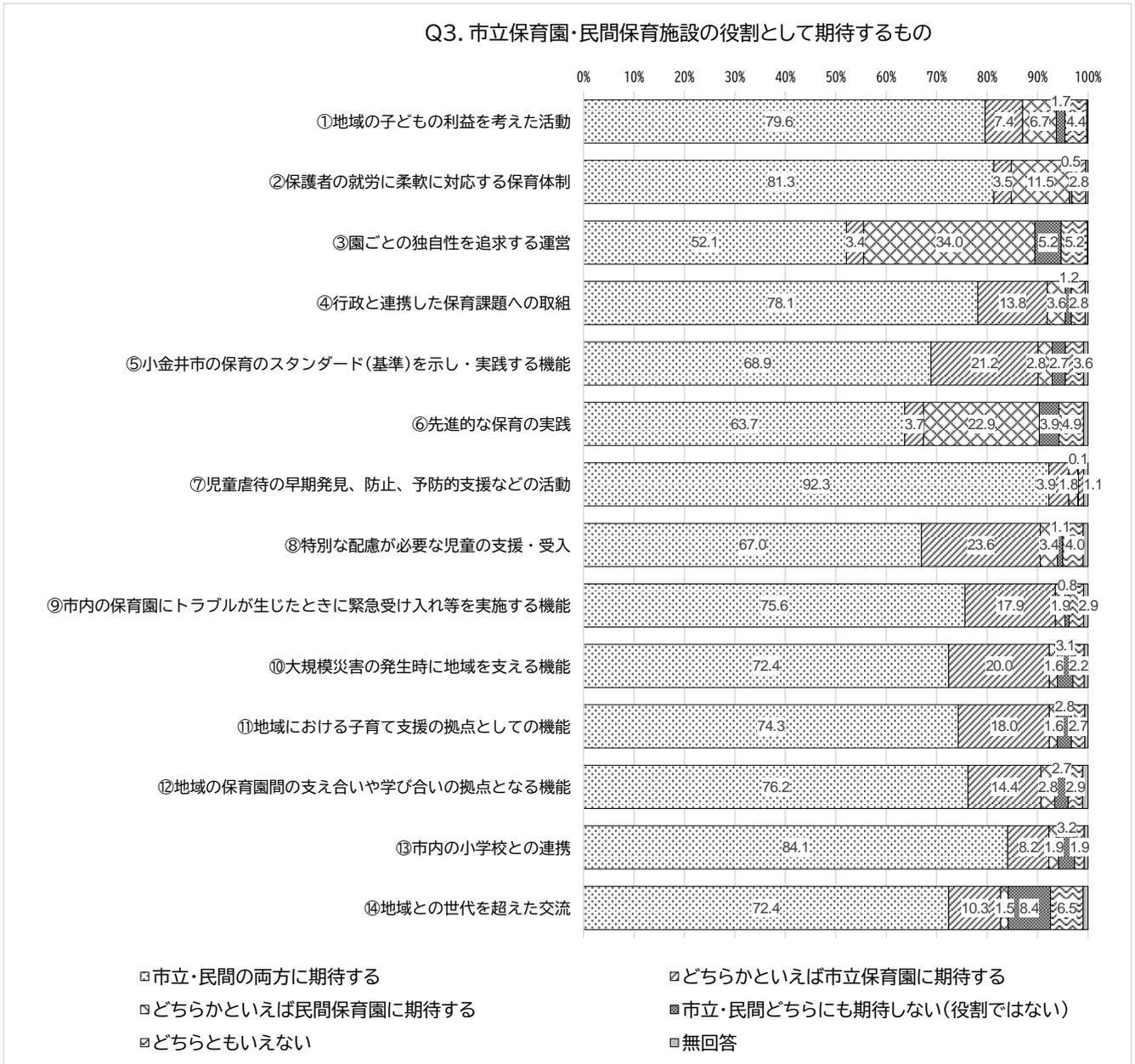
【全体】

- 全体では、「子どもは毎日楽しく通うことができている」が87.0%と最も比率が高く、以下、「安心して子どもを通わせることができている」、「子どもの活動が豊かで、家庭では体験できないような体験ができている」、「子どもの日々の様子を、愛情を持って伝えてくれる」が60～70%台で続いています。

【通園する保育園の種類別】

- 市立と民間では回答の傾向に大きな違いはありませんが、「子どもの発達に不安があったとき、子どもをしっかり見て対応してくれる」や「生活その他のことで困難な状態になったとき、寄り添って支えてくれる」では、市立が民間を10ポイント弱程度上回っています。

Q3. 市立保育園・民間保育施設の役割として期待するもの



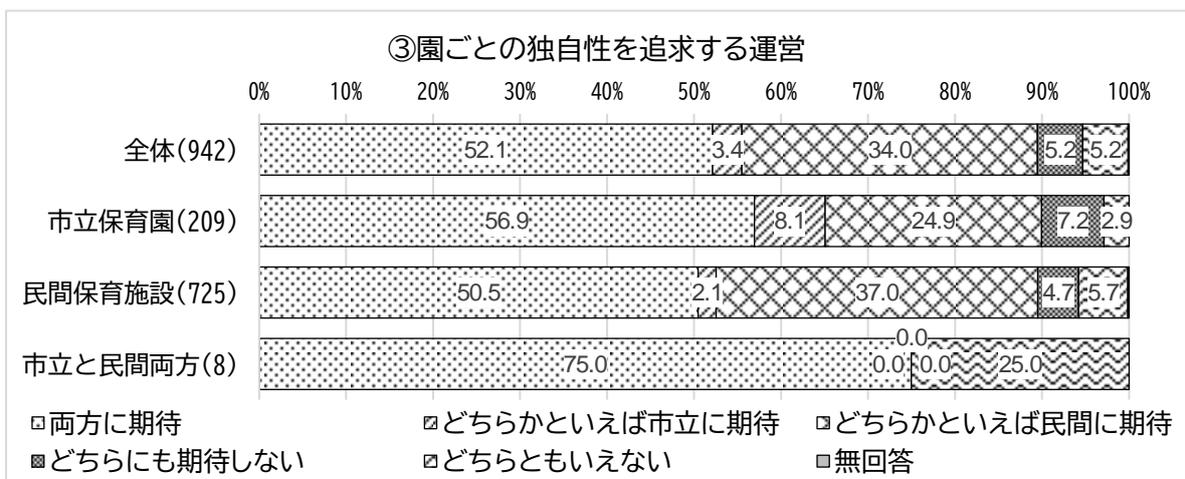
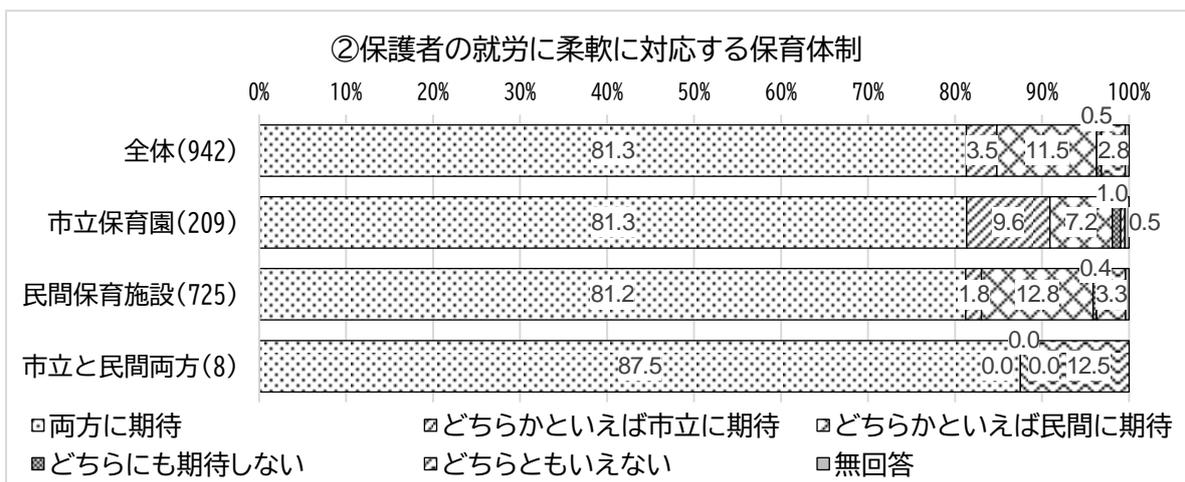
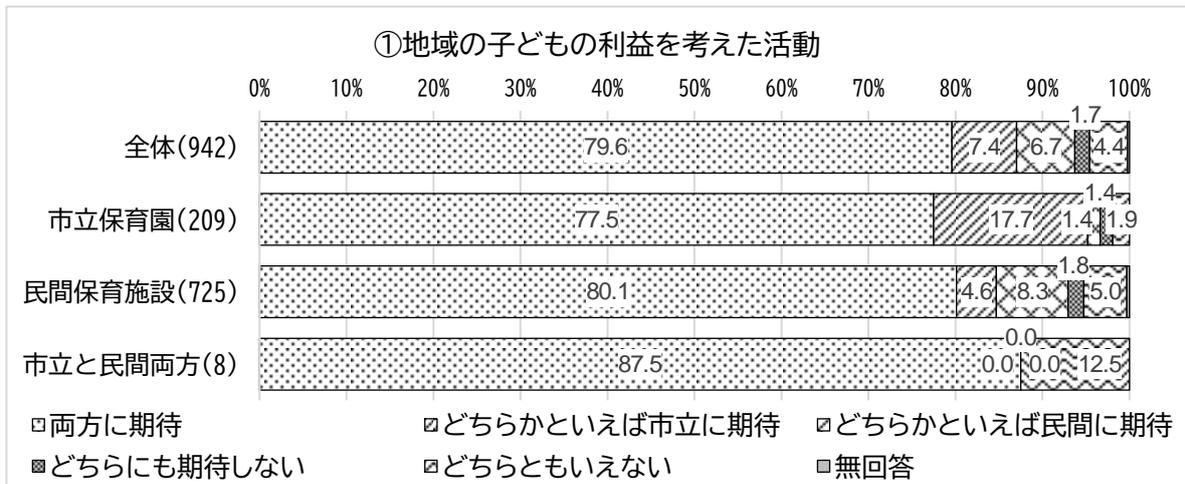
【全体】

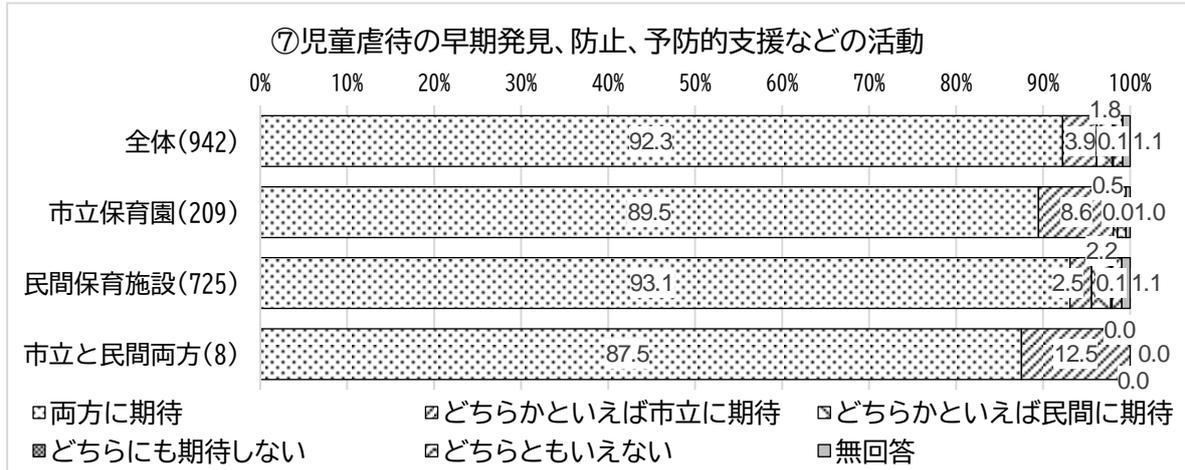
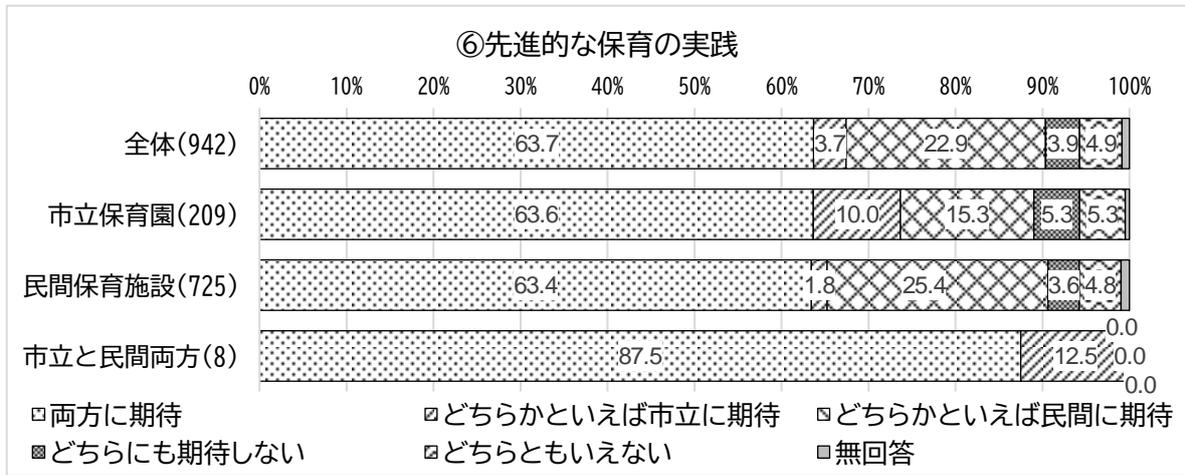
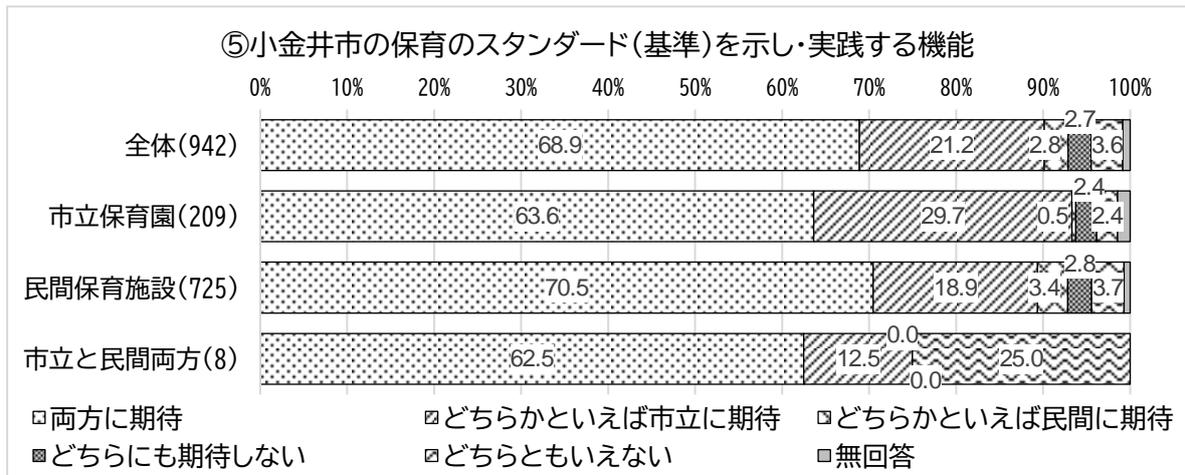
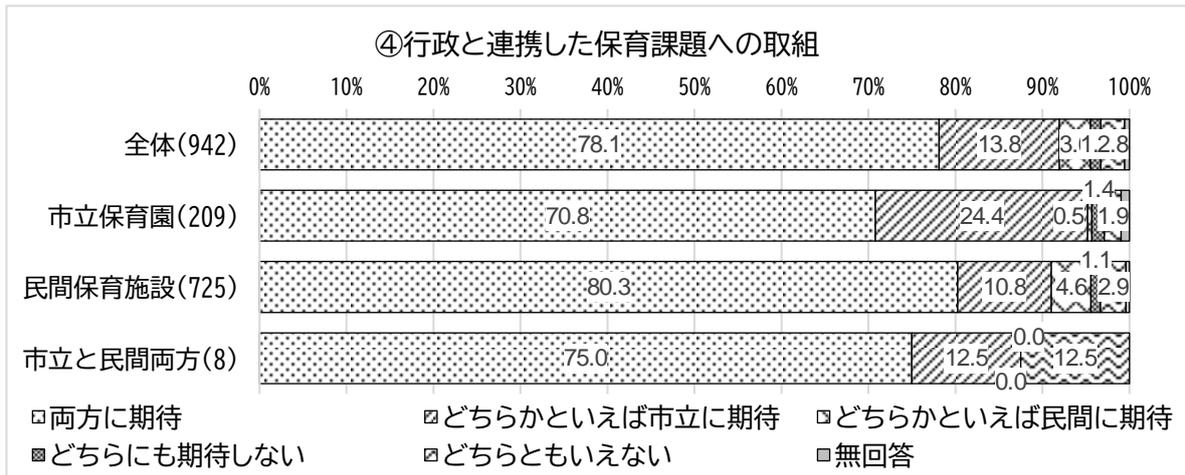
- 「市立・民間の両方に期待する」は、すべての項目で50%以上となっており、特に「⑦児童虐待の早期発見、防止、予防的支援などの活動」では90%以上、「⑬市内の小学校との連携」や「②保護者の就労に柔軟に対応する保育体制」では80%以上となっています。
- 「どちらかといえば市立保育園に期待する」は、「⑧特別な配慮が必要な児童の支援・受入」、「⑤小金井市の保育のスタンダード(基準)を示し・実践する機能」、「⑩大規模災害の発生時に地域を支える機能」で20%台と比較的高くなっています。
- 「どちらかといえば民間保育園に期待する」は、「③園ごとの独自性を追求する運営」で30%台、「⑥先進的な保育の実践」で20%台となっています。
- 「市立・民間どちらにも期待しない(役割ではない)」及び「どちらともいえない」はすべての項目で10%未満となっています。

II 調査結果
1 保護者アンケート

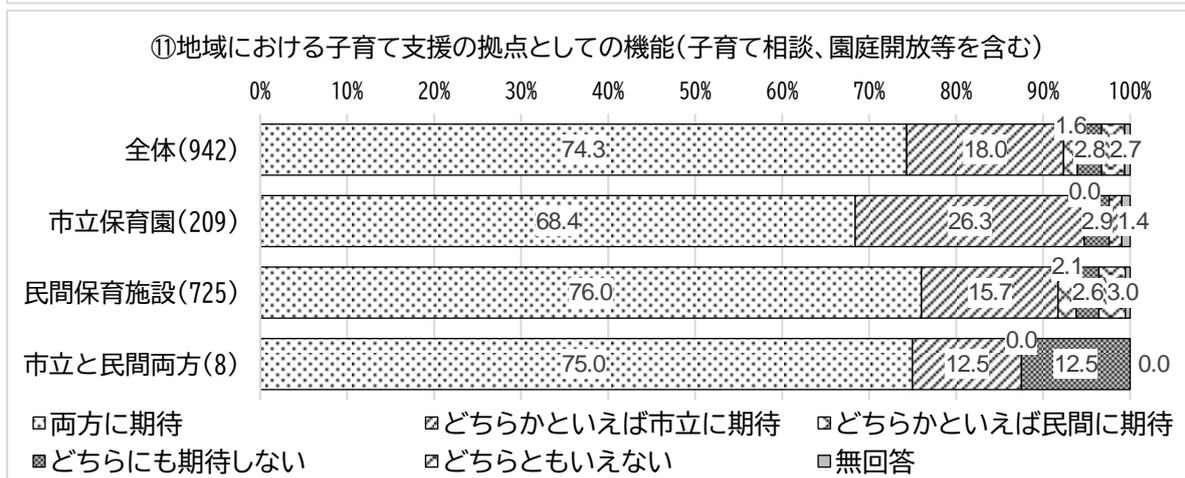
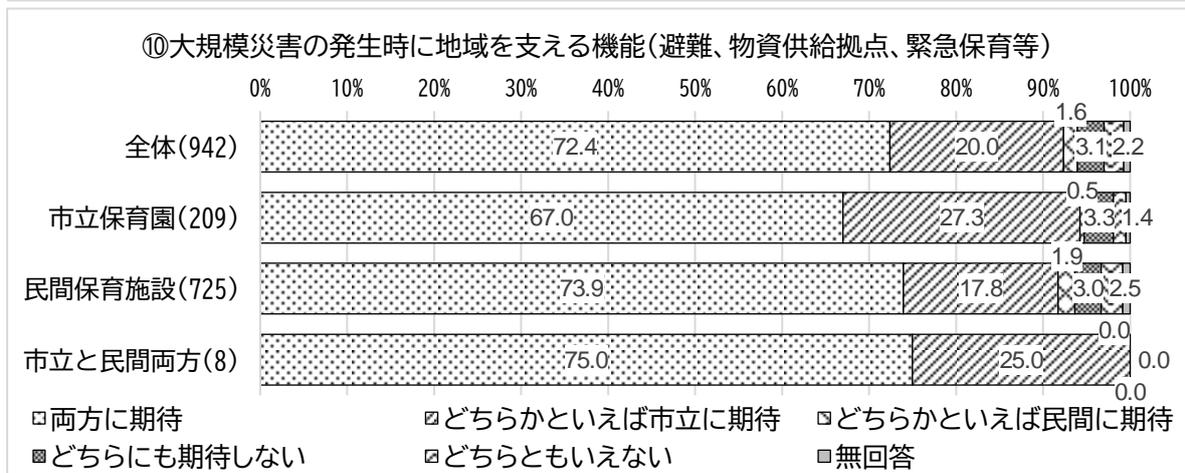
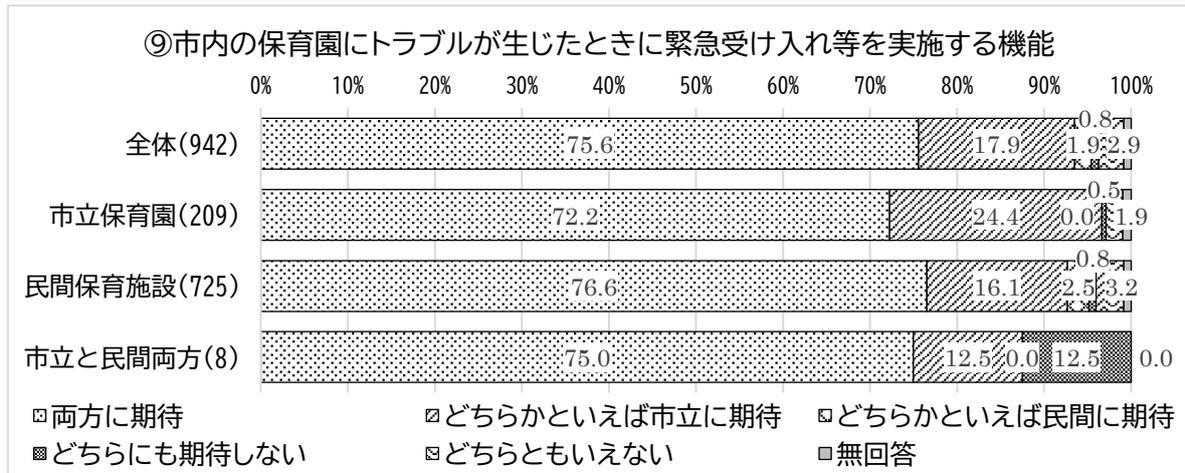
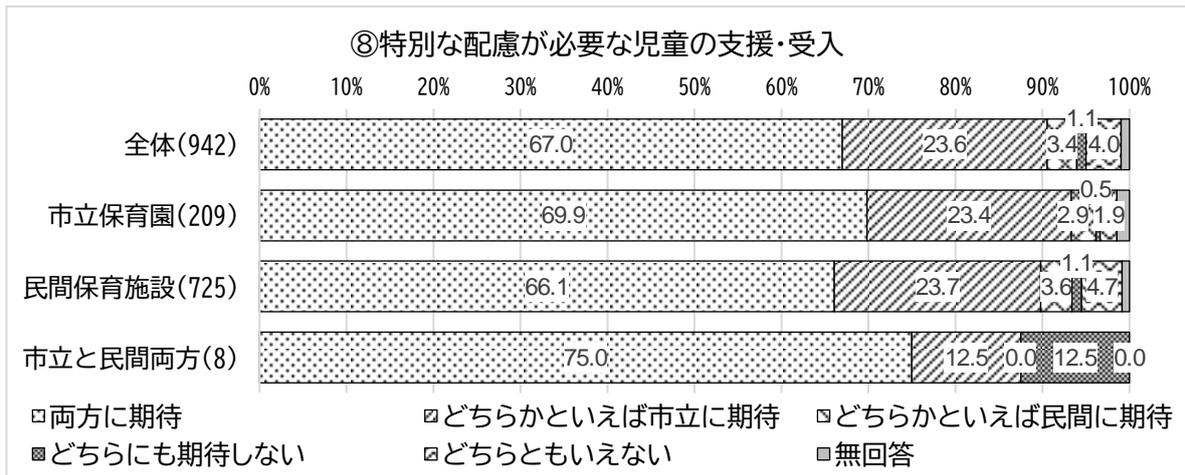
【属性別】通園する保育園の種類

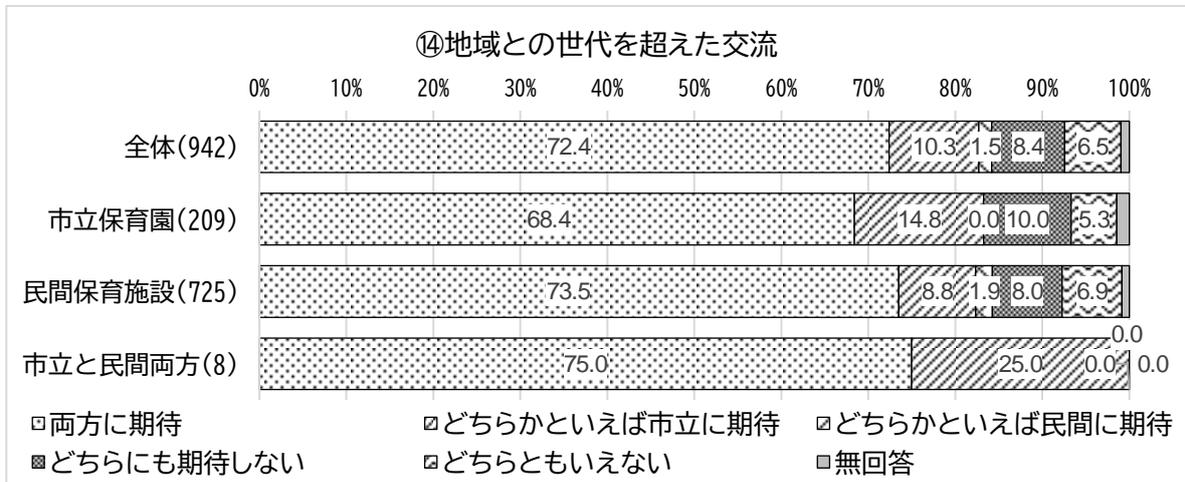
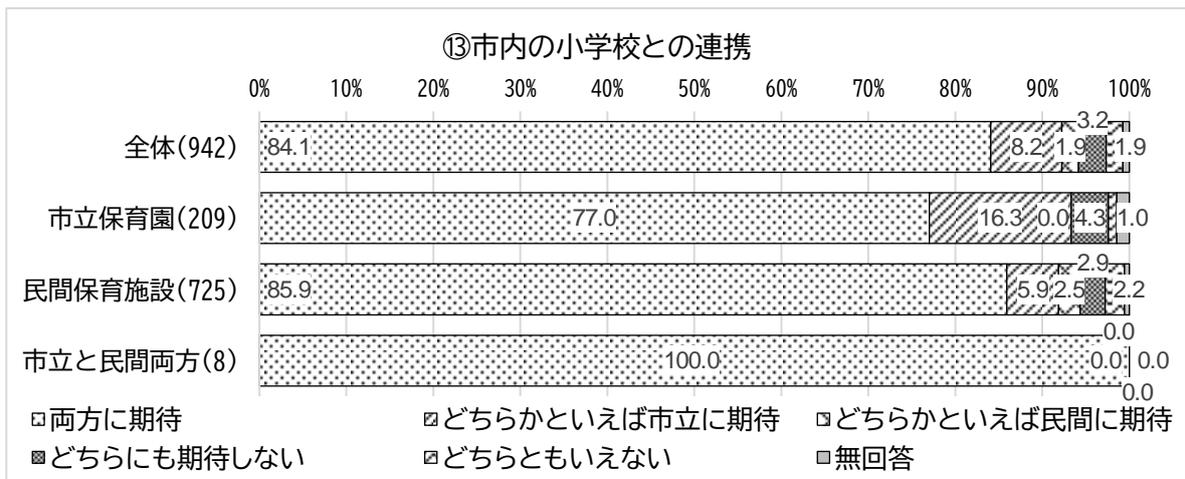
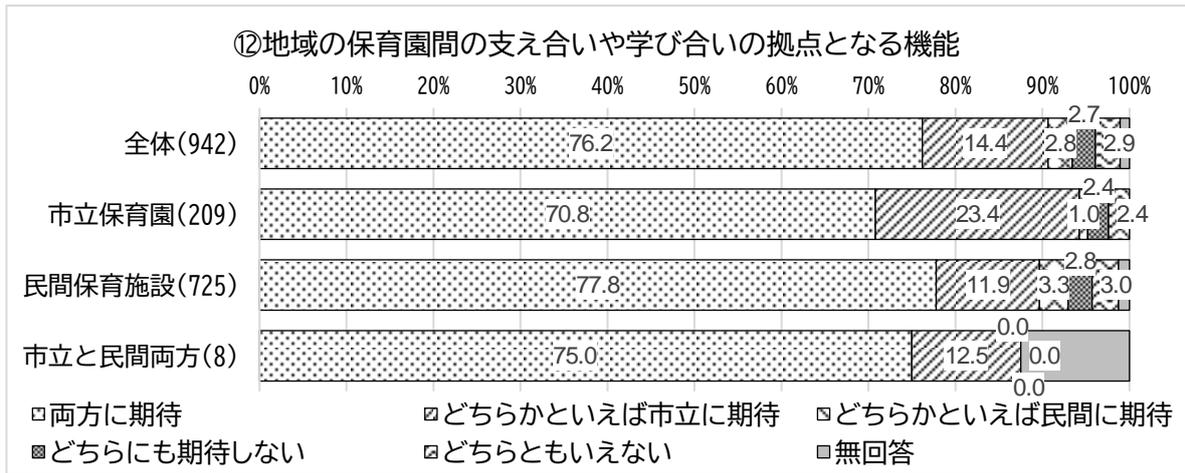
●各項目ともに、すべての属性で「両方に期待」が最も高いなど、傾向に大きな違いはありませんが、市立保育園の保護者では「どちらかといえば市立に期待」が、民間保育施設保護者では「どちらかといえば民間に期待」の比率が相対的に高い傾向がみられます。





II 調査結果
1 保護者アンケート

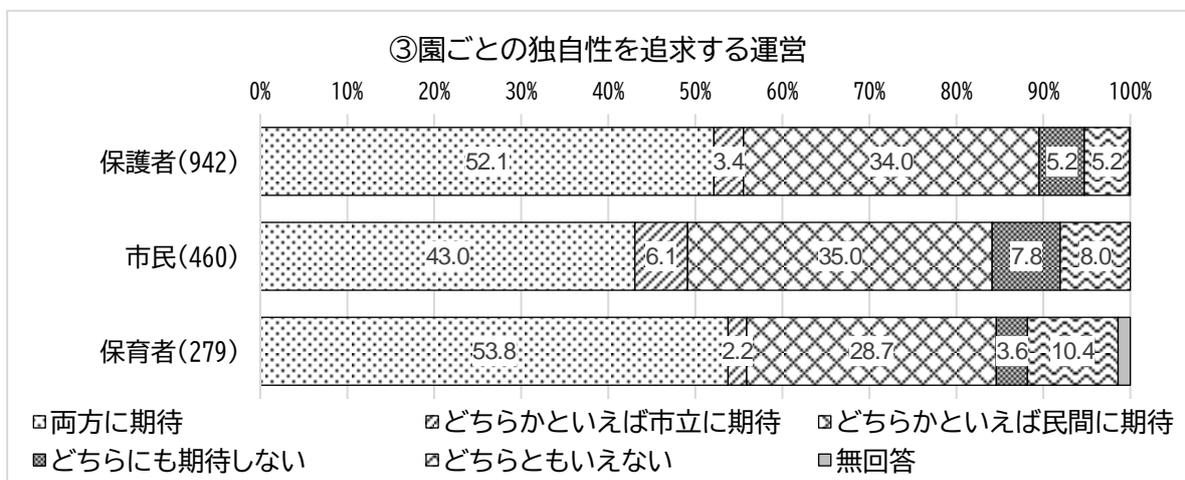
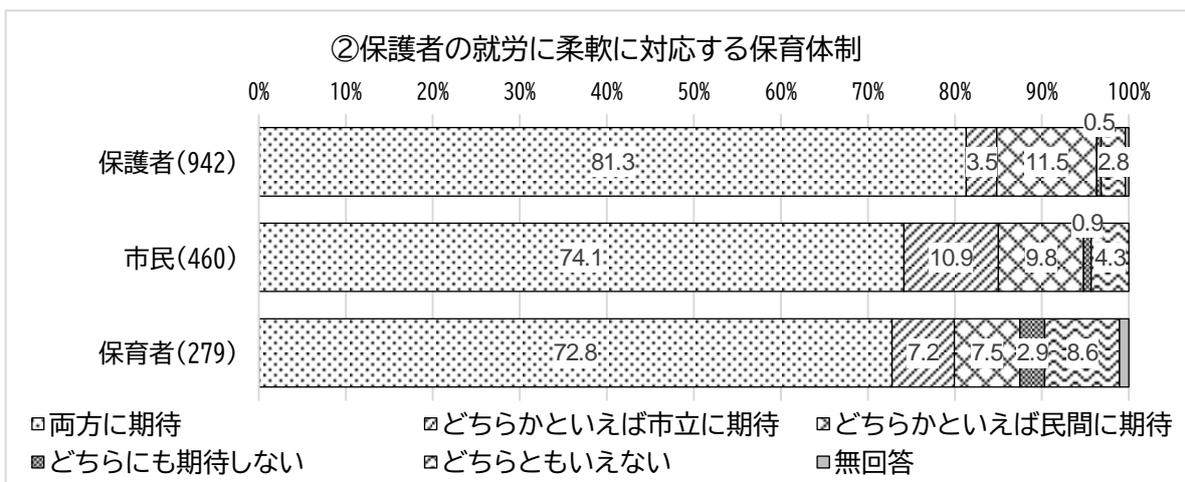
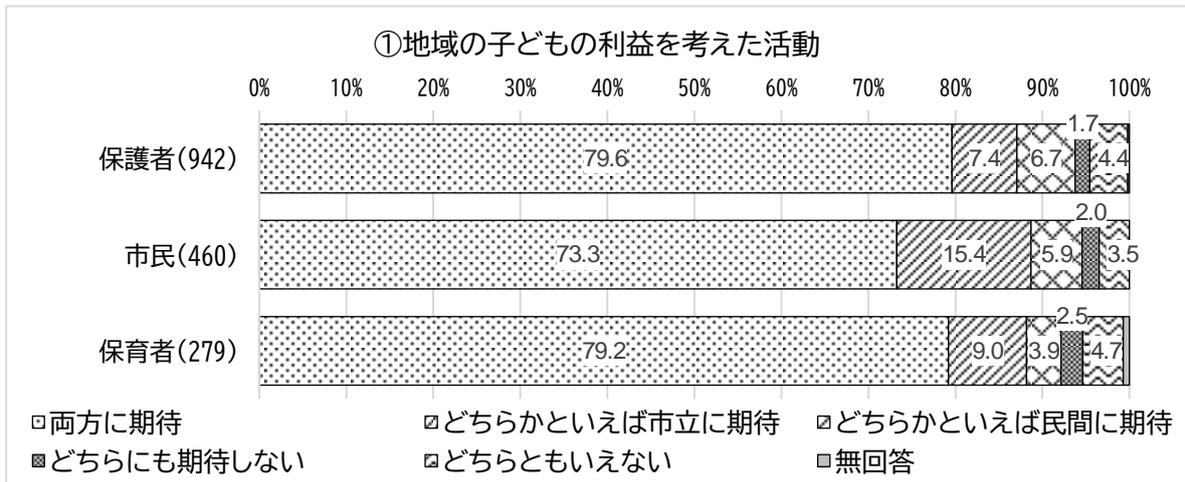


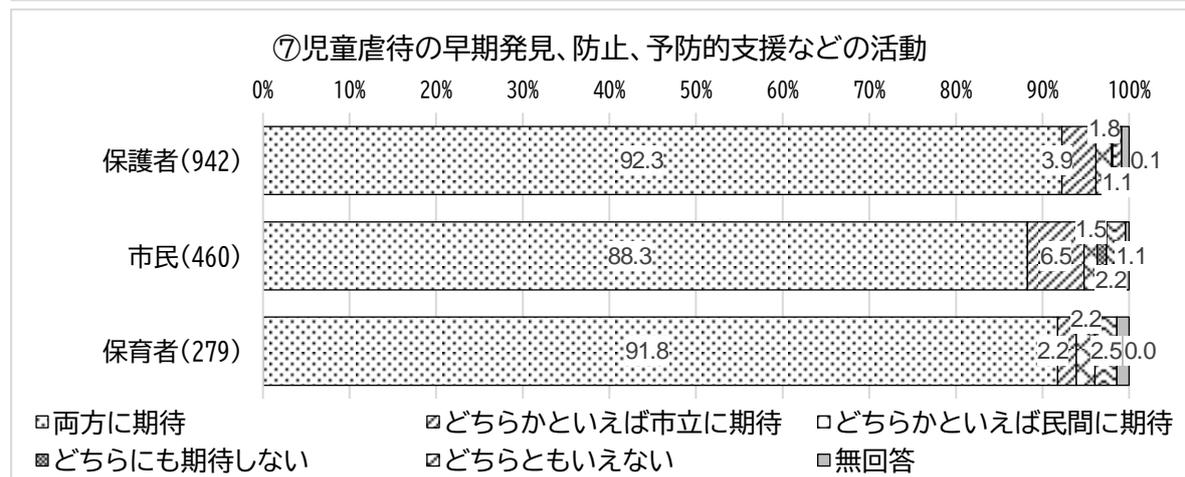
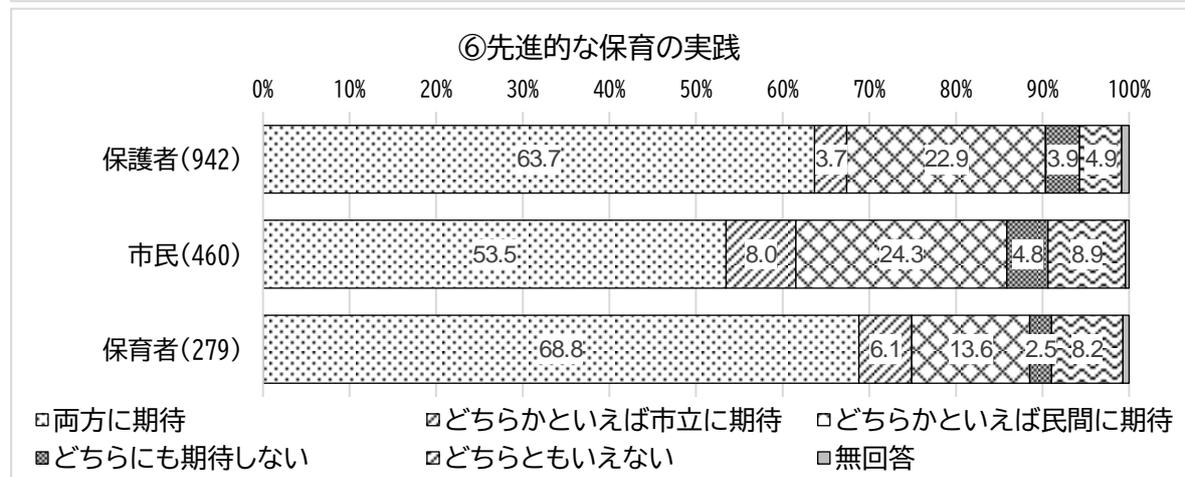
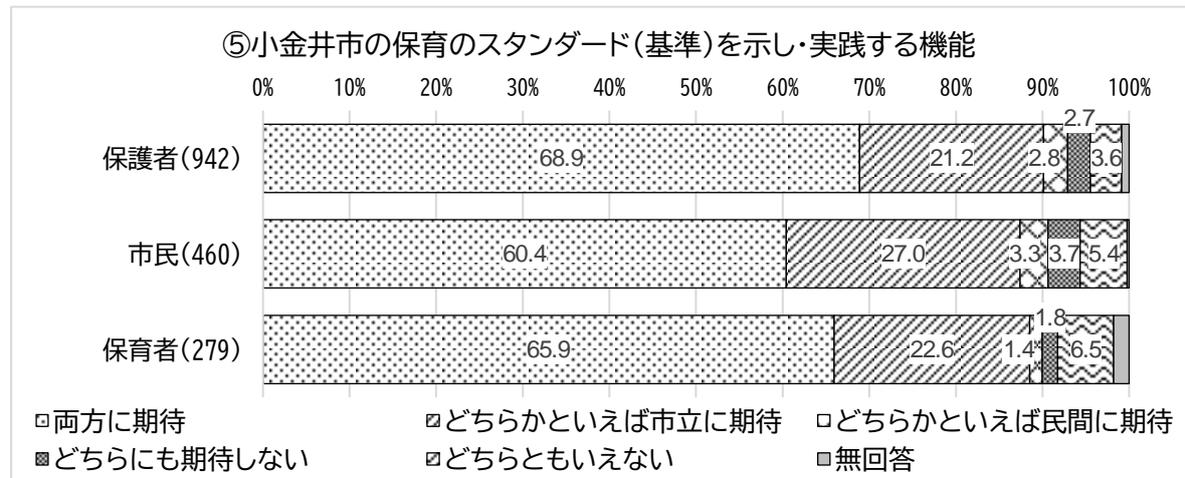
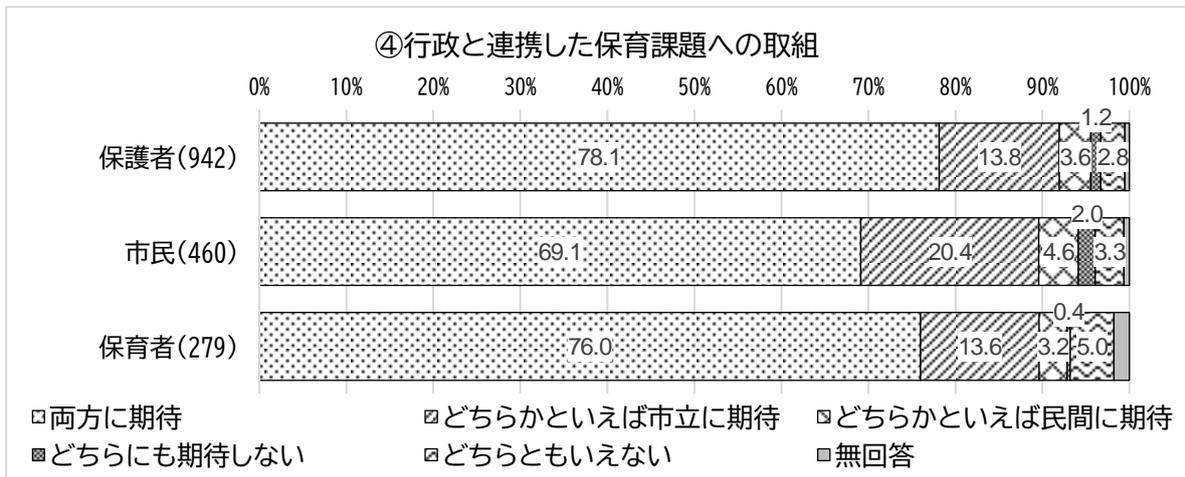


II 調査結果
1 保護者アンケート

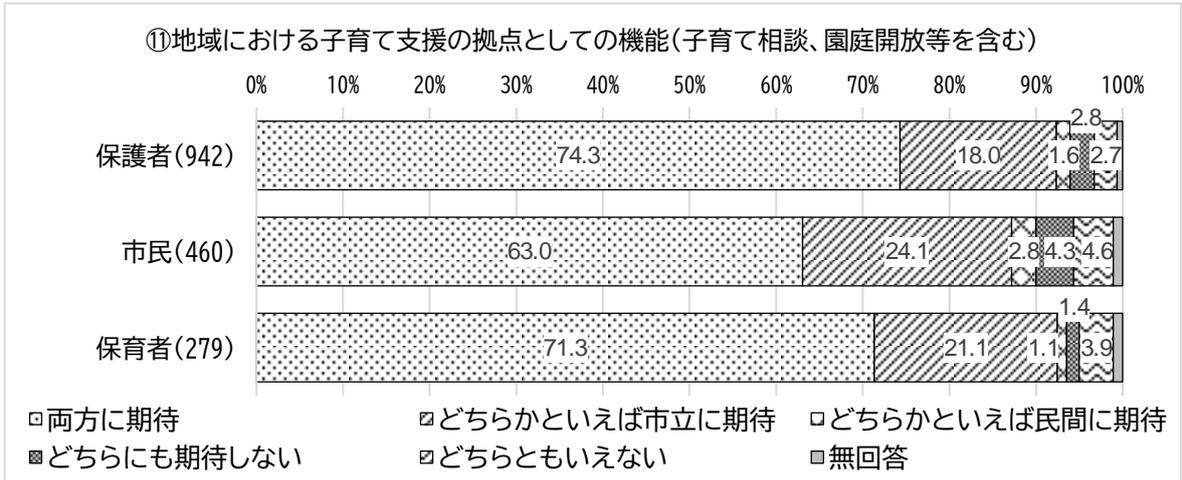
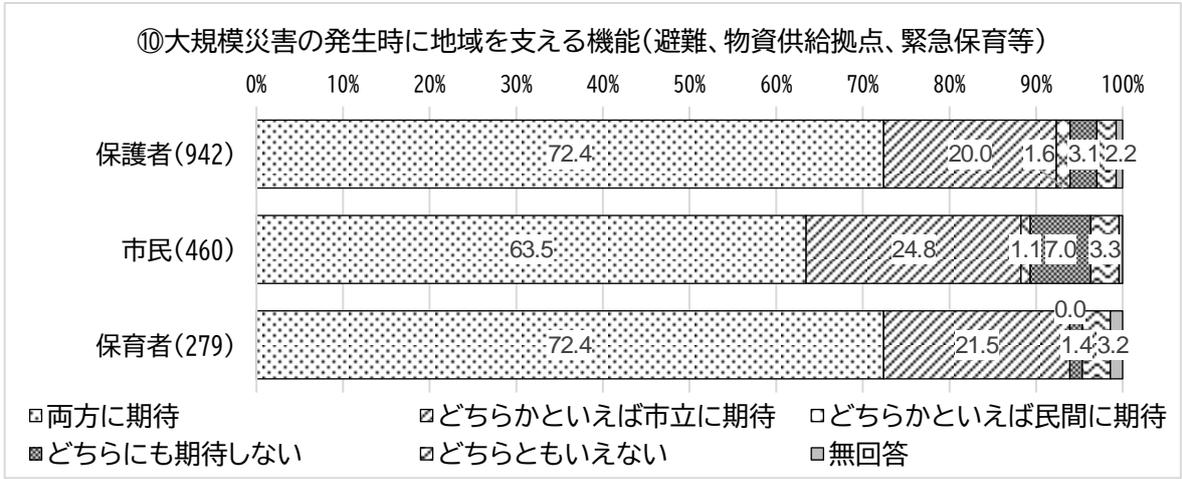
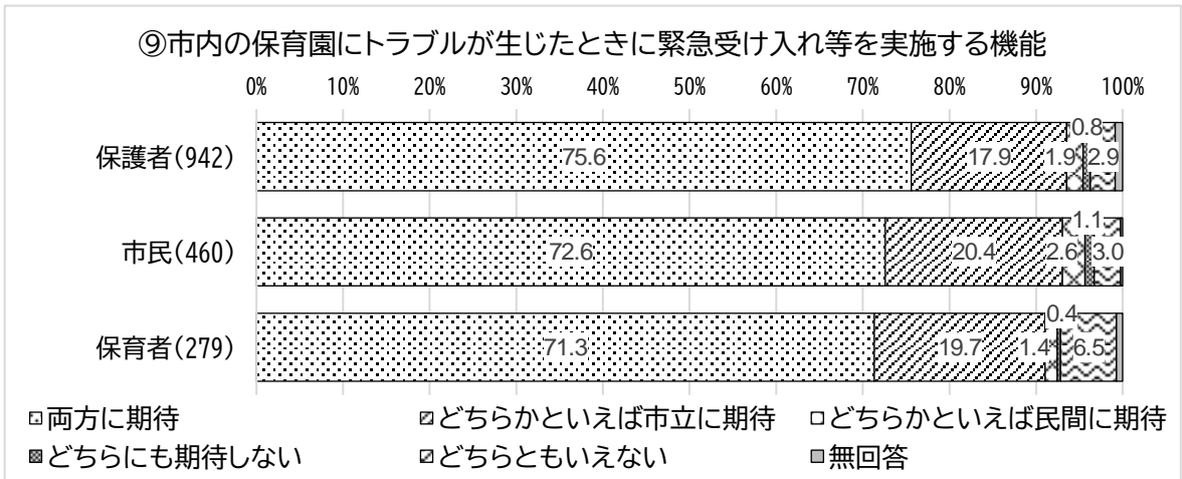
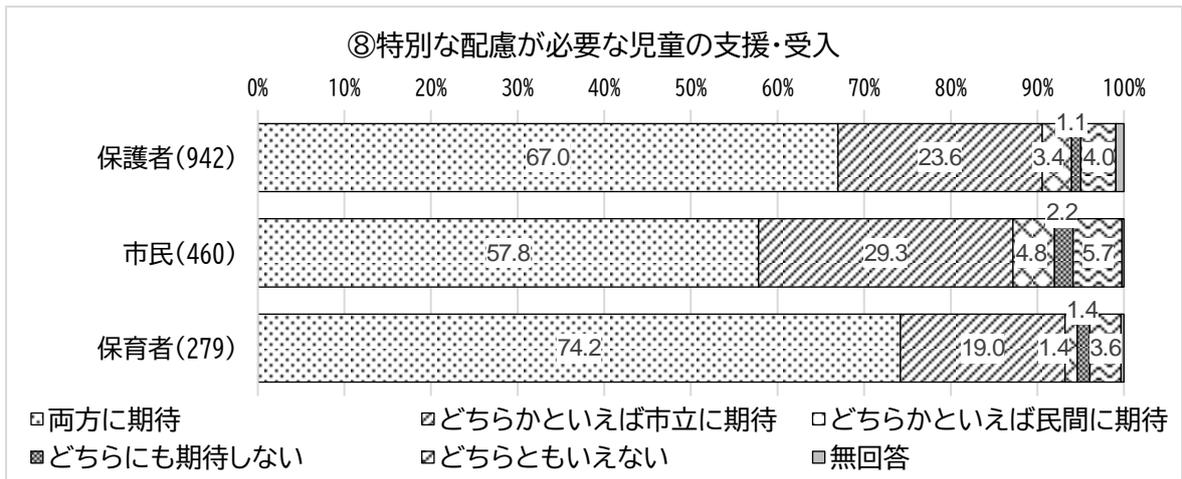
【保護者・市民・保育者の比較】

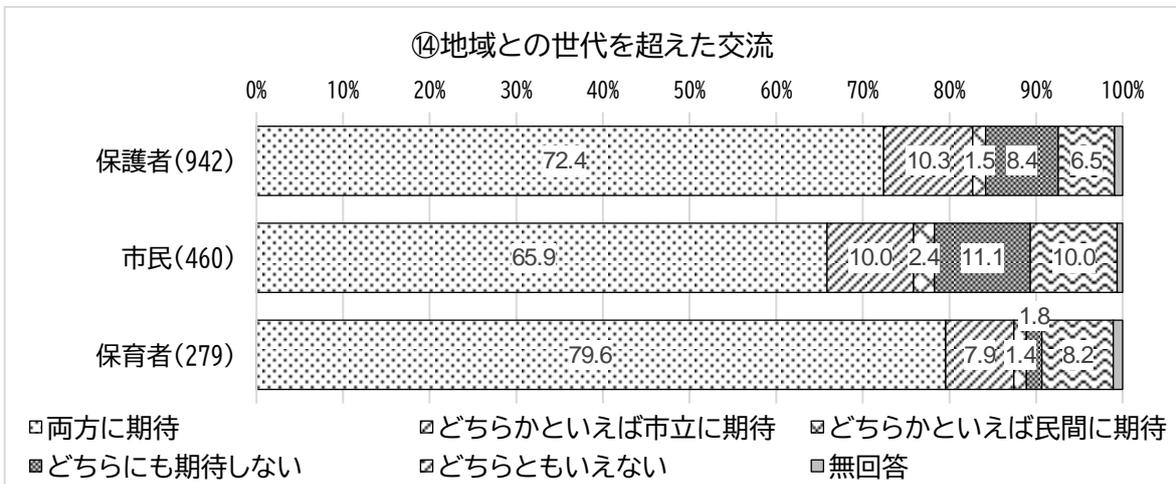
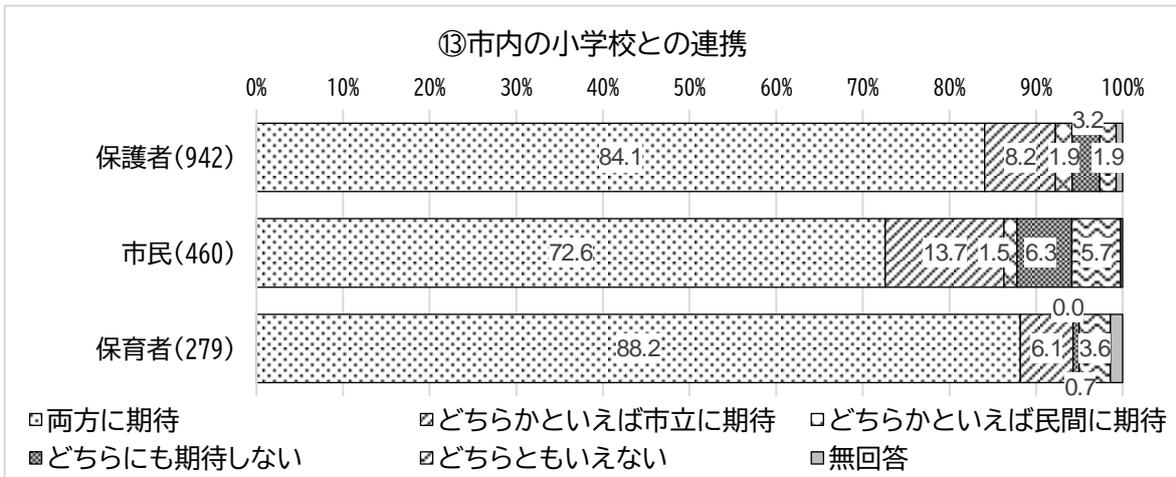
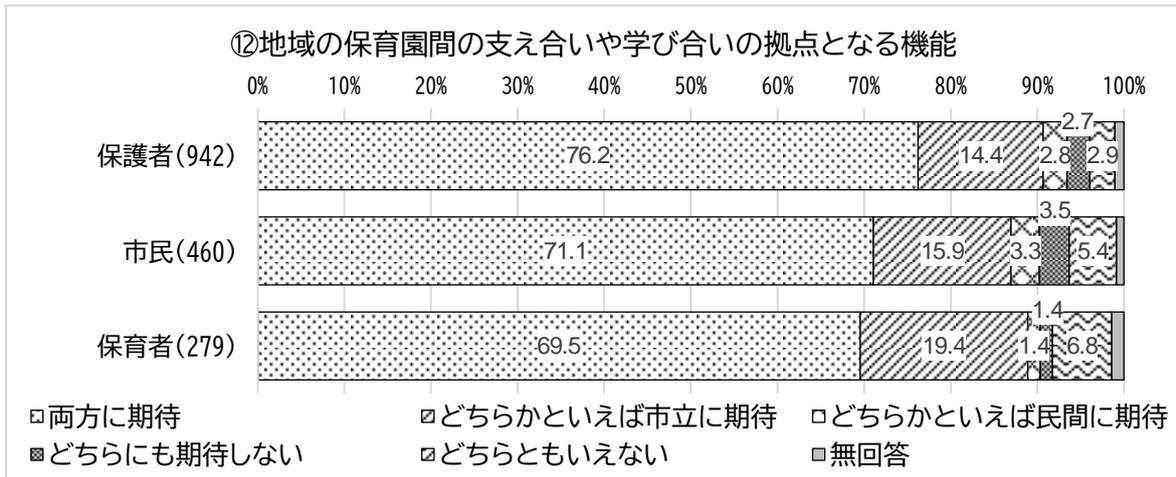
- 各項目ともに、すべての対象者で「両方に期待」が最も高くなるなど、傾向に大きな違いはありませんが、市民では「どちらかといえば市立に期待」が、保護者・保育者に比べて比率が高い傾向がみられます。
- 保育者では「③園ごとの独自性を追求する運営」や「⑥先進的な保育の実践」などで、「どちらかといえば民間に期待」が、保護者・市民に比べて比率が低くなっています。





II 調査結果
1 保護者アンケート





II 調査結果

1 保護者アンケート

Q4. 保育の質の確保・向上のために必要なこと（複数回答）

	全体	市立保育園	民間保育施設	市立と民間両方
	(942)	(209)	(725)	(8)
1 保育に関する予算の増額	70.9	78.9	68.4	87.5
2 保育園の園舎の改修など施設・設備の改善	55.7	71.8	51.0	62.5
3 園庭など戸外遊びが十分にできる環境の整備	63.9	68.9	62.2	87.5
4 保育園の安全性の向上	56.5	65.1	54.3	25.0
5 保育士の処遇改善や負担軽減など保育士が長く勤められ人材が確保できる施策	84.9	82.8	85.4	100.0
6 保育士の資質向上のための研修機会	37.8	41.6	36.3	75.0
7 市立保育園と民間保育園との連携	27.4	40.2	23.6	37.5
8 市による保育園に対する適切な指導・支援	40.4	47.4	38.3	50.0
9 その他	3.7	4.3	3.6	0.0
無回答	0.4	0.5	0.4	0.0

【全体】

- 全体では、「保育士の処遇改善や負担軽減など保育士が長く勤められ人材が確保できる施策」が84.9%で最も比率が高く、保育士の人材確保のための取組の強化が求められています。
- それ以外では、「保育に関する予算の増額」、「園庭など戸外遊びが十分にできる環境の整備」、「保育園の安全性の向上」、「保育園の園舎の改修など施設・設備の改善」が50～70%台が続いています。

【属性別】通園する保育園の種類

- 市立と民間では回答の傾向に大きな違いはありませんが、市立では「保育園の園舎の改修など施設・設備の改善」が71.8%と比率が高く、園舎の老朽化が保護者の懸念事項となっていることが示されています。

Q5. 地域で必要だと思う保育施策・子育て支援施策（複数回答）

	全体	市立保育園	民間保育施設	市立と民間両方
	(942)	(209)	(725)	(8)
1 気軽に親子が交流できる身近な場	36.3	35.9	36.4	37.5
2 子どもを遊ばせながら保育士などに気軽に子育ての相談ができる場	36.0	40.7	34.6	37.5
3 いつでも同じ専門職が相談に乗ってくれる「かかりつけ」の相談の場	27.6	29.7	27.3	0.0
4 子育てに関する講座や勉強会の充実	14.2	17.7	13.4	0.0
5 行政窓口や子育て支援施設で多言語に対応すること	10.3	11.5	10.1	0.0
6 子どもが思い切り体を動かして遊べる戸外の遊び場	67.8	71.3	66.6	87.5
7 未就園の子ども同士がかかわり遊ぶことができる遊び場	33.5	33.0	33.7	37.5
8 雨の日などでも子どもが遊べる屋内の遊び場	78.2	74.2	79.4	75.0
9 障害児の支援が行える保育施設	20.2	26.8	18.2	25.0
10 トワイライトステイ（夜間の保育）	12.3	11.5	12.7	0.0
11 休日保育	21.3	18.7	22.1	25.0
12 病児・病後児保育の数を増やす	43.5	38.8	44.8	50.0
13 一時預かり、こども誰でも通園制度	32.5	32.5	32.3	50.0
14 年度途中で子どもを預けて職場復帰できる保育の受け皿	39.8	36.4	40.8	37.5
15 求職中などの理由でも利用できる保育の受け皿	27.7	32.5	26.2	37.5
16 外国人家庭でも安心して利用できる保育の受け皿	12.3	12.9	12.3	0.0
17 事故や不適切保育などの心配がない、質が確保された保育の受け皿	48.2	52.2	46.9	62.5
18 その他	3.5	3.8	3.3	12.5
無回答	0.3	1.0	0.1	0.0

【全体】

- 全体では、「雨の日などでも子どもが遊べる屋内の遊び場」が78.2%、「子どもが思い切り体を動かして遊べる戸外の遊び場」が67.8%と高くなっており、子どもの遊び場の確保を求める意見が多くなっています。
- それ以外では、「事故や不適切保育などの心配がない、質が確保された保育の受け皿」、「病児・病後児保育の数を増やす」、「年度途中で子どもを預けて職場復帰できる保育の受け皿」が40～50%弱で続いています。

【属性別】通園する保育園の種類

- 市立・民間ともに、上位1～3位は全体結果と変わらないものの、市立では「子どもを遊ばせながら保育士などに気軽に子育ての相談ができる場」が40.7%で第4位となっているほか、「障害児の支援が行える保育施設」や「求職中などの理由でも利用できる保育の受け皿」なども民間に比べると高くなっています。
- 一方、民間では「病児・病後児保育の数を増やす」や「年度途中で子どもを預けて職場復帰できる保育の受け皿」が市立に比べると高くなっています。

II 調査結果

1 保護者アンケート

Q6. 今後重視すべき施策（複数回答（5つまで））

	全体	市立保育園	民間保育施設	市立と民間両方
	(942)	(209)	(725)	(8)
1 みどりとの環境整備	15.0	15.8	14.8	12.5
2 循環型社会の形成	4.6	2.9	5.1	0.0
3 環境保全の推進	7.6	8.1	7.6	0.0
4 市街地の整備	15.3	15.3	15.4	0.0
5 住環境の整備	10.6	7.7	11.4	12.5
6 都市インフラの整備	10.8	9.1	11.4	0.0
7 交通環境の整備	16.2	14.8	16.7	12.5
8 危機管理体制の構築	12.4	12.0	12.7	0.0
9 地域の安全・安心の向上	30.4	32.5	29.9	12.5
10 産業・観光の振興	8.5	10.0	8.1	0.0
11 都市農業の振興	1.9	1.9	1.9	0.0
12 保育の充実（待機児童解消、保育園・幼稚園の保育の質の向上、在園時の子育て支援）	52.8	55.0	51.7	87.5
13 在宅子育て家庭の支援（子育て支援センター、ひろば事業、子育て相談の場の拡充）	23.0	23.9	22.8	25.0
14 子どもの育ちの支援（こども食堂、居場所づくり、仲間づくり、学習支援、権利の保障、社会参画と意識）	34.1	34.9	33.7	50.0
15 子どもの福祉の充実（虐待の早期発見・予防、妊娠期間からの切れ目のない支援、困難家庭への支援）	23.9	21.1	24.7	25.0
16 学校教育の充実	36.3	32.5	37.2	50.0
17 学校環境の整備	28.2	26.8	28.7	25.0
18 芸術文化の振興	2.8	2.9	2.8	0.0
19 国際交流・都市間交流の推進	2.4	2.4	2.3	12.5
20 人権・平和・男女共同参画の尊重	0.5	1.4	0.3	0.0
21 生涯学習の振興	1.0	1.4	0.7	12.5
22 スポーツの振興	1.7	2.9	1.4	0.0
23 福祉のまちづくりの推進	1.2	2.9	0.7	0.0
24 高齢者の生きがいの充実	0.5	1.0	0.4	0.0
25 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	3.3	3.8	3.2	0.0
26 障がい者福祉の充実	2.3	4.3	1.8	0.0
27 健康の維持・増進	2.3	2.4	2.3	0.0
28 市民参加・協働の推進	1.0	1.4	0.8	0.0
29 積極的な情報発信	2.4	1.9	2.6	0.0
30 計画的な行財政運営	9.0	10.0	8.7	12.5
無回答	0.6	0.5	0.6	12.5

【全体】

- 全体では、「保育の充実（待機児童解消、保育園・幼稚園の保育の質の向上、在園時の子育て支援）」が52.8%で最も比率が高く、以下、「学校教育の充実」、「子どもの育ちの支援（こども食堂、居場所づくり、仲間づくり、学習支援、権利の保障、社会参画と意志尊重）」、「学校環境の整備」などが30～40%台で続いており、子育てや教育関係の施策が上位となっています。

【属性別】通園する保育園の種類

- 通園する保育園の種類別で見ると、市立と民間では回答の傾向に大きな差はみられません。

【保護者・市民・保育者の比較】

		保護者	市民
		(942)	(460)
1	みどりと水の環境整備	4.1	6.2
2	循環型社会の形成	1.3	2.0
3	環境保全の推進	2.1	2.9
4	市街地の整備	4.2	4.1
5	住環境の整備	2.9	3.4
6	都市インフラの整備	3.0	4.4
7	交通環境の整備	4.5	4.3
8	危機管理体制の構築	3.4	5.4
9	地域の安全・安心の向上	8.4	9.3
10	産業・観光の振興	2.3	2.1
11	都市農業の振興	0.5	1.5
12	保育の充実（待機児童解消、保育園・幼稚園の保育の質の向上、在園時の子育て支援）	14.5	7.7
13	在宅子育て家庭の支援（子育て支援センター、ひろば事業、子育て相談の場の拡充）	6.4	2.5
14	子どもの育ちの支援（こども食堂、居場所づくり、仲間づくり、学習支援、権利の保障、社会参画と意	9.4	5.8
15	子どもの福祉の充実（虐待の早期発見・予防、妊娠期からの切れ目のない支援、困難家庭への支援）	6.6	5.8
16	学校教育の充実	10.0	4.3
17	学校環境の整備	7.8	4.3
18	芸術文化の振興	0.8	1.4
19	国際交流・都市間交流の推進	0.7	0.9
20	人権・平和・男女共同参画の尊重	0.1	1.3
21	生涯学習の振興	0.3	1.1
22	スポーツの振興	0.5	0.5
23	福祉のまちづくりの推進	0.3	2.6
24	高齢者の生きがいの充実	0.1	1.6
25	高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	0.9	4.4
26	障がい者福祉の充実	0.6	1.4
27	健康の維持・増進	0.6	1.5
28	市民参加・協働の推進	0.3	0.8
29	積極的な情報発信	0.7	0.8
30	計画的な行財政運営	2.5	5.2
	無回答	0.2	0.1

- 保護者と市民との比較でも回答傾向に大きな差はありませんが、保護者では市民に比べ、「保育の充実」、「学校教育の充実」、「子どもの育ちの支援」、「学校環境の整備」などの子育て・教育関係の施策の比率がわずかに高くなっています。

II 調査結果

2 市民アンケート

2 市民アンケート

F 1. 年齢

単位：票、%

	実数	構成比
10代	9	2.0
20代	38	8.3
30代	81	17.6
40代	85	18.5
50代	106	23.0
60代	79	17.2
70代	49	10.7
80歳以上	13	2.8
無回答	0	0.0
計	460	100.0

●50代が23.0%で最も比率が高く、以下、40代18.5%、30代17.6%、60代17.2%の順で続いています。

●保護者層と年齢層が被る20~40代は44.3%となっています。

F 2. 性別

単位：票、%

	実数	構成比
男	178	38.7
女	272	59.1
その他	3	0.7
回答しない	7	1.5
無回答	0	0.0
計	460	100.0

●女性が約6割、男性は約4割となっており、保護者に比べると男性が高くなっています。

F 3. 就業状況

単位：票、%

	実数	構成比
フルタイムで働いている	253	55.0
パートタイムで働いている	95	20.7
働いていない	112	24.3
無回答	0	0.0
計	460	100.0

●半数以上はフルタイムの就業者となっています。

●就業者は全体の3/4で、働いていない人は1/4となっています。

F 4. 居住地区

単位：票、%

	実数	構成比
東町	64	13.9
梶野町	36	7.8
関野町	7	1.5
緑町	72	15.7
中町	46	10.0
前原町	59	12.8
本町	88	19.1
桜町	22	4.8
貫井北町	34	7.4
貫井南町	32	7.0
無回答	0	0.0
計	460	100.0

●本町が19.1%で最も比率が高く、以下、緑町、東町、前原町、中町の順で続いています。

F 5. 居住年数

単位：票、%

	実数	構成比
1~3年未満	59	12.8
3~5年未満	42	9.1
5~10年未満	52	11.3
10~20年未満	99	21.5
20年以上	208	45.2
無回答	0	0.0
計	460	100.0

●20年以上の人が45.2%で最も比率が高く、全体の2/3は10年以上の居住者となっています。

●10年未満の居住者が8割を占めている保護者とは対症的な構成となっています。

F 6. 同居家族 単位：票、%

	実数	構成比
配偶者・パートナー	322	70.0
子ども	190	41.3
子どもの配偶者・パートナー	2	0.4
孫	4	0.9
父・母	61	13.3
祖父・祖母	4	0.9
兄弟・姉妹	19	4.1
その他	6	1.3
一人暮らし	62	13.5
無回答	0	0.0
計	460	100

●子どものいる世帯は約4割となっています。

F 7. 同居する年少の子どもの年齢 単位：票、%

	実数	構成比
0～2歳	17	8.9
3～5歳	22	11.6
6～11歳	38	20.0
12歳以上	111	58.4
無回答	2	1.1
計	190	100.0

●同居する年少の子どもの年齢は12歳以上が6割弱で最も比率が高く、保育園に通う年齢（0～5歳）の子どもは約2割となっています。

F 8. 0～5歳の子どもの保育状況 単位：票、%

	実数	構成比
市立保育園に通っている	3	7.7
民間の認可保育施設（認可保育所、認定こども園、特定地域型保育事業等）に通っている	16	41.0
認可外保育施設（認証保育所等）に通っている	2	5.1
幼稚園に通っている	9	23.1
自宅で保育している	9	23.1
無回答	0	0.0
計	39	100.0

●0～5歳の子どもの保育状況では、約4割が民間の認可保育施設に通っており、市立保育園は1割弱、幼稚園と自宅で保育している人がそれぞれ2割強となっています。

F 9. 6歳以上の子どもの過去の保育状況 単位：票、%

	実数	構成比
市立保育園に通っていた	2	1.3
民間の認可保育施設（認可保育所、認定こども園、特定地域型保育事業等）に通っていた	0	0.0
認可外保育施設（認証保育所等）に通っていた	0	0.0
上記施設には通ったことがない	1	0.7
無回答	146	98.0
計	149	100.0

●6歳以上の子どもの過去の保育状況は、無回答が98%となっています。

Ⅱ 調査結果
2 市民アンケート

Q1. 保育園の選択にあたって重視すること(複数回答)

	全体	40代未満	50歳以上
	(460)	(213)	(247)
1 立地 (自宅に近い、職場に近い、送迎しやすい)	38.7	39.0	38.5
2 保育園の周辺の環境がよい (公園、自然環境など)	23.7	23.0	24.3
3 保育時間の長さ (朝・夕・土日祝日の対応など)	22.2	20.7	23.5
4 低年齢から入園できる	15.7	15.0	16.2
5 障害のある子どもなどを受け入れている	6.1	3.8	8.1
6 安全・防災対策、感染症対策などがしっかりしている	23.7	21.1	25.9
7 保育方針・理念	14.6	14.6	14.6
8 特色のある保育をおこなっている	3.5	4.2	2.8
9 保育士の子どもへの接し方	24.3	26.3	22.7
10 子どもが楽しそうに生き生き過ごしているから	22.6	23.5	21.9
11 保育士などの人柄	19.6	22.5	17.0
12 保育士の人数が多い	12.6	11.7	13.4
13 保育士にベテランが多い	6.3	7.0	5.7
14 園長が信頼できる	16.5	16.9	16.2
15 給食の内容	13.3	15.5	11.3
16 周辺での評判	17.6	16.0	19.0
17 大規模園だから	0.9	1.4	0.4
18 小規模園だから	0.9	0.5	1.2
19 運営が安定し、長く続いている	13.5	12.7	14.2
20 保護者からの質問に対する職員の対応	15.0	16.4	13.8
21 保護者に連絡帳 (アプリ) などで子どもの様子を知らせてくれ	0.0	0.0	0.0
22 園舎が広くゆとりがある	13.7	12.2	15.0
23 園庭の有無	17.6	17.8	17.4
24 施設や設備の清潔さ	16.3	17.4	15.4
25 施設や設備の安全性	16.7	17.4	16.2
26 兄弟姉妹が通っていた	5.0	6.1	4.0
27 近所の同年齢の子どもが通っている	3.0	2.8	3.2
28 公立保育園だから	0.0	0.0	0.0
29 民間保育園だから	0.7	0.9	0.4
30 その他	0.2	0.0	0.4
無回答	58.3	58.7	57.9

※子どもと同居している方のみ回答

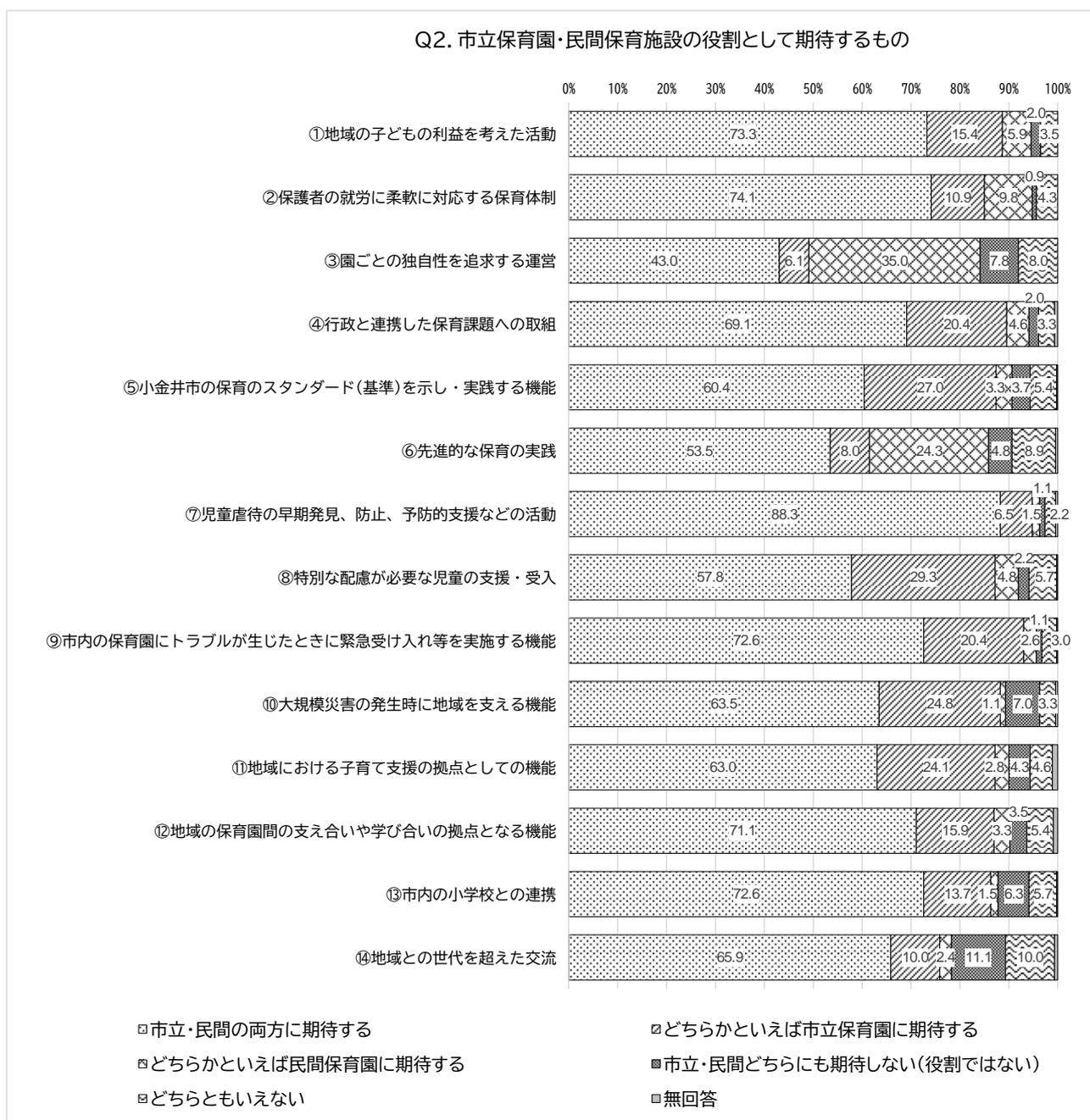
【全体】

- 全体では、「立地 (自宅に近い、職場に近い、送迎しやすい)」が 93.7%で最も比率が高く、以下、「保育士の子どもへの接し方」、「保育園の周辺の環境がよい (公園、自然環境など)」、「安全・防災対策、感染症対策などがしっかりしている」、「子どもが楽しそうに生き生き過ごしているから」、「保育時間の長さ (朝・夕・土日祝日の対応など)」が 50%台で続いています。

【年齢別】

- 年齢別では回答の傾向に大きな差はみられません。

Q2. 市立保育園・民間保育園の役割として期待するもの



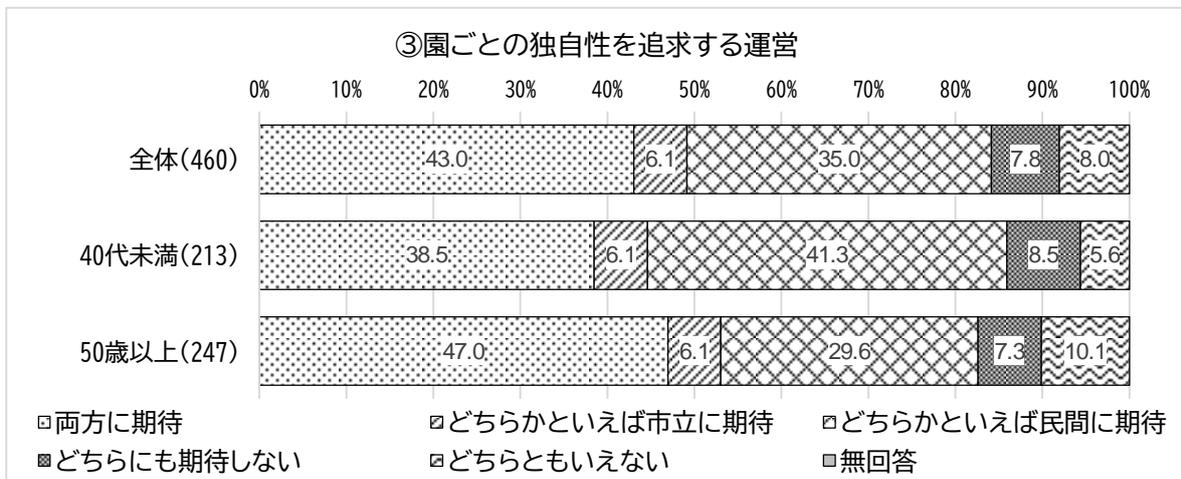
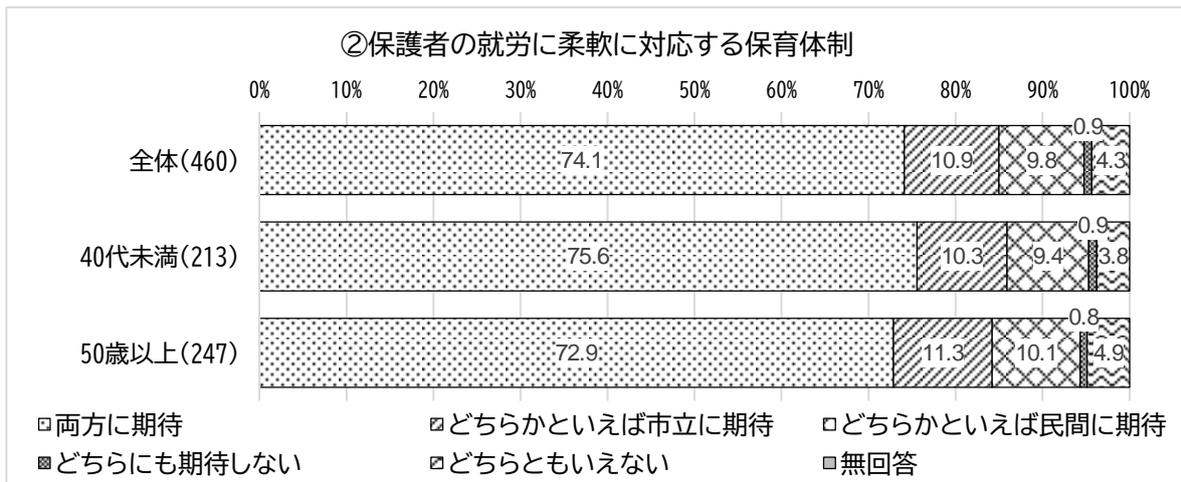
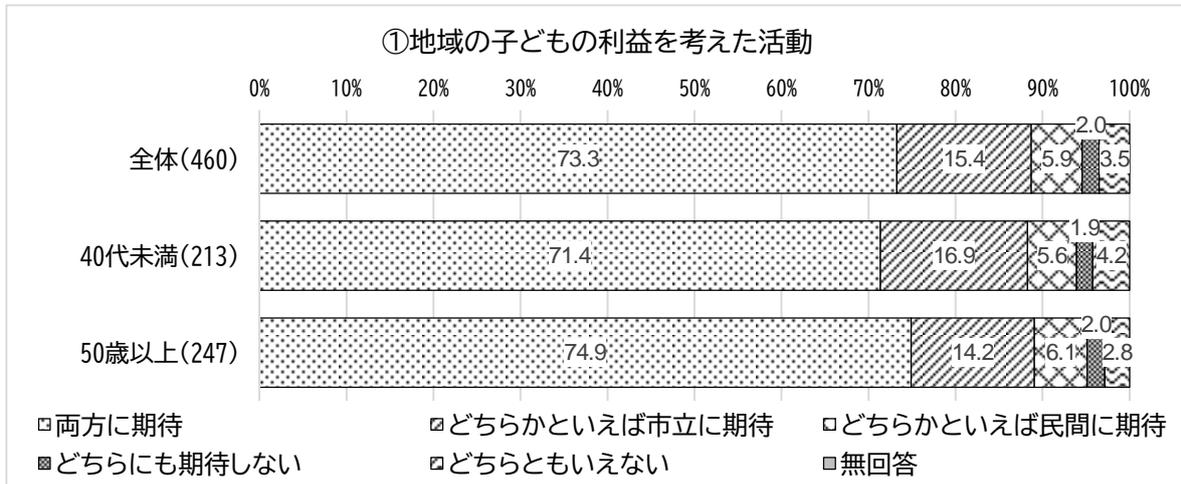
【全体】

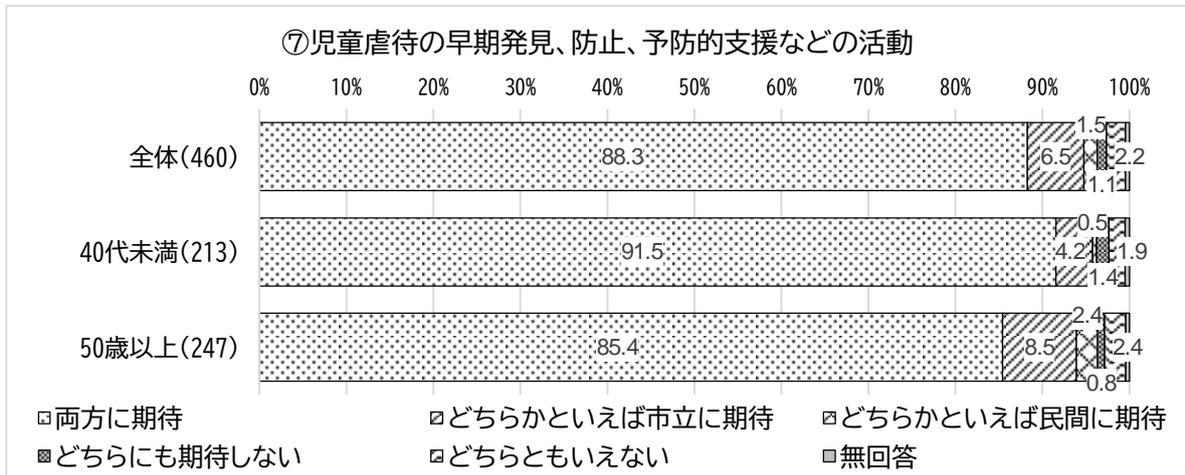
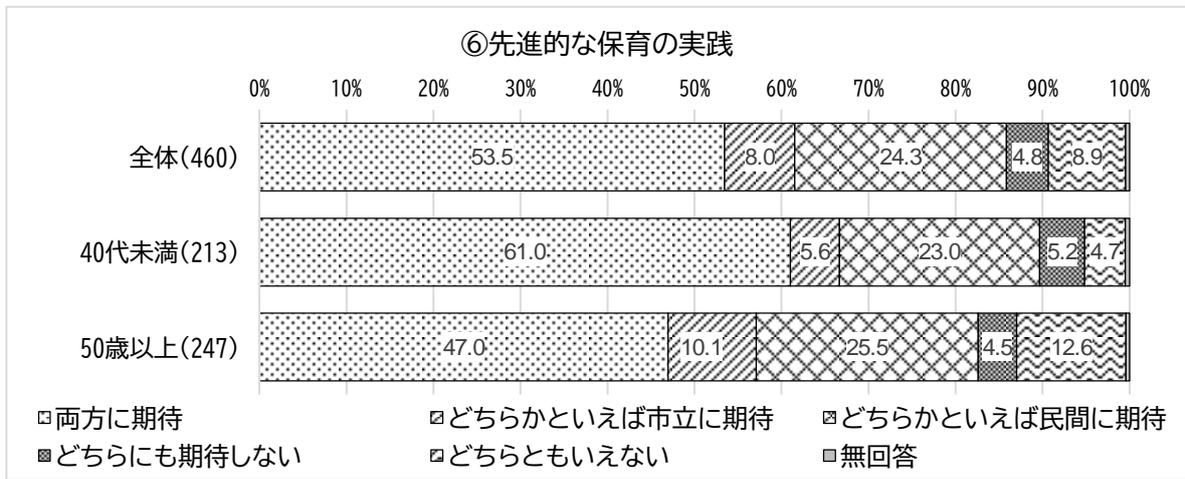
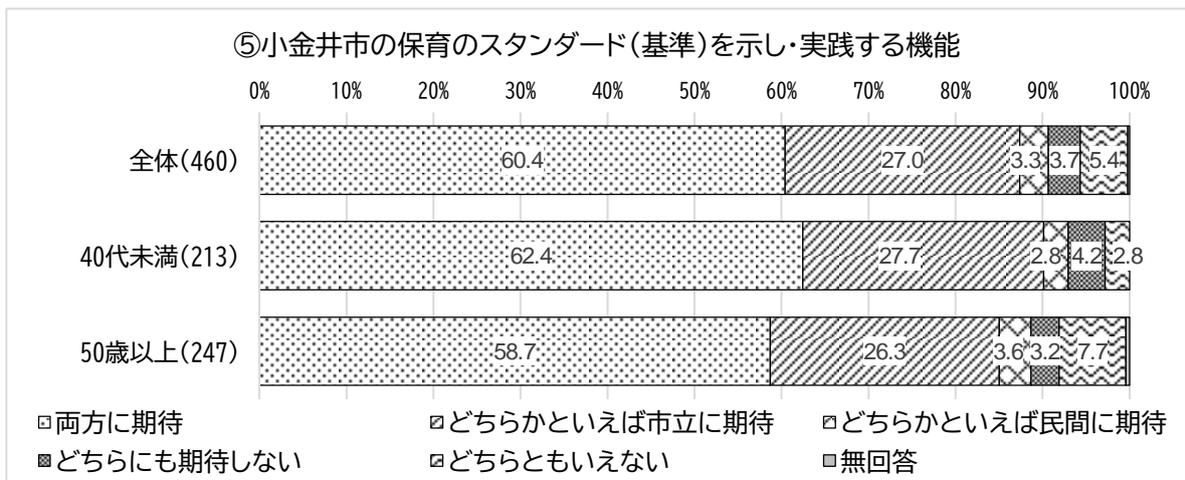
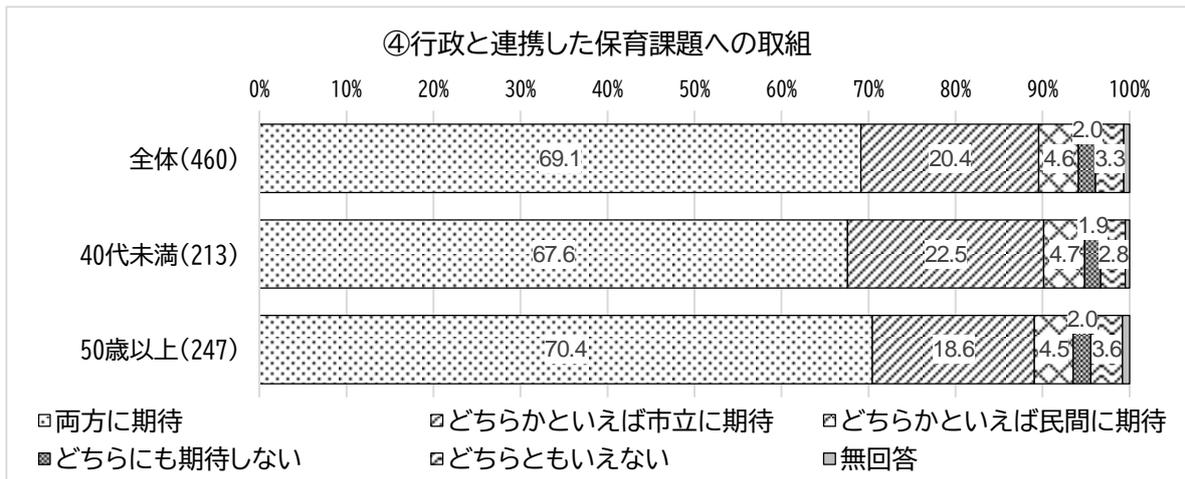
- 「市立・民間の両方に期待する」は、すべての項目で最も比率が高く、「③園ごとの独自性を追求する運営」以外では50%以上となっています。特に「⑦児童虐待の早期発見、防止、予防的支援などの活動」では80%以上と高くなっています。
- 「どちらかといえば市立保育園に期待する」は、「⑧特別な配慮が必要な児童の支援・受入」、「⑤小金井市の保育のスタンダード(基準)を示し・実践する機能」では20%台後半と比較的比率が高くなっています。
- 「どちらかといえば民間保育園に期待する」は、「③園ごとの独自性を追求する運営」で30%台、「⑥先進的な保育の実践」で20%台となっています。
- 「市立・民間どちらにも期待しない(役割ではない)」は「⑭地域との世代を超えた交流」で11.1%と比較的比率が高くなっています。

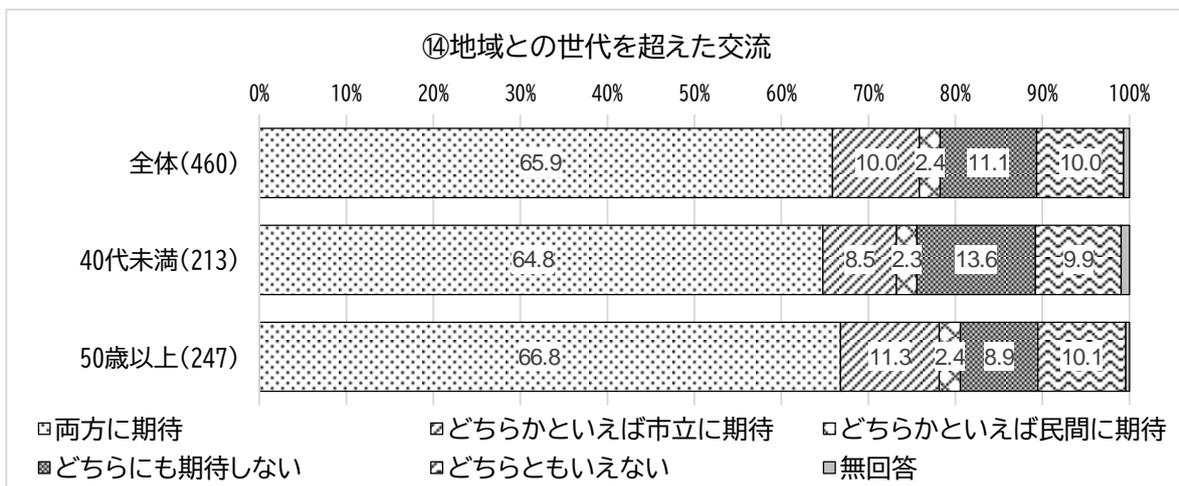
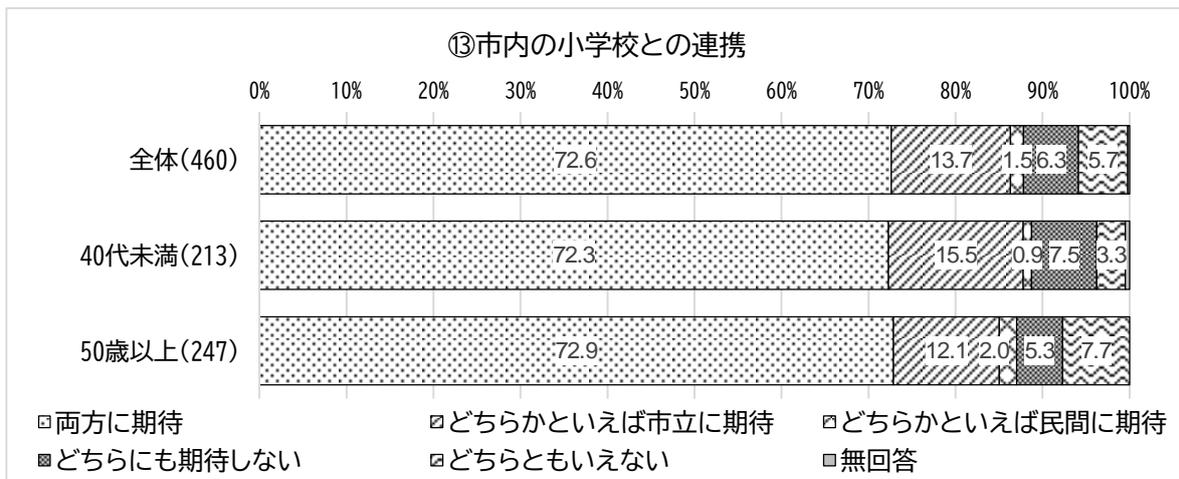
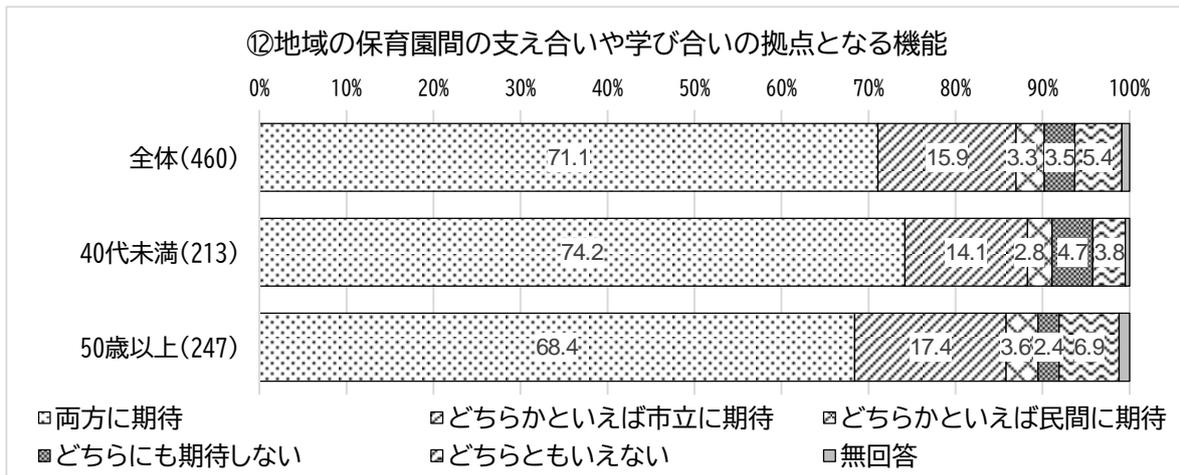
II 調査結果
2 市民アンケート

【属性別】年齢

- 年齢の違いによる差はあまりみられませんが、「⑥先進的な保育の実践」では「両方に期待」が40代未満で61.0%と、50歳以上に比べ10ポイント以上上回っています。
- また、「③園ごとの独自性を追求する運営」では「どちらかといえば民間に期待」が、40代未満では41.3%と、50歳以上に比べ10ポイント以上上回っています。



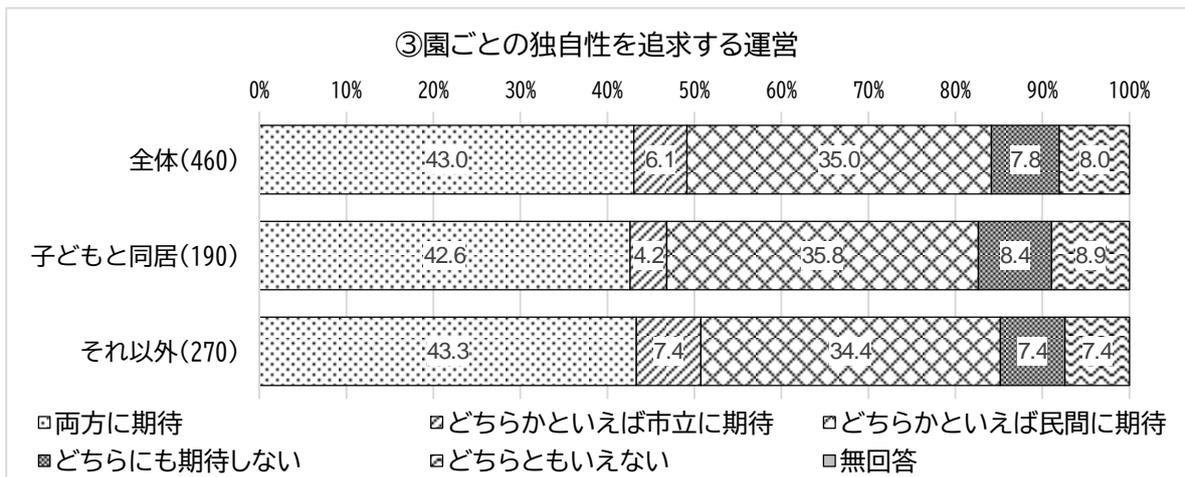
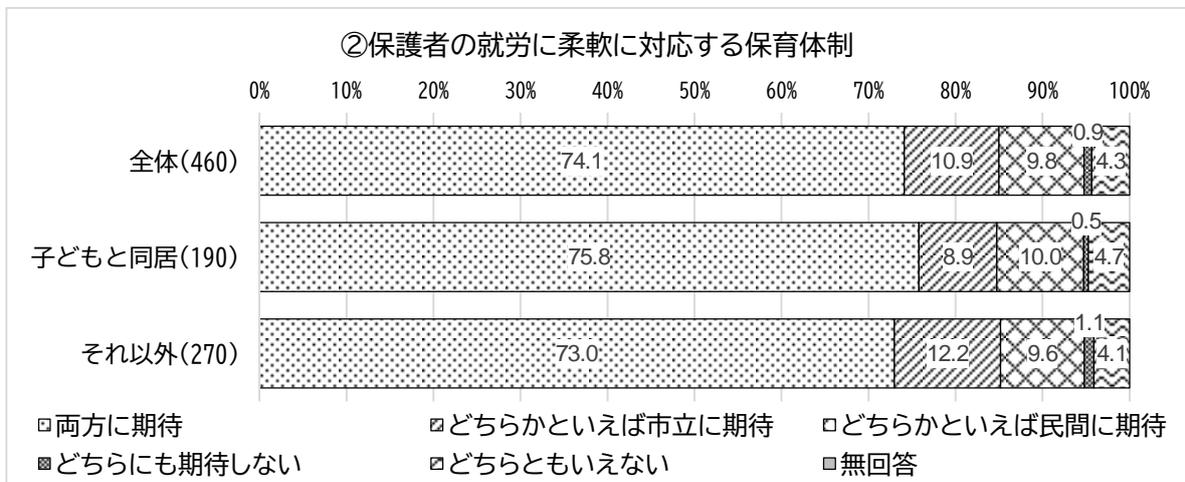
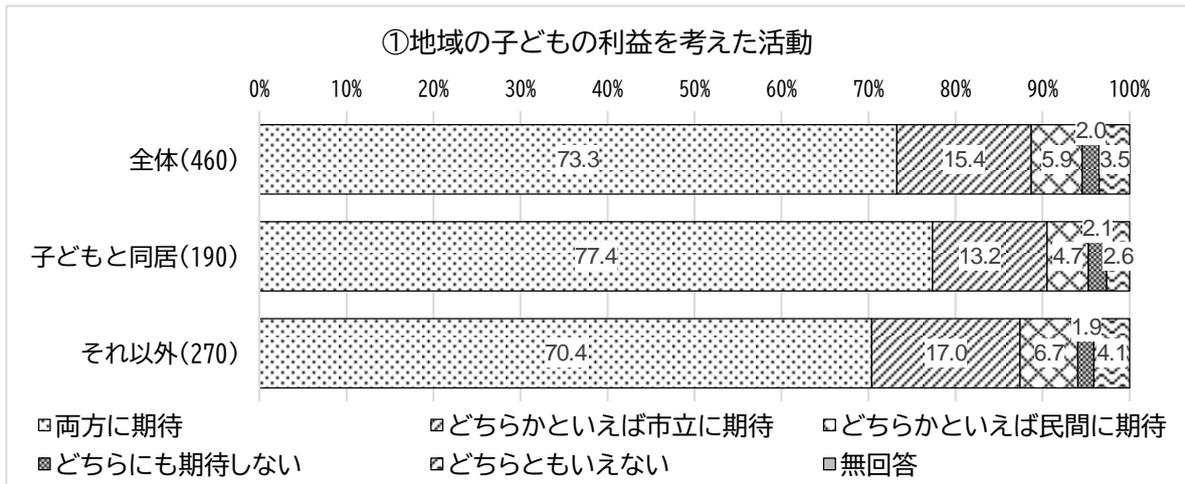


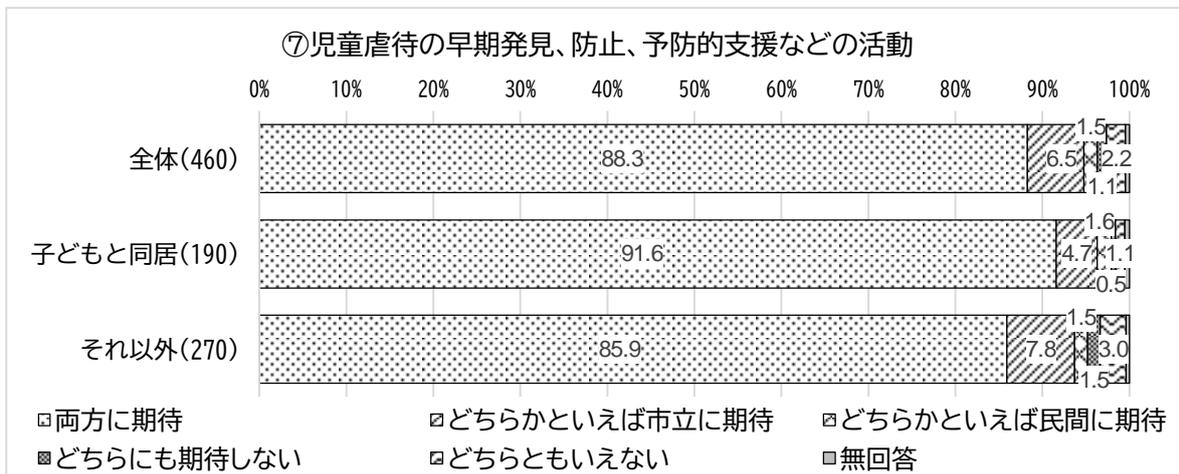
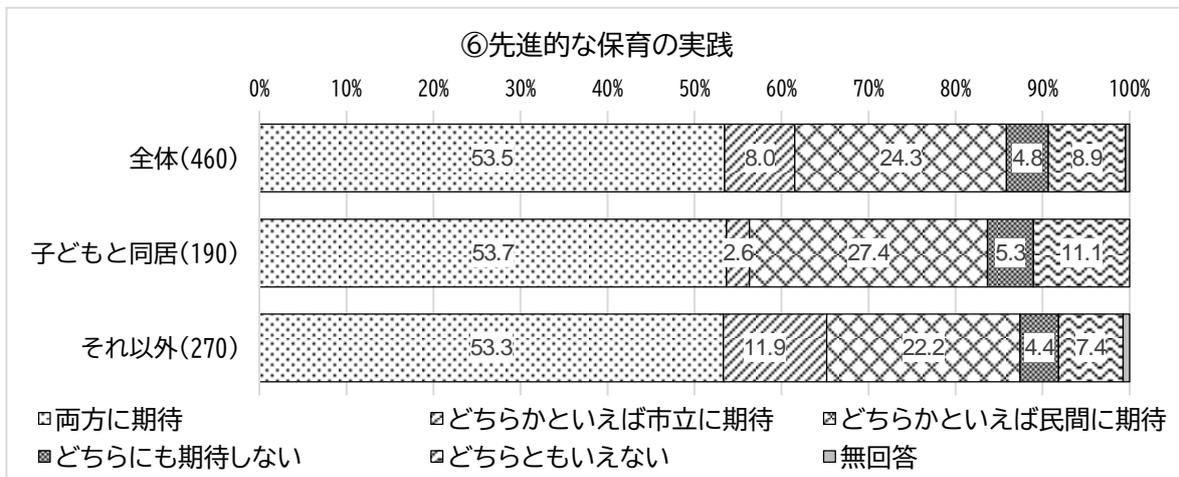
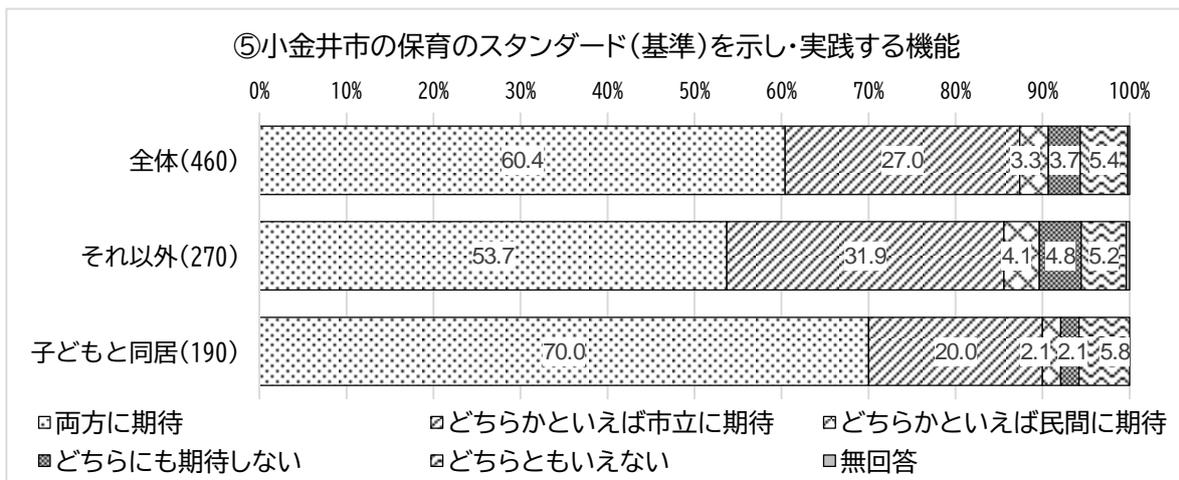
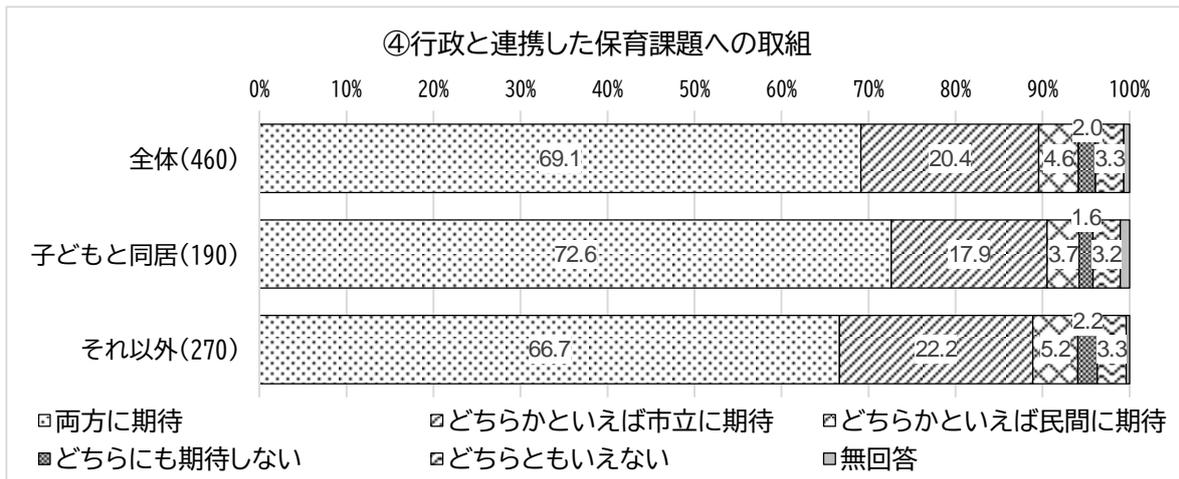


II 調査結果
2 市民アンケート

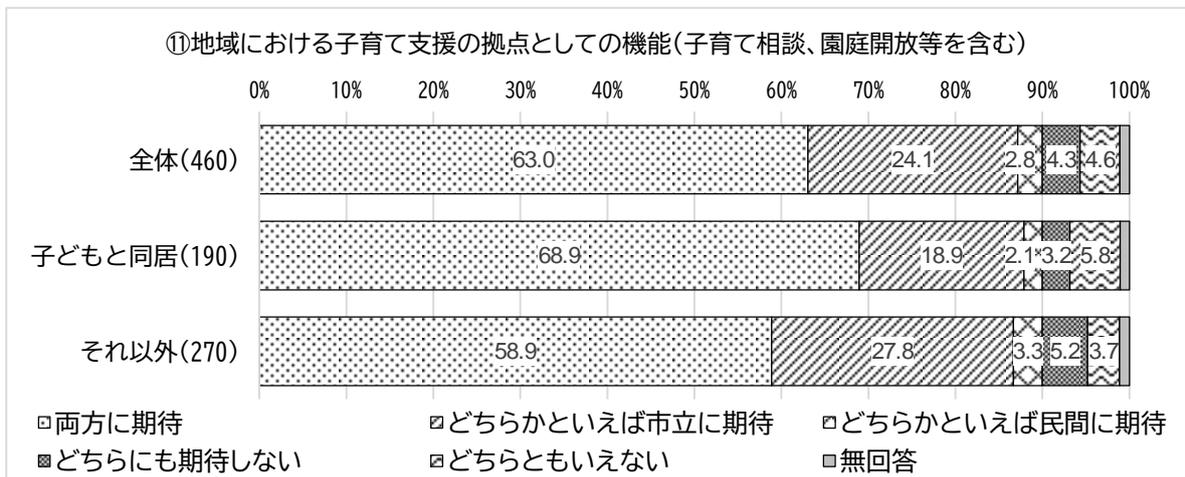
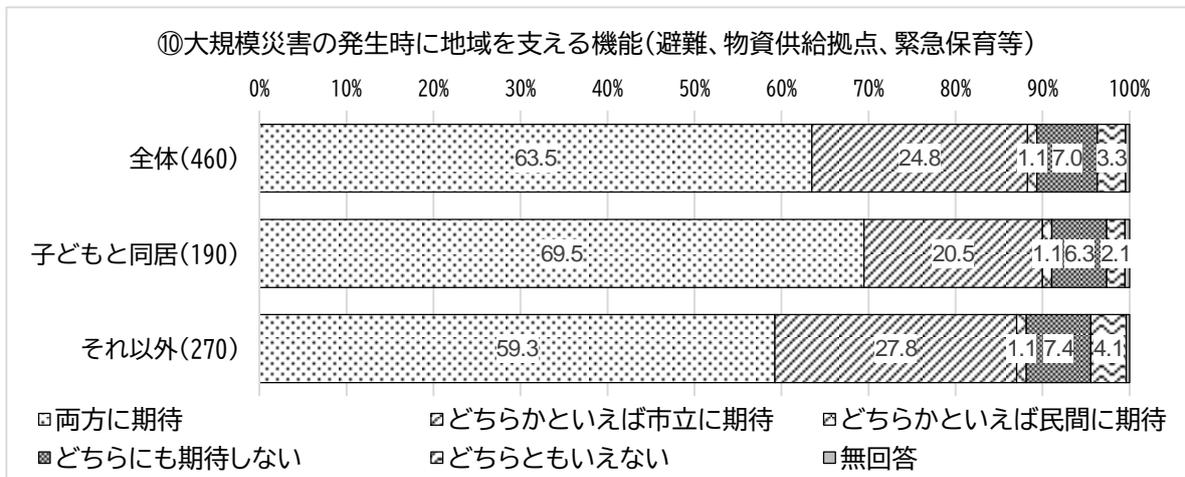
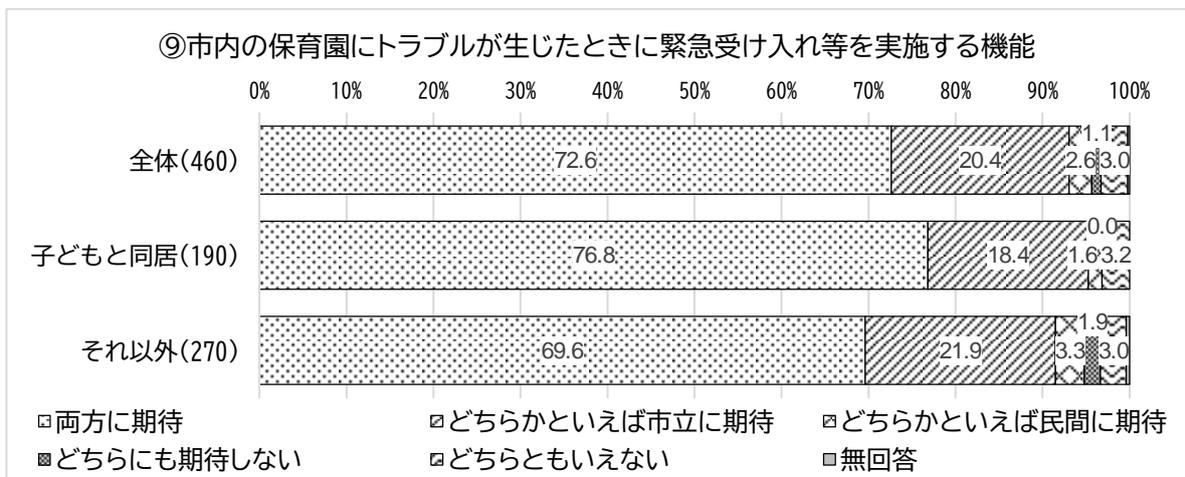
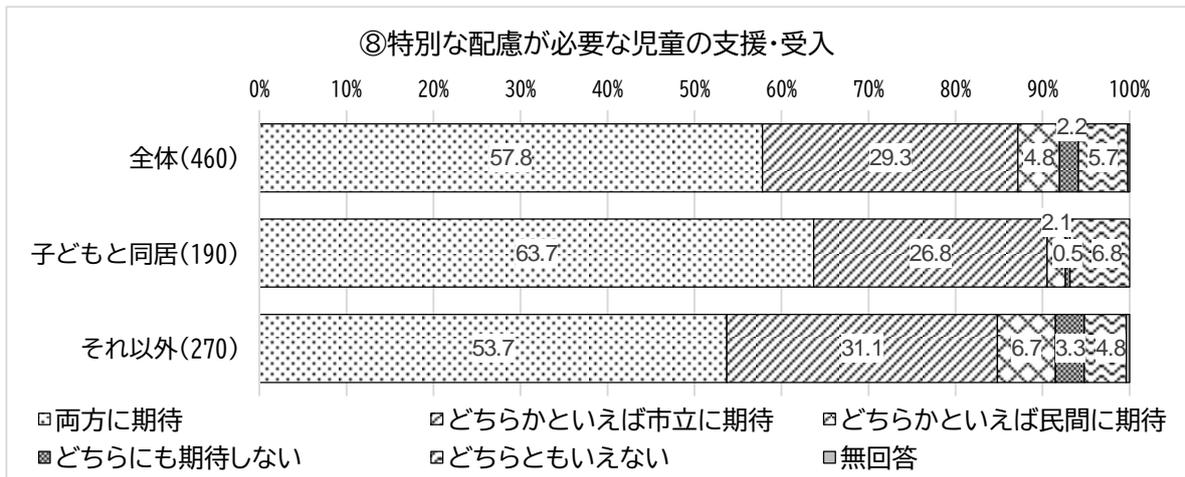
【属性別】子どもとの同居

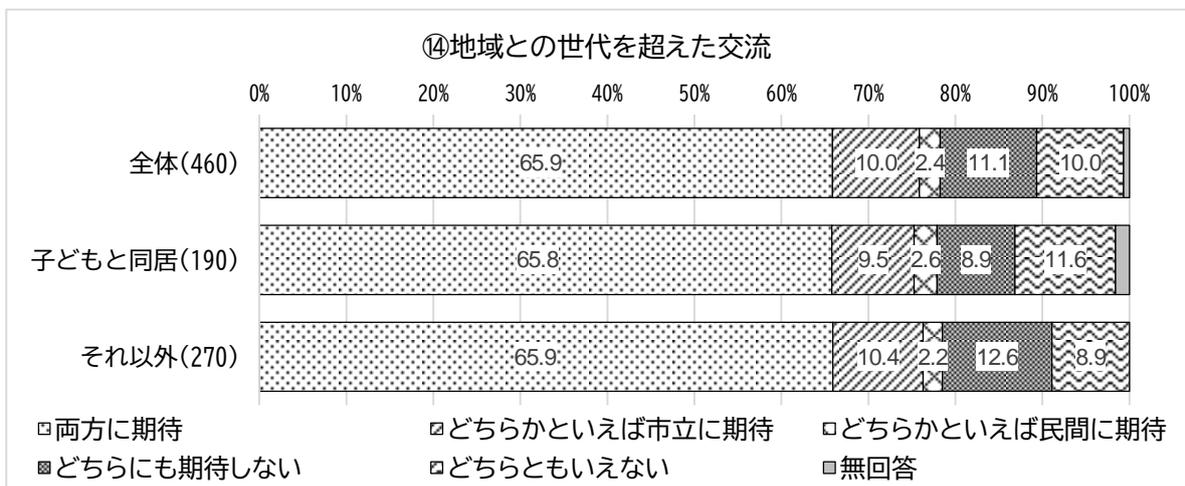
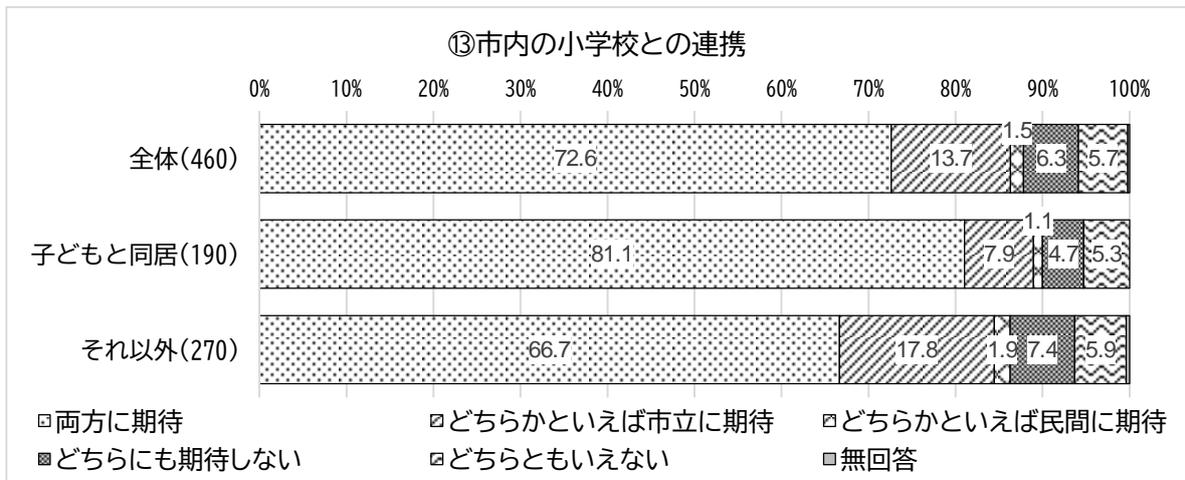
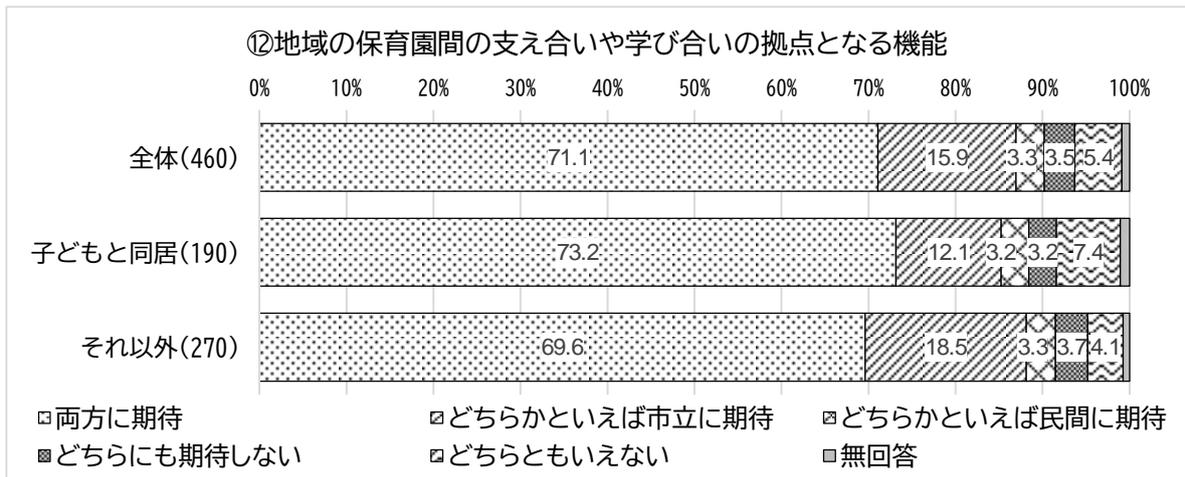
- 年齢別と同様に、子どもとの同居の有無による差はあまりみられませんが「⑤小金井市の保育のスタンダード（基準）を示し・実践する機能」では、「両方に期待」が、子どもと同居していない人に比べ、同居している人では16.3ポイント上回っています。
- また、「⑧特別な配慮が必要な児童の支援・受入」、「⑩大規模災害の発生時に地域を支える機能（避難、物資供給拠点、緊急保育等）」、「⑪地域における子育て支援の拠点としての機能（子育て相談、園庭開放等を含む）」、「⑬市内の小学校との連携」の4項目では、「両方に期待」が、子どもと同居していない人に比べ、同居している人では10ポイント以上上回っています。





II 調査結果
2 市民アンケート





II 調査結果
2 市民アンケート

Q3. 子ども・子育て支援で充実してほしいこと(複数回答)

	全体	年齢別		子どもとの同居の有無別	
		40代未満	50歳以上	子どもと同居	それ以外
		(460)	(213)	(247)	(270)
1 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口の充実	45.7	42.7	48.2	40.0	49.6
2 いじめ・虐待等の防止と早期発見	72.2	65.7	77.7	67.4	75.6
3 犯罪等から子どもを守る環境づくり	68.0	71.8	64.8	70.0	66.7
4 子どもが家庭の状況、性別、障害の有無などによって差別されることなく、等しく権利が保障される社会環境づくり	60.2	51.6	67.6	52.6	65.6
5 子どもの意見を尊重し、社会参加できる機会の充実	30.0	31.5	28.7	28.4	31.1
6 子どもの体験活動の支援	44.1	48.4	40.5	48.4	41.1
7 子どもの居場所と交流の場の充実	54.6	50.7	57.9	56.8	53.0
8 経済的負担の軽減	55.2	58.7	52.2	56.8	54.1
9 母子保健事業の充実	31.7	31.5	32.0	26.8	35.2
10 子育てに関する相談・支援、情報提供、学習機会の充実と支援の強化	44.8	41.3	47.8	46.3	43.7
11 父親の育児負担を促進する働きかけ（父親も視野に入れた子育て支援など）	30.9	31.0	30.8	28.9	32.2
12 ひとり親家庭の支援	47.6	39.0	55.1	38.4	54.1
13 特別な配慮が必要な子ども（障がい児等）と家庭の支援	52.2	42.7	60.3	48.4	54.8
14 外国籍の子どもと家庭の支援	32.8	23.9	40.5	31.1	34.1
15 子育て、子育てが困難な家庭へのきめ細やかな支援	44.1	38.0	49.4	44.7	43.7
16 社会経済的に不利な環境にいる子どもの学習支援	43.5	39.9	46.6	38.9	46.7
17 幼稚園・保育園・小学校の連携の強化（スムーズな修学支援）	39.6	40.4	38.9	43.2	37.0
18 子育て、子育てしやすい生活環境等の整備	50.7	57.7	44.5	56.8	46.3
19 地域の緑と環境を守る	32.2	32.4	32.0	32.1	32.2
20 地域全体で子育て支援をするネットワークの整備	34.6	28.6	39.7	34.2	34.8
21 地域の公共施設の活用	28.3	26.3	30.0	30.0	27.0
22 その他	2.0	3.3	0.8	2.1	1.9
23 無回答	0.4	0.5	0.4	0.0	0.7

【全体】

- 全体では、「いじめ・虐待等の防止と早期発見」が72.3%で最も比率が高く、以下、「犯罪等から子どもを守る環境づくり」、「子どもが家庭の状況、性別、障害の有無などによって差別されることなく、等しく権利が保障される社会環境づくり」が60%台で続いています。また、「経済的負担の軽減」や「子どもの居場所と交流の場の充実」、「特別な配慮が必要な子ども（障がい児等）と家庭の支援」、「子育て、子育てしやすい生活環境等の整備」も50%台と比率が高くなっています。

【属性別】年齢

- 「特別な配慮が必要な子ども（障がい児等）と家庭の支援」、「外国籍の子どもと家庭の支援」、「ひとり親家庭の支援」、「子どもが家庭の状況、性別、障害の有無などによって差別されることなく、等しく権利が保障される社会環境づくり」の4項目は、50歳以上での比率が、40代未満を15ポイント以上上回っています。
- 一方、「子育て、子育てしやすい生活環境等の整備」は、40代未満の比率が、50歳以上を10ポイント以上上回っています。

【属性別】子どもとの同居の有無

- 子どもとの同居の有無別では、年齢別と同様の傾向となっており、「ひとり親家庭の支援」、「子どもが家庭の状況、性別、障害の有無などによって差別されることなく、等しく権利が保障される社会環境づくり」の2項目で、子どもと同居していない人の比率が、同居している人を15ポイント以上上回っています。
- 一方、「子育て、子育てしやすい生活環境等の整備」は、子どもと同居している人の比率が、同居していない人の比率を10ポイント以上上回っています。

II 調査結果
2 市民アンケート

Q4. 今後重視すべき施策(複数回答(5つまで))

	全体	年齢別		子どもとの同居の有無別	
		40代未満	50歳以上	子どもと同居	それ以外
		(460)	(213)	(247)	(190)
1 みどりと水の環境整備	27.2	20.2	33.2	20.5	31.9
2 循環型社会の形成	8.9	10.3	7.7	5.3	11.5
3 環境保全の推進	12.6	11.7	13.4	14.2	11.5
4 市街地の整備	17.8	17.4	18.2	16.3	18.9
5 住環境の整備	15.0	18.3	12.1	14.7	15.2
6 都市インフラの整備	19.1	22.1	16.6	18.9	19.3
7 交通環境の整備	18.7	20.2	17.4	20.0	17.8
8 危機管理体制の構築	23.7	19.2	27.5	24.7	23.0
9 地域の安全・安心の向上	40.7	44.6	37.2	41.1	40.4
10 産業・観光の振興	9.3	11.7	7.3	10.0	8.9
11 都市農業の振興	6.7	5.2	8.1	4.2	8.5
12 保育の充実(待機児童解消、保育園・幼稚園の保育の質の向上、在園時の子育て支援)	33.7	41.8	26.7	35.8	32.2
13 在宅子育て家庭の支援(子育て支援センター、ひろば事業、子育て相談の場の拡充)	11.1	12.7	9.7	14.2	8.9
14 子どもの育ちの支援(こども食堂、居場所づくり、仲間づくり、学習支援、権利の保障、社会参画と意志尊重)	25.2	24.9	25.5	29.5	22.2
15 子どもの福祉の充実(虐待の早期発見・予防、妊娠期からの切れ目のない支援、困難家庭への支援)	25.4	23.9	26.7	20.5	28.9
16 学校教育の充実	18.9	23.5	15.0	31.6	10.0
17 学校環境の整備	18.7	22.5	15.4	30.5	10.4
18 芸術文化の振興	6.3	6.6	6.1	3.2	8.5
19 国際交流・都市間交流の推進	3.9	4.7	3.2	2.6	4.8
20 人権・平和・男女共同参画の尊重	5.9	5.6	6.1	2.1	8.5
21 生涯学習の振興	5.0	3.8	6.1	1.6	7.4
22 スポーツの振興	2.4	1.4	3.2	1.6	3.0
23 福祉のまちづくりの推進	11.5	7.0	15.4	10.5	12.2
24 高齢者の生きがいの充実	7.2	3.3	10.5	5.8	8.1
25 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	19.1	6.1	30.4	17.4	20.4
26 障がい者福祉の充実	6.1	1.9	9.7	5.3	6.7
27 健康の維持・増進	6.7	4.2	8.9	5.8	7.4
28 市民参加・協働の推進	3.5	2.8	4.0	3.2	3.7
29 積極的な情報発信	3.7	4.2	3.2	2.6	4.4
30 計画的な行財政運営	22.6	27.2	18.6	23.7	21.9
無回答	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4

【全体】

- 全体では、「地域の安全・安心の向上」が40.7%で最も比率が高く、以下、「保育の充実(待機児童解消、保育園・幼稚園の保育の質の向上、在園時の子育て支援)」、「みどりと水の環境整備」、「子どもの福祉の充実(虐待の早期発見・予防、妊娠期からの切れ目のない支援、困難家庭への支援)」、「子どもの育ちの支援(こども食堂、居場所づくり、仲間づくり、学習支援、権利の保障、社会参画と意志尊重)」などが続いており、地域の安全・安心なども含めて、子どもたちの生育環境の向上につながる施策が上位となっています。

【属性別】年齢

- 「地域の安全・安心の向上」が第1位なのは共通ですが、40代未満で第2位の「保育の充実（待機児童解消、保育園・幼稚園の保育の質の向上、在園時の子育て支援）」は、50歳以上では第5位となっており、比率も15ポイントほど低くなっています。

【属性別】子どもとの同居の有無

- 子どもとの同居の有無別では、「学校教育の充実」や「学校環境の整備」に関して、子どもと同居している人では30%台と比率が高い一方、同居していない人では10%台と大きな差があります。

II 調査結果

3 保育者アンケート

3 保育者アンケート

F 1. 年齢

単位：票、%

	実数	構成比
20代	72	25.8
30代	52	18.6
40代	65	23.3
50代	62	22.2
60歳以上	28	10.0
無回答	0	0.0
計	279	100.0

●20代が25.8%で最も比率が高く、40代、50代が20%台が続いています。30代は20%弱と若干低くなっています。

F 2. 性別

単位：票、%

	実数	構成比
男	16	5.7
女	252	90.3
その他	1	0.4
回答しない	10	3.6
無回答	0	0.0
計	279	100.0

●女性が9割を占めます。男性は5.7%となっています。

F 3. 経験年数

単位：票、%

	実数	構成比
1～3年未満	34	12.2
3～5年未満	31	11.1
5～10年未満	69	24.7
10～20年未満	86	30.8
20～30年未満	30	10.8
30年以上	29	10.4
無回答	0	0.0
計	279	100.0

●10～20年未満が30.8%で最も比率が高く、5～10年未満が24.7%が続いています。

●経験年数20年以上は21.2%、5年未満は22.3%となっています。

F 4. 勤務する保育園

単位：票、%

	実数	構成比
市立保育園	112	40.1
民間保育施設（認可保育園・認定こども園・特定地域型保育事業等）	167	59.9
無回答	0	0.0
計	279	100.0

●勤務園は、市立保育園が4割、民間保育施設が6割となっています。

F 5. 民間保育施設勤務者の市立保育園での勤務経験

単位：票、%

	実数	構成比
ある	28	16.8
ない	139	83.2
無回答	0	0.0
計	167	100.0

●民間保育施設に勤務する人で、市立保育園での勤務経験がある人は16.8%となっています。

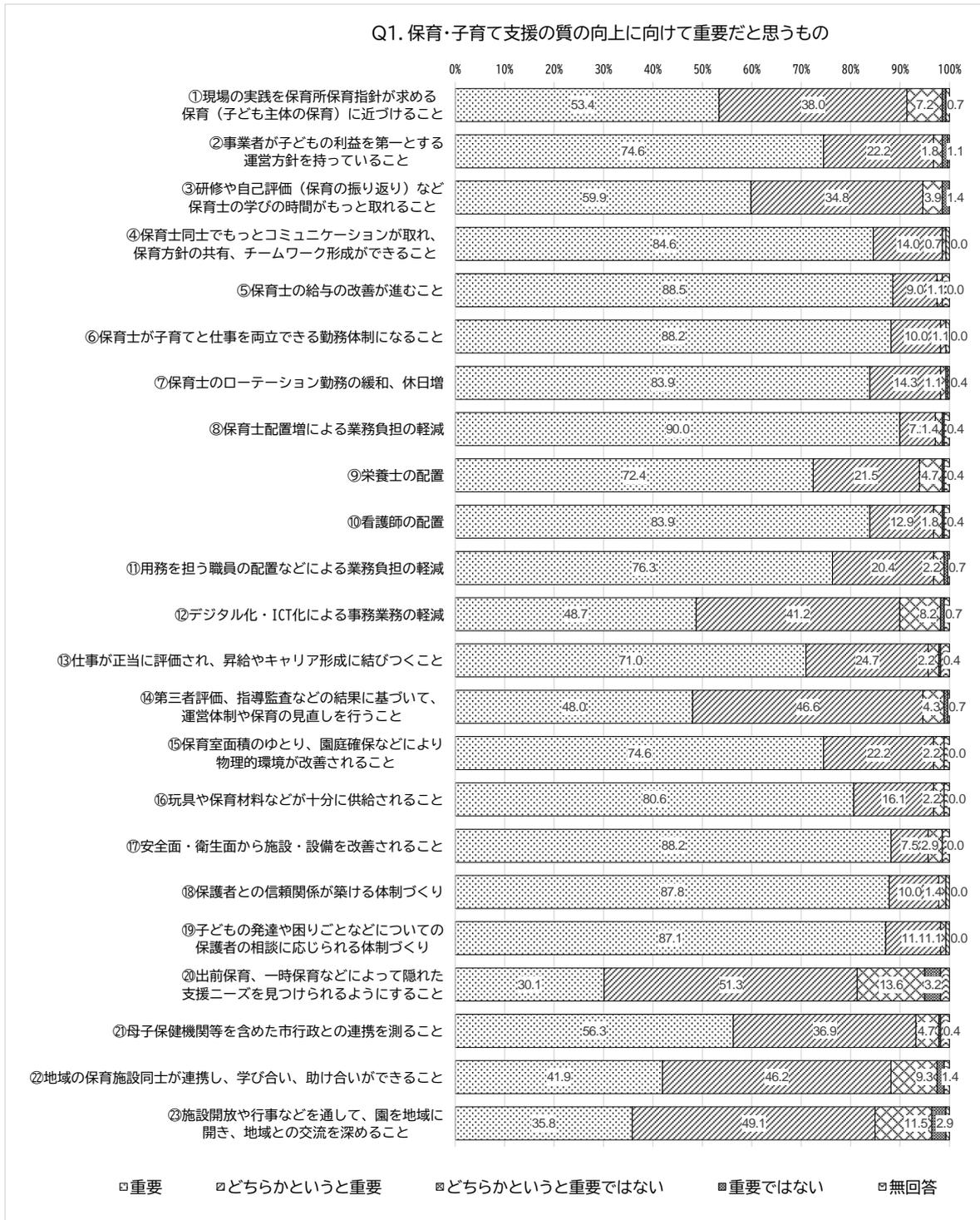
F 6. 市立保育園勤務者の民間保育施設での勤務経験

単位：票、%

	実数	構成比
ある	52	46.4
ない	60	53.6
無回答	0	0.0
計	112	100.0

●市立保育園に勤務する人で、民間保育施設での勤務経験がある人は46.4%となっています。

Q1. 保育・子育て支援の質の向上に向けて重要だと思うもの(複数回答)



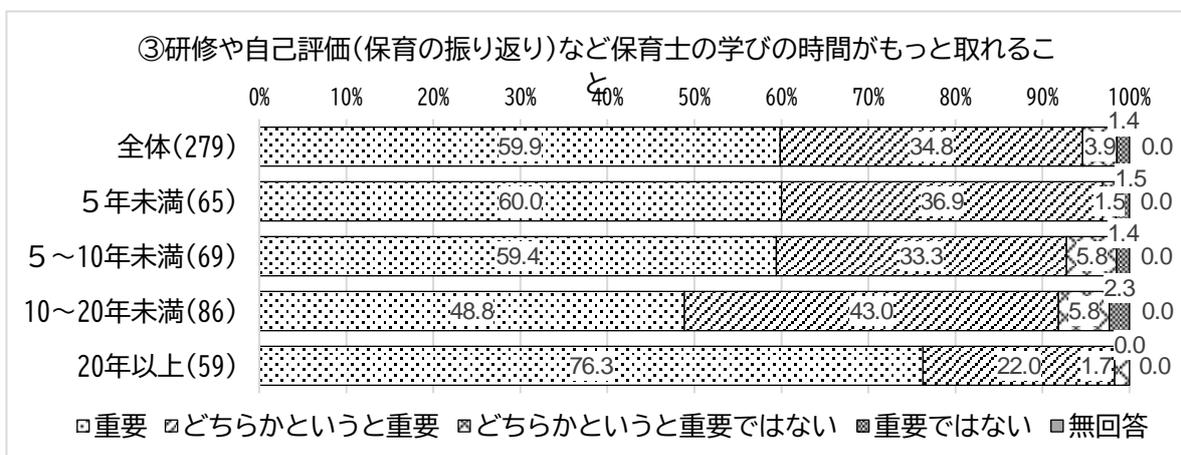
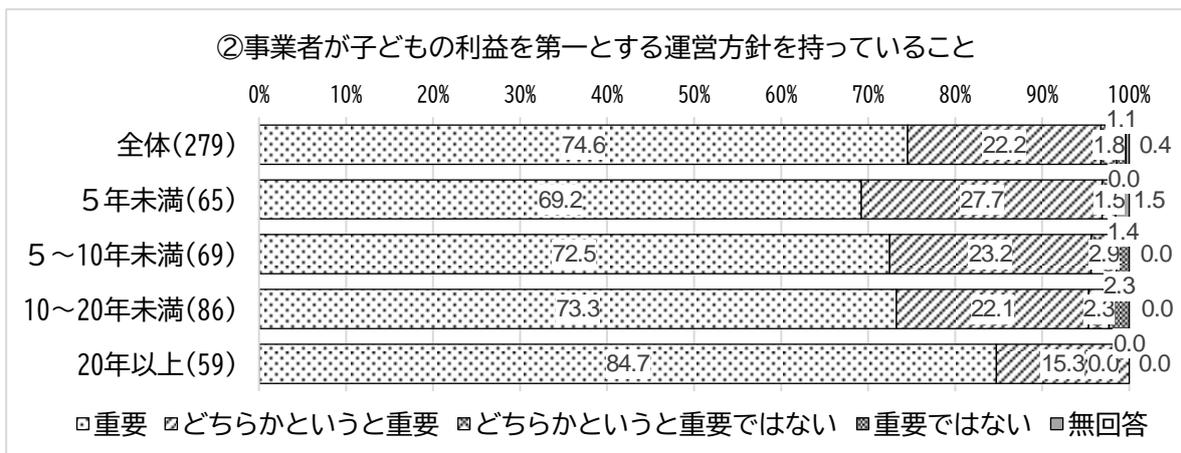
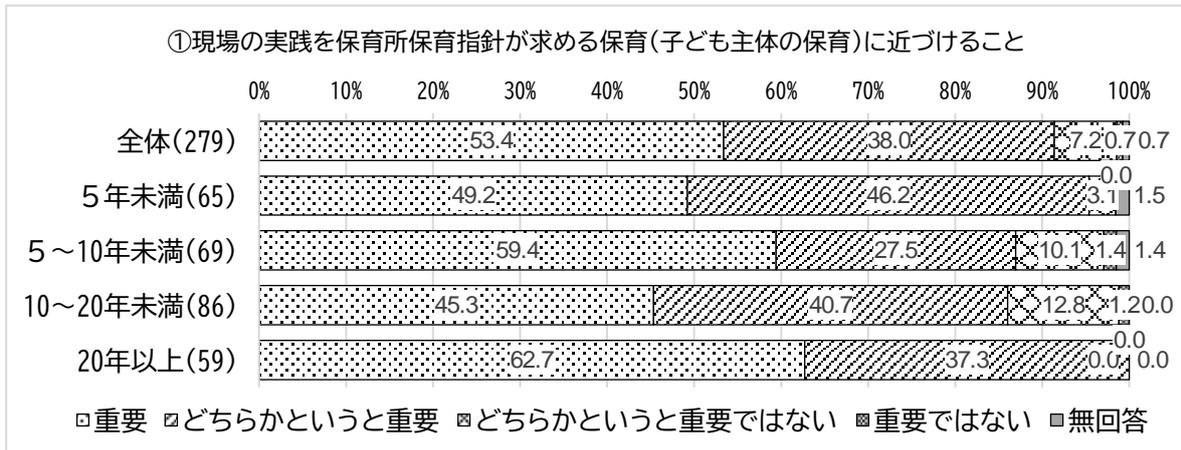
【全体】

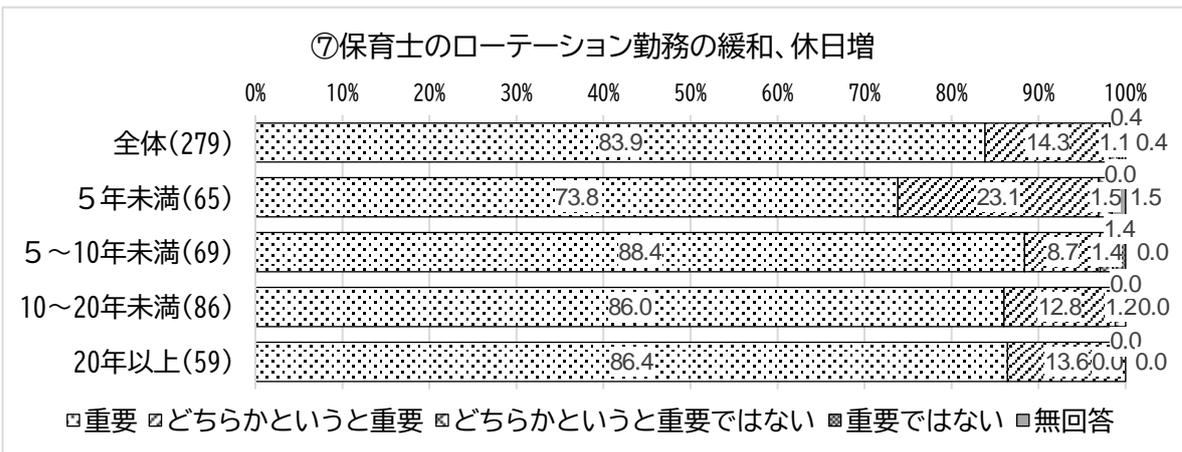
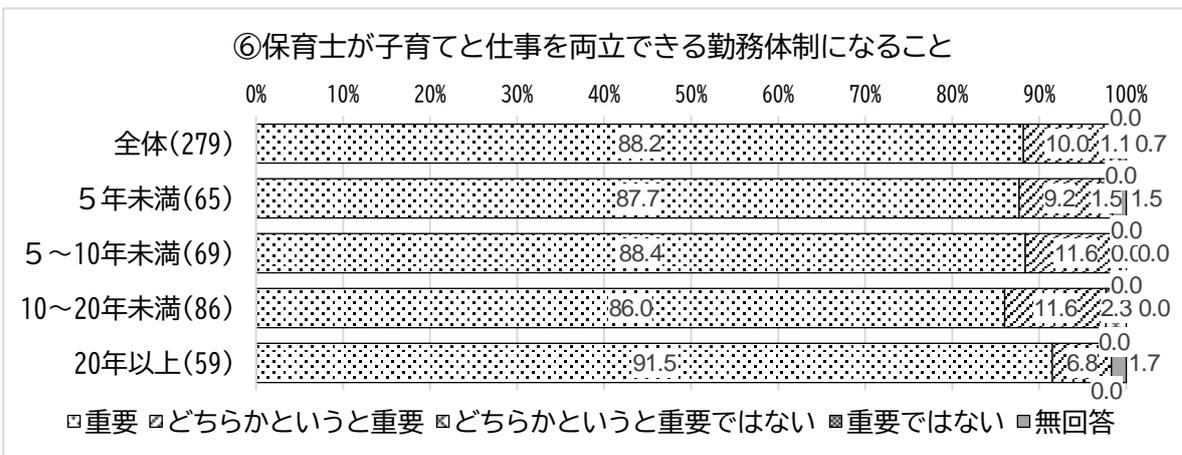
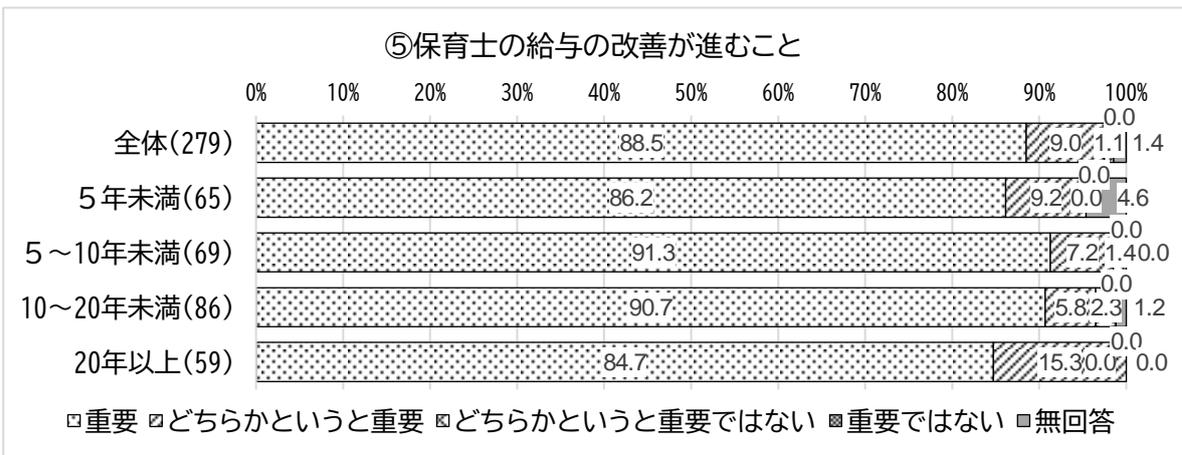
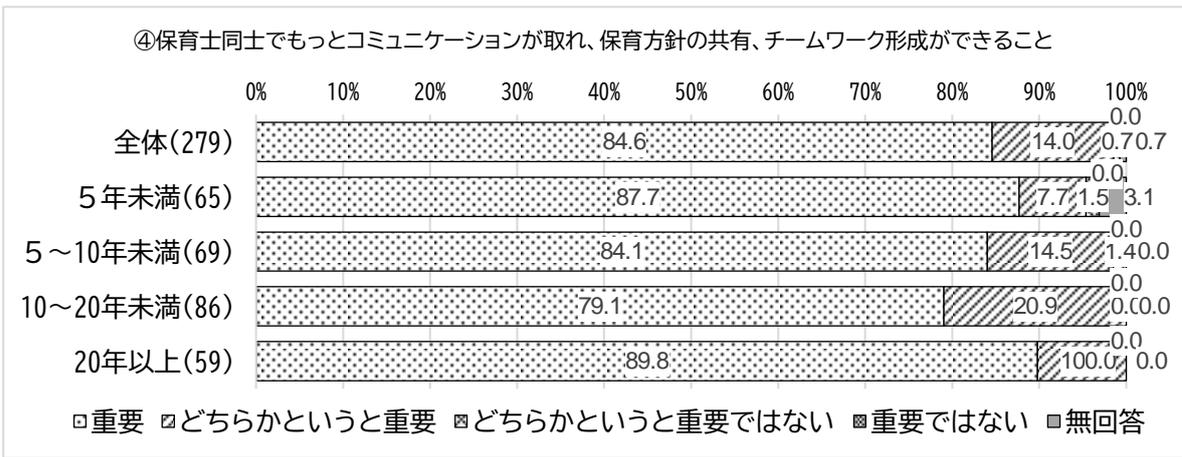
- 「⑧保育士配置増による業務負担の軽減」、「⑤保育士の給与の改善が進むこと」、「⑥保育士が子育てと仕事を両立できる勤務体制になること」、「⑰安全面・衛生面から施設・設備を改善されること」、「⑱保護者との信頼関係が築ける体制づくり」、「⑲子どもの発達や困りごとなどについての保護者の相談に応じられる体制づくり」では「重要」が90%前後と比率が高くなっています。
- 一方、「⑳出前保育、一時保育などによって隠れた支援ニーズを見つけられるようにすること」や「㉓施設開放や行事などを通して、園を地域に開き、地域との交流を深めること」では、「重要」の比率は30%台と低くなっています。

II 調査結果
3 保育者アンケート

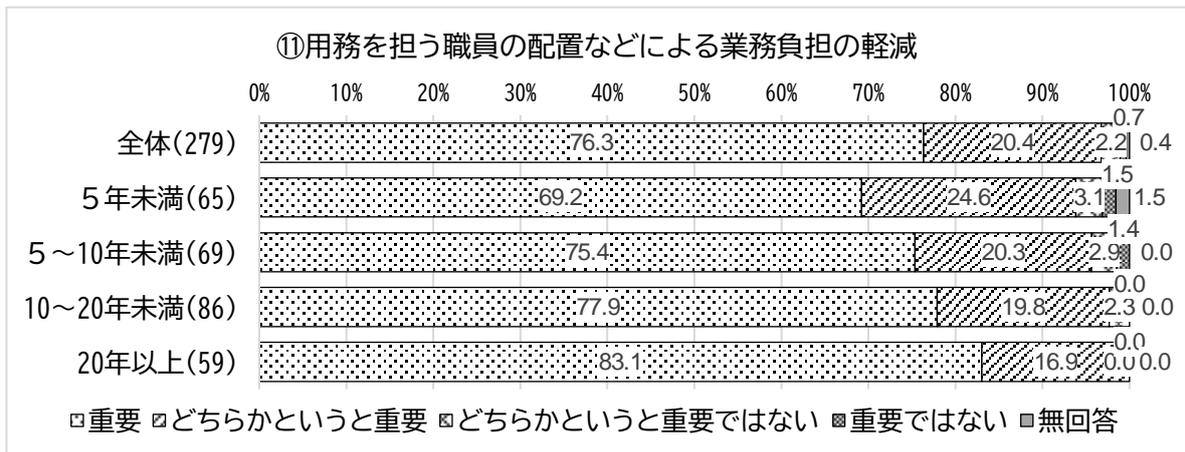
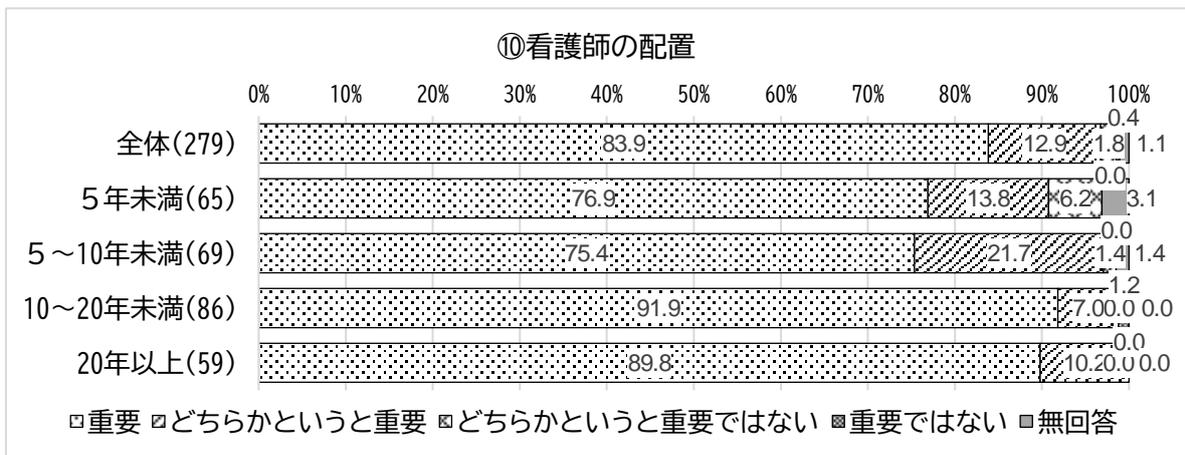
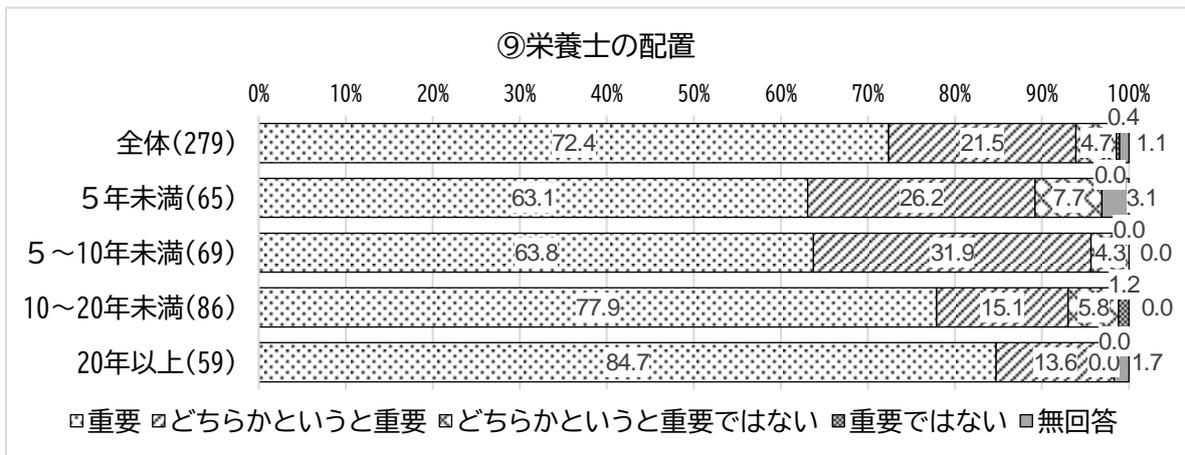
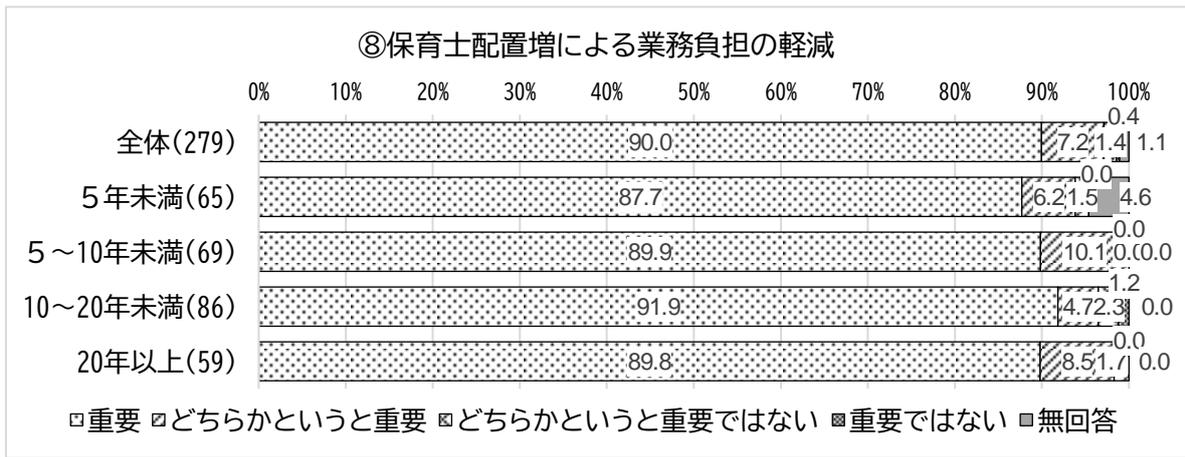
【属性別】経験年数

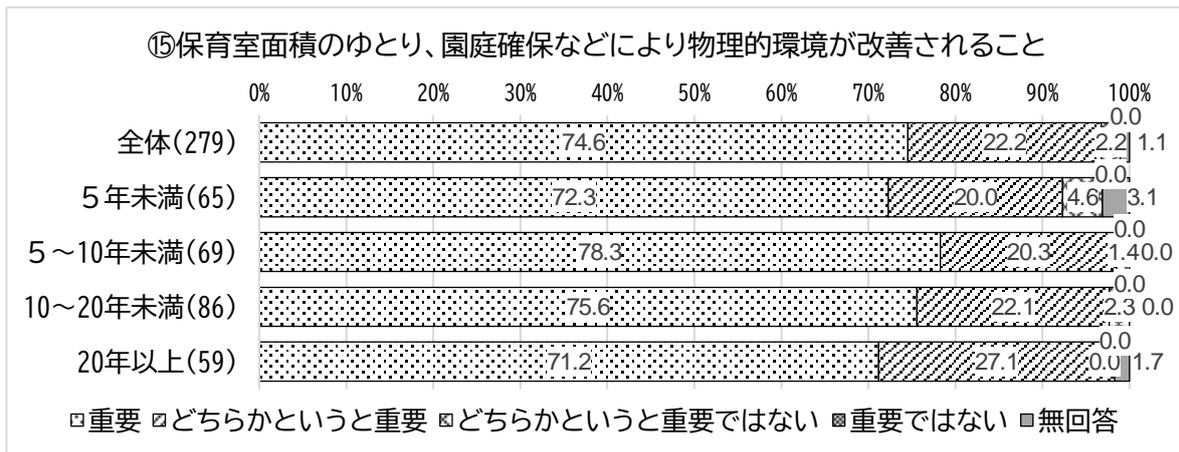
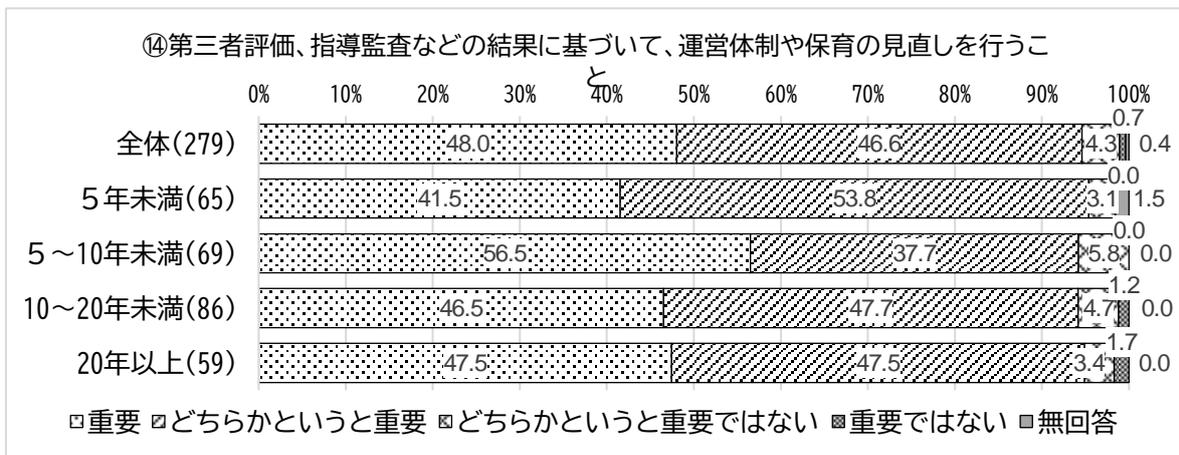
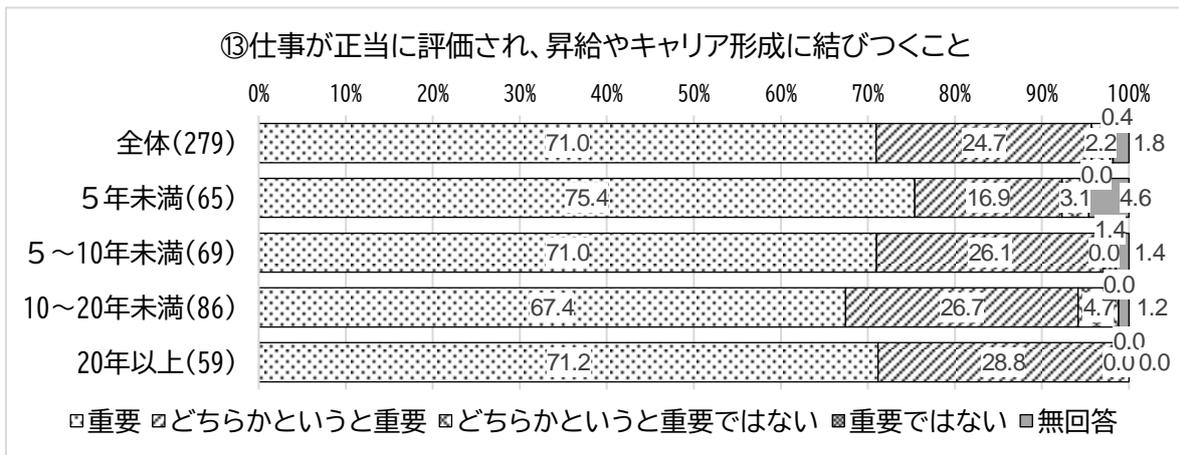
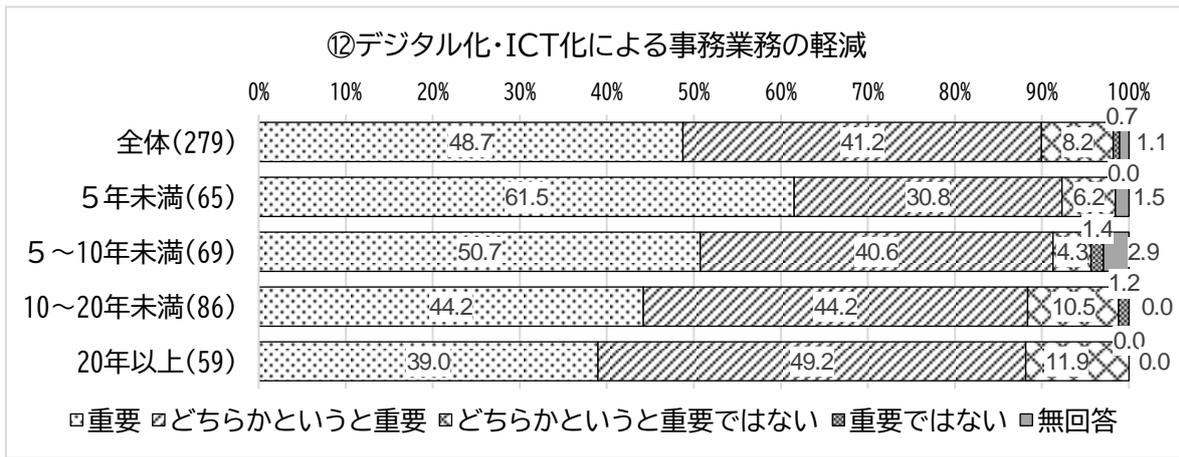
- 「⑨栄養士の配置」、「⑪用務を担う職員の配置などによる業務負担の軽減」、「⑩看護師の配置」、「⑫母子保健機関等を含めた市行政との連携を測ること」の4項目では、経験年数が長いほど「重要」の比率が高くなっています。
- 一方、「⑫デジタル化・ICT化による事務業務の軽減」は、経験年数が短いほど、「重要」の比率が高くなっています。



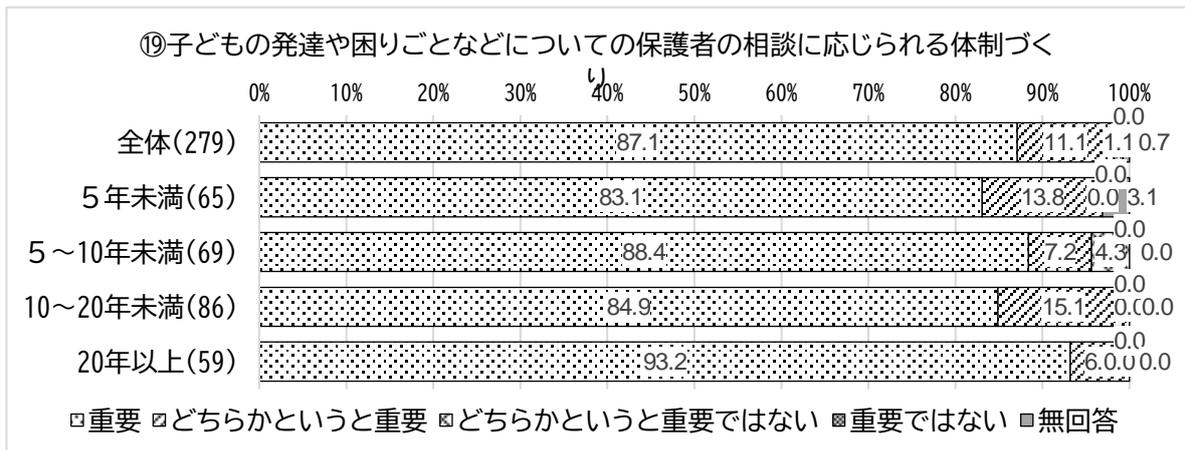
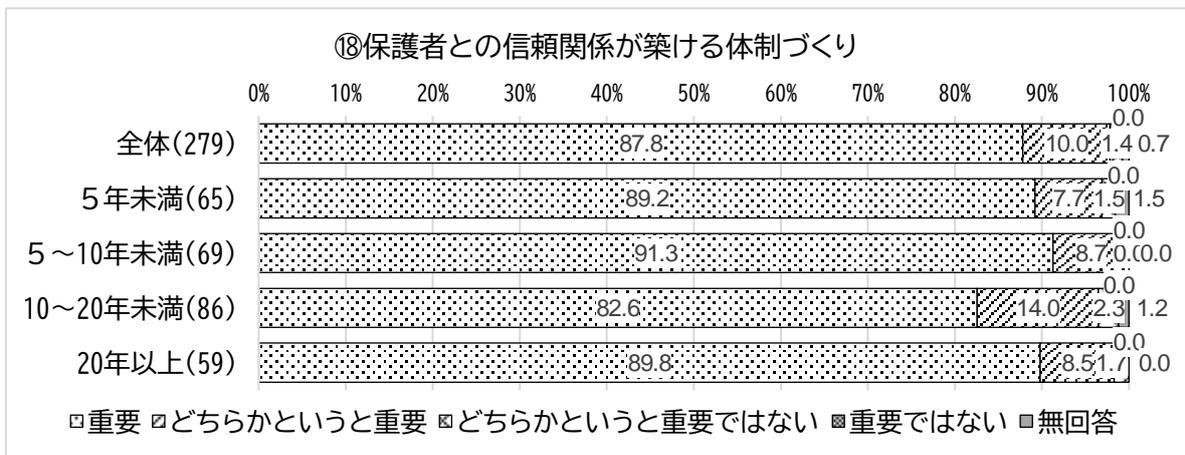
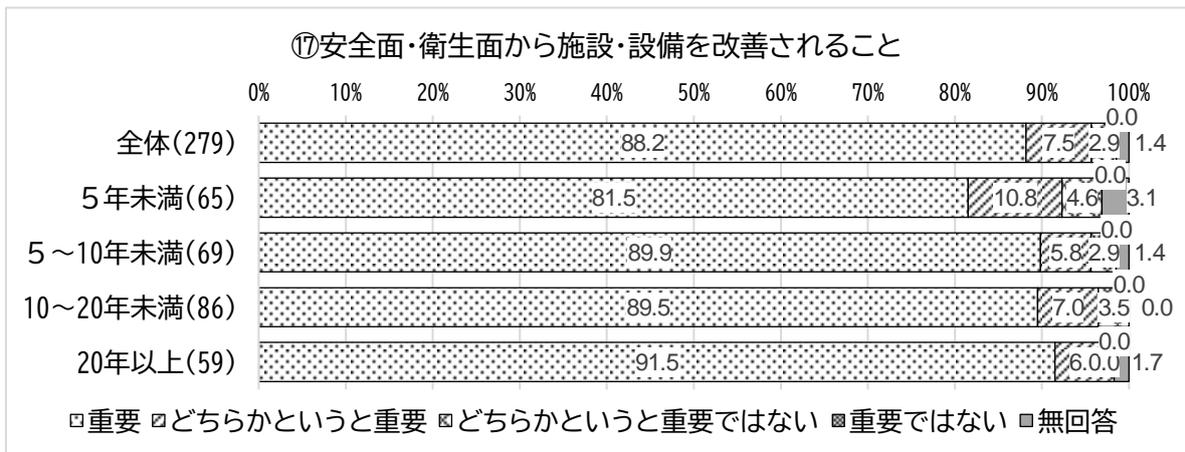
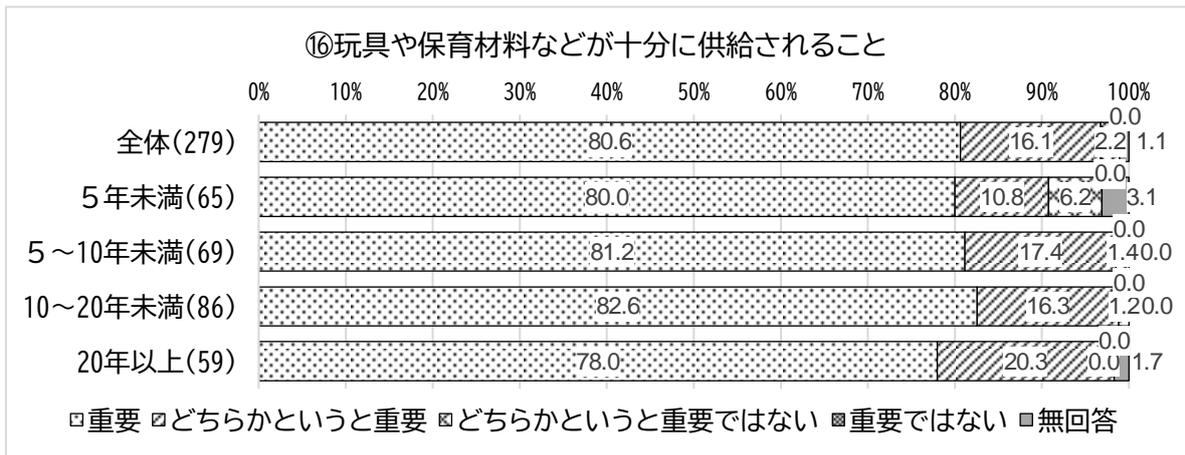


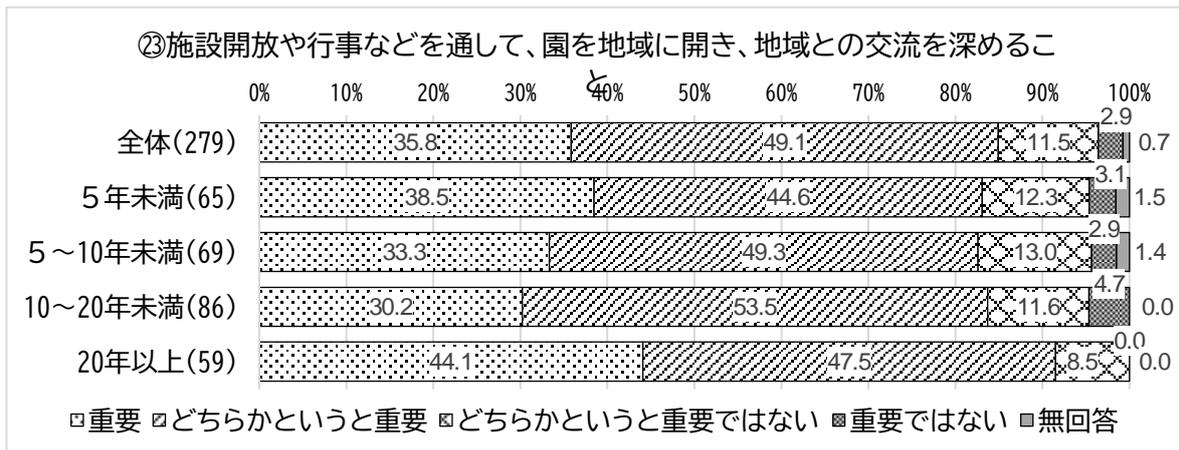
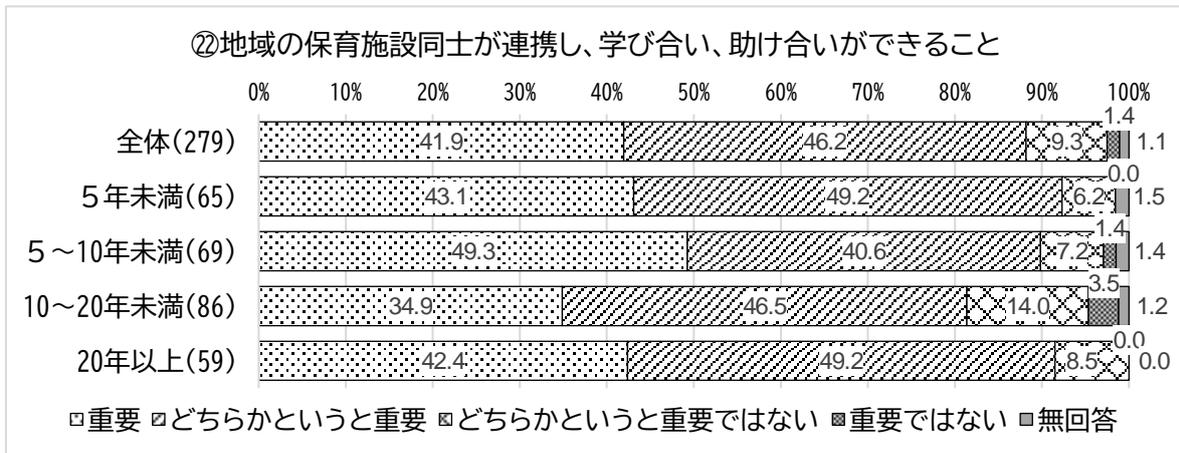
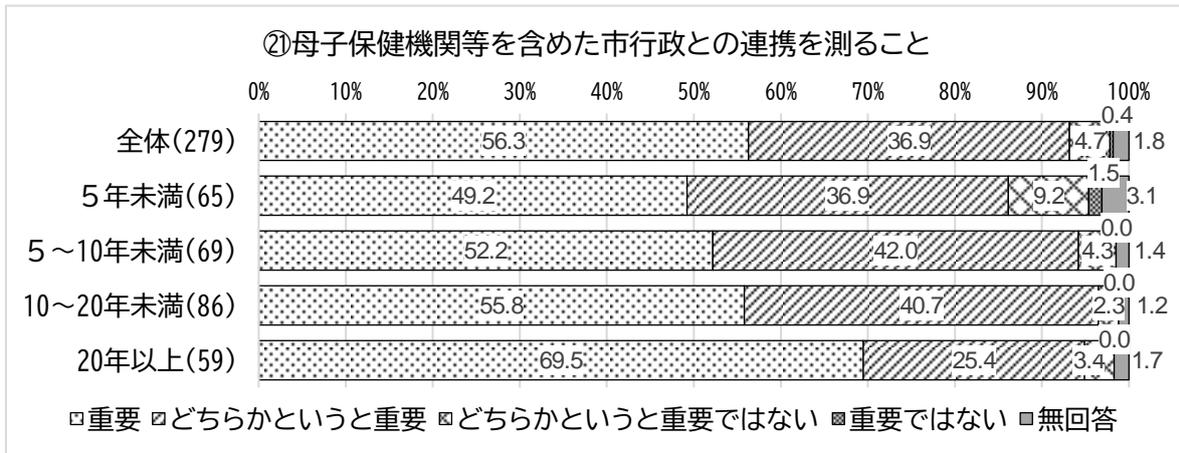
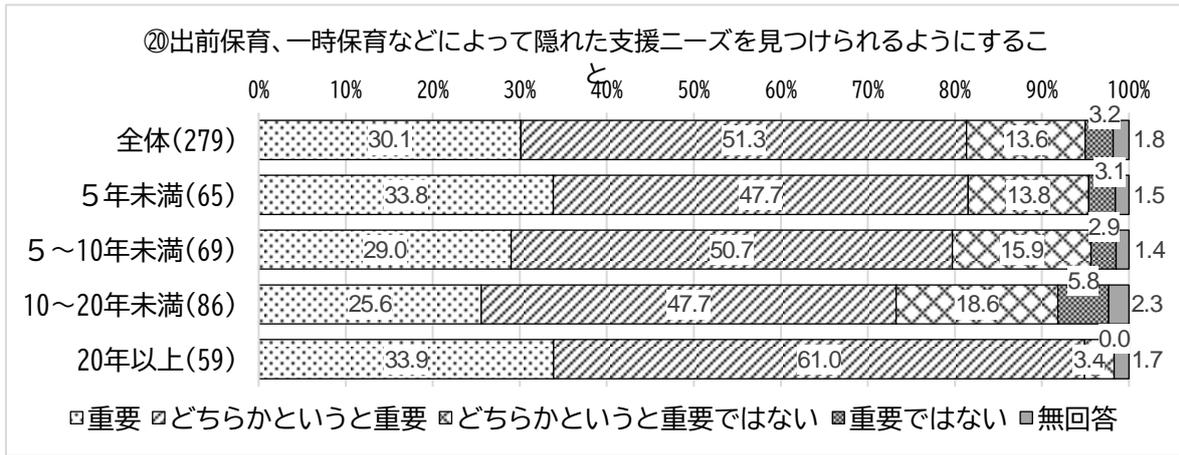
II 調査結果
3 保育者アンケート





II 調査結果
3 保育者アンケート

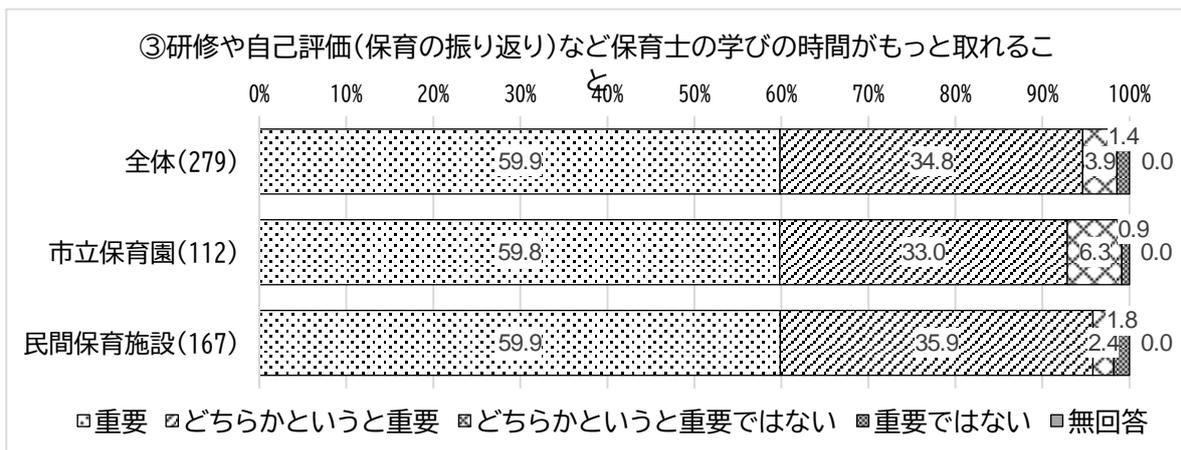
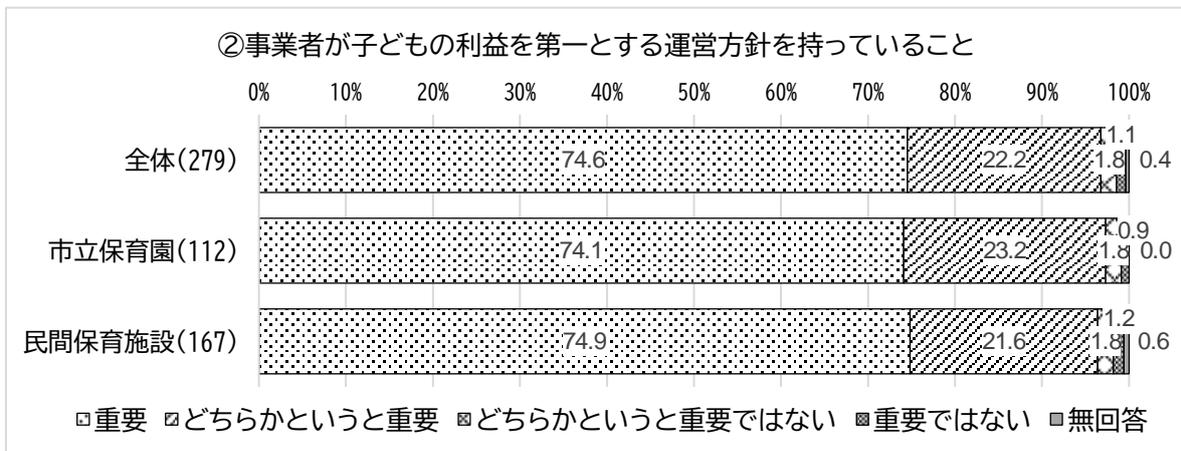
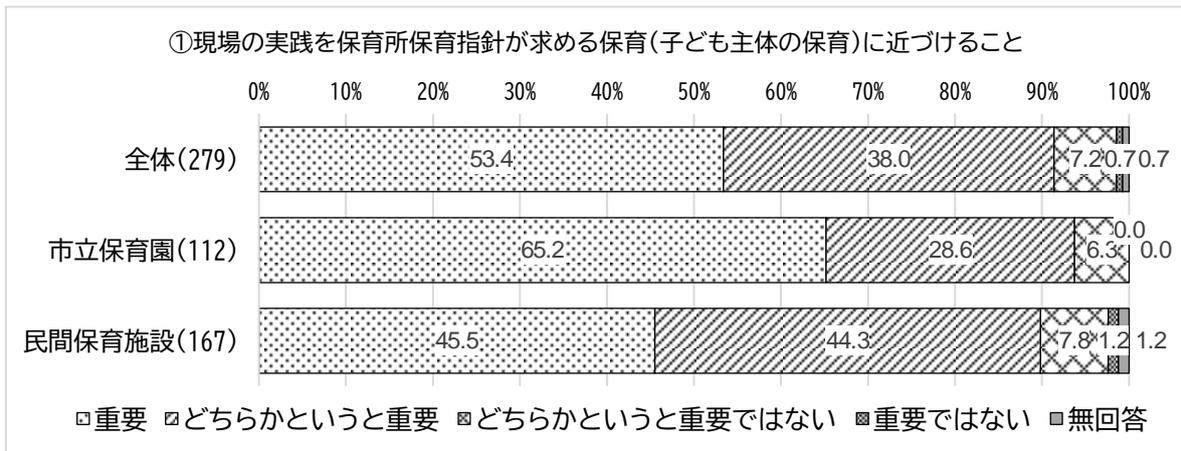


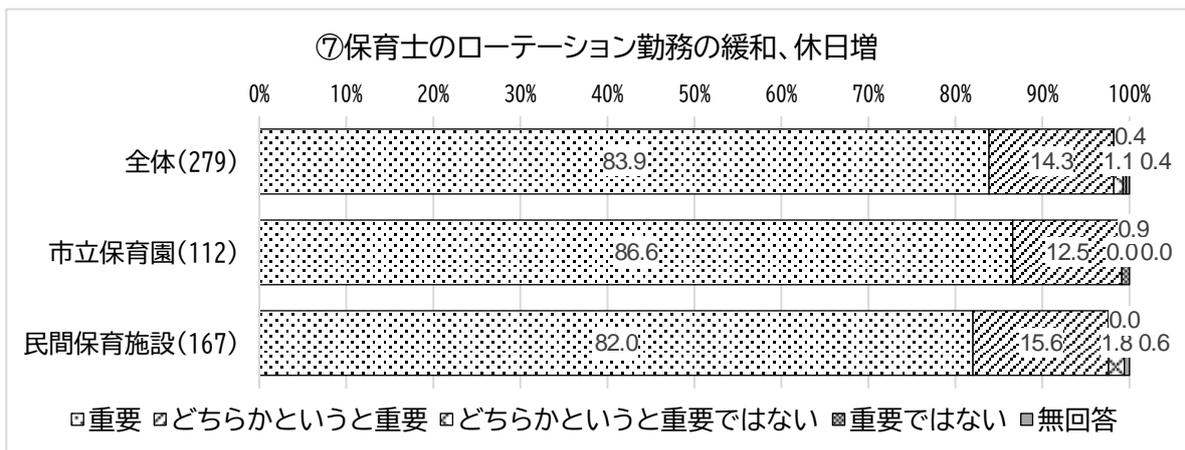
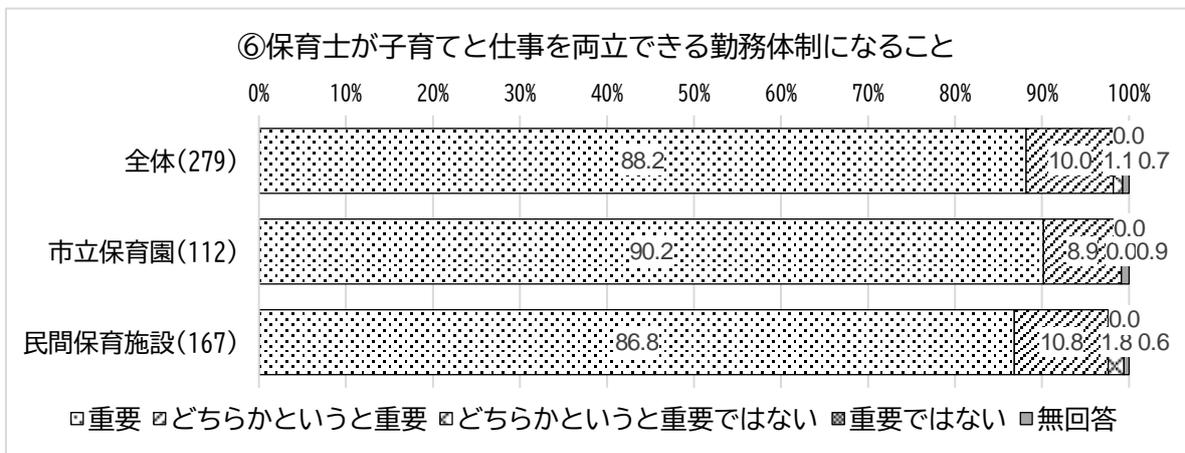
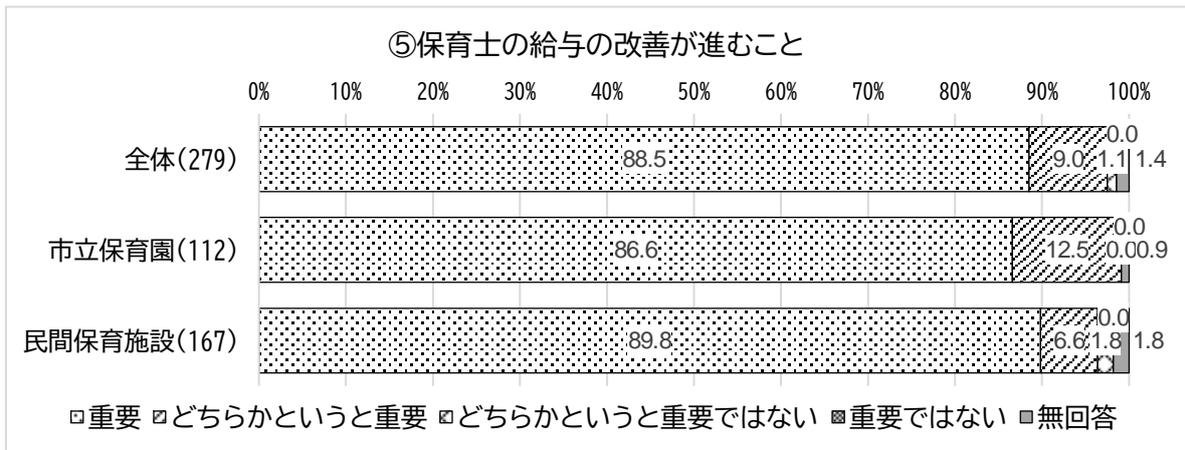
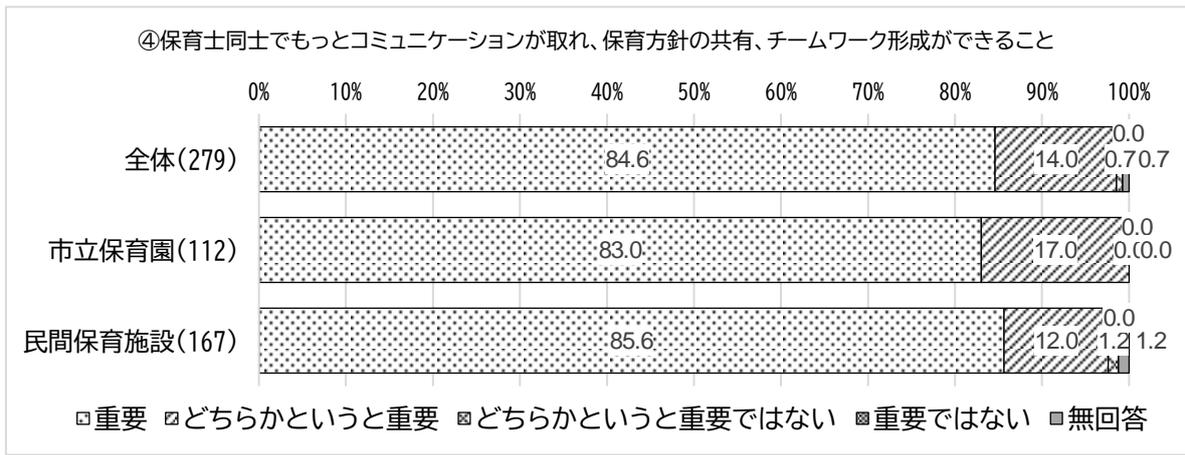


II 調査結果
3 保育者アンケート

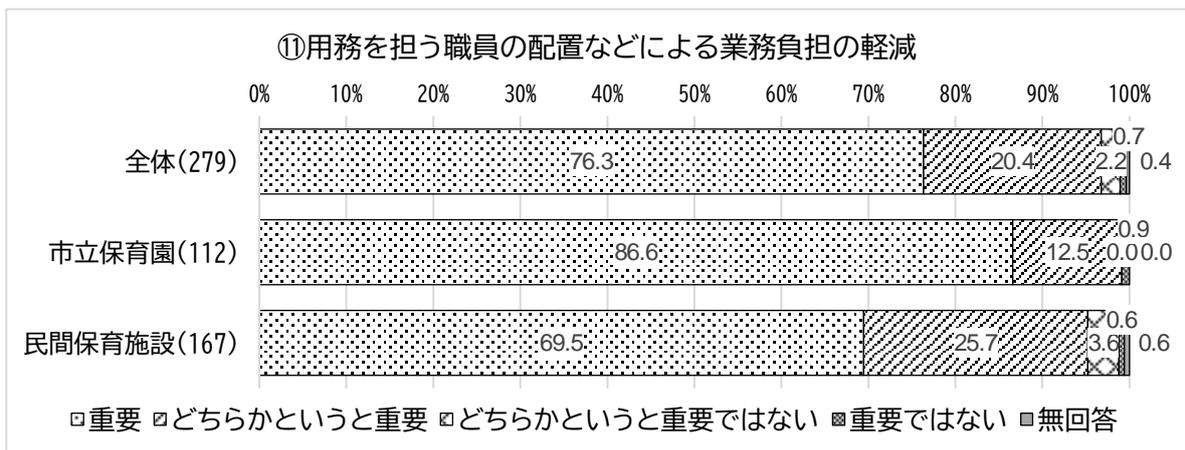
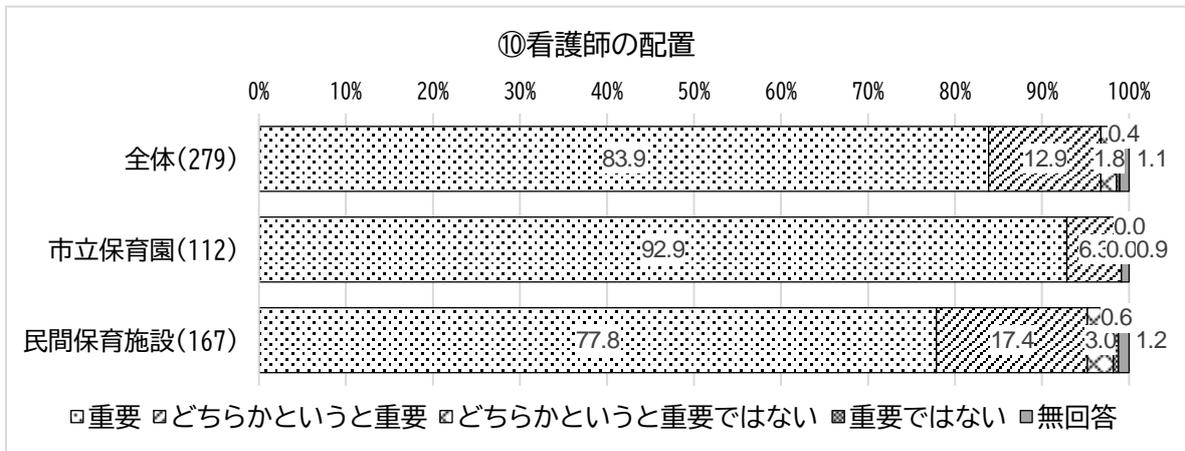
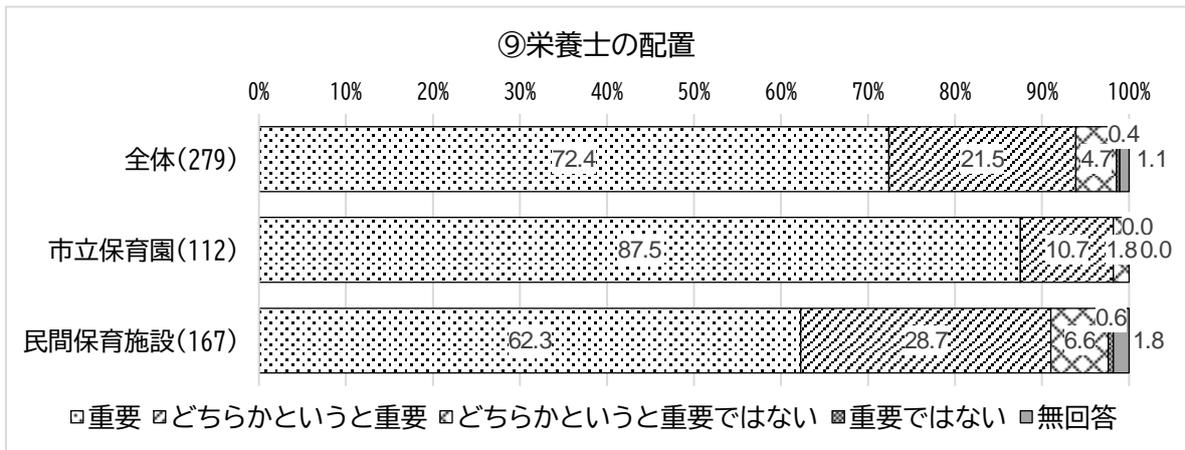
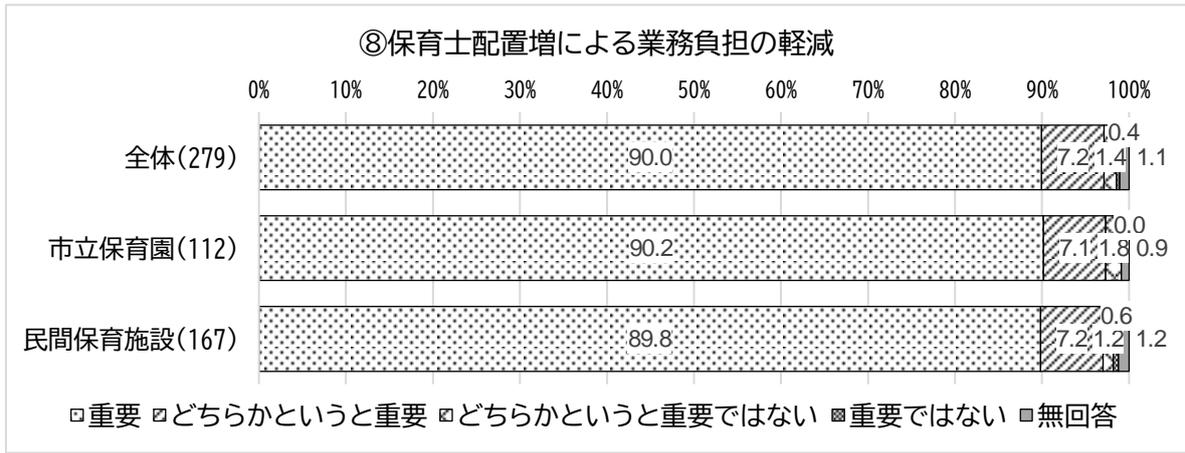
【属性別：勤務園の種類】

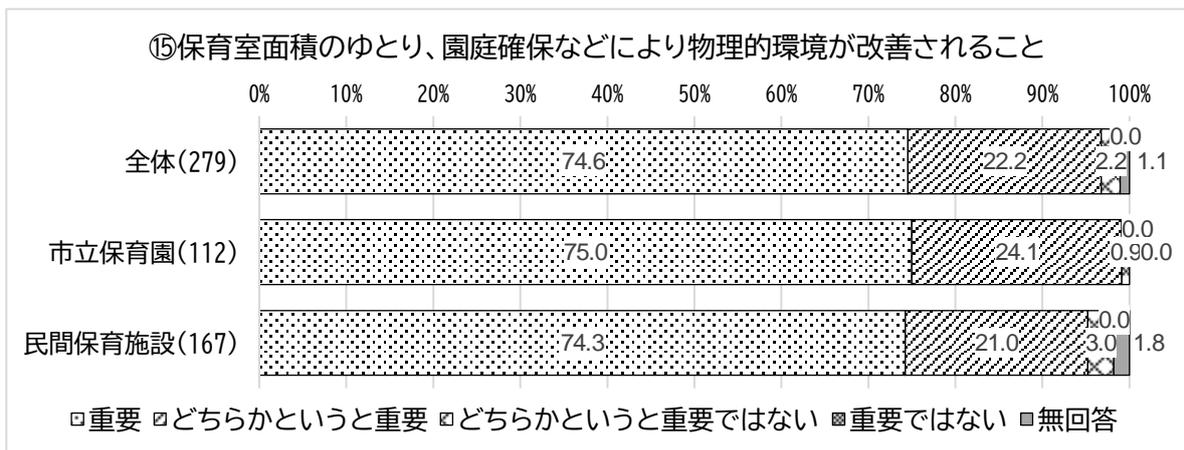
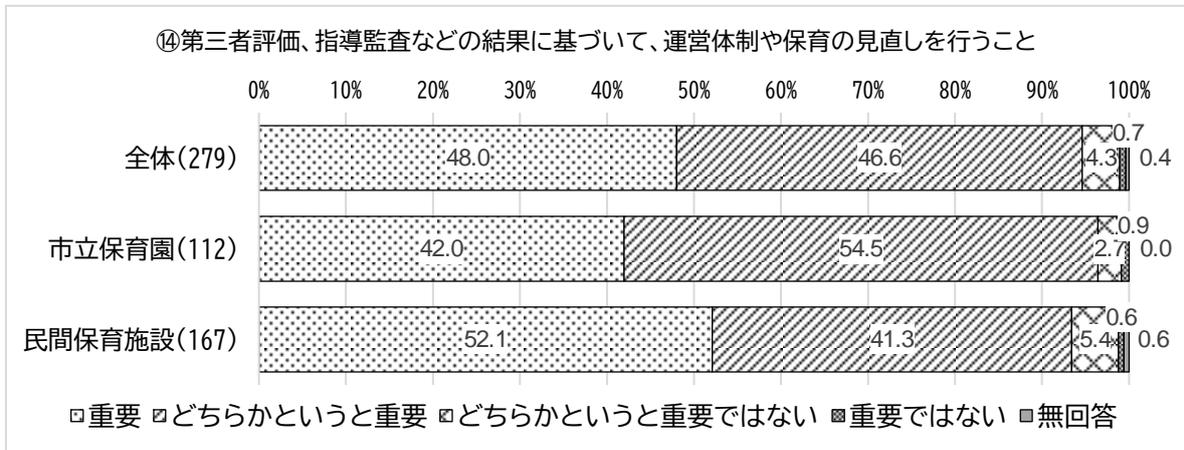
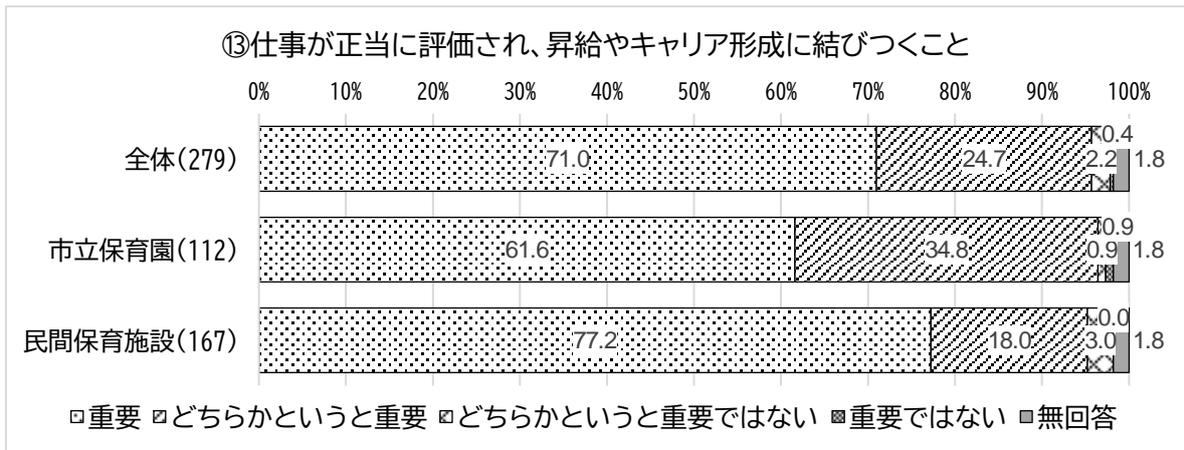
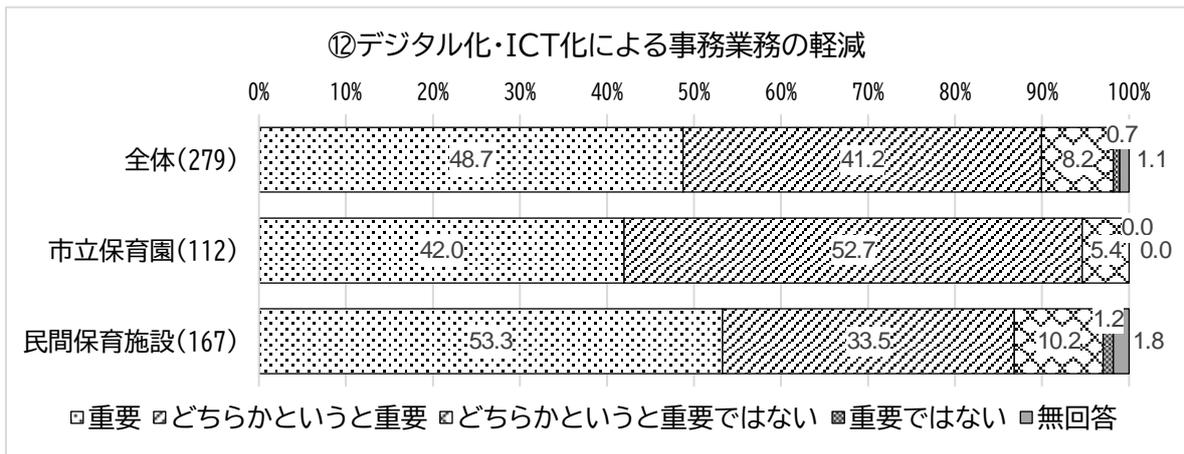
- 「⑨栄養士の配置」、「①現場の実践を保育所保育指針が求める保育（子ども主体の保育）に近づけること」、「⑩用務を担う職員の配置などによる業務負担の軽減」、「⑩看護師の配置」の4項目では、市立保育園の保育者の「重要」との回答比率が、民間保育施設の保育者を15ポイント以上上回っており、専門スタッフの配置に関するものが重視されています。
- 逆に、「⑬仕事が正当に評価され、昇給やキャリア形成に結びつくこと」、「⑫デジタル化・ICT化による事務業務の軽減」、「⑭第三者評価、指導監査などの結果に基づいて、運営体制や保育の見直しを行うこと」の3項目では、民間保育施設の保育者の「重要」との回答比率が、市立保育園の保育者を10ポイント以上上回っています。



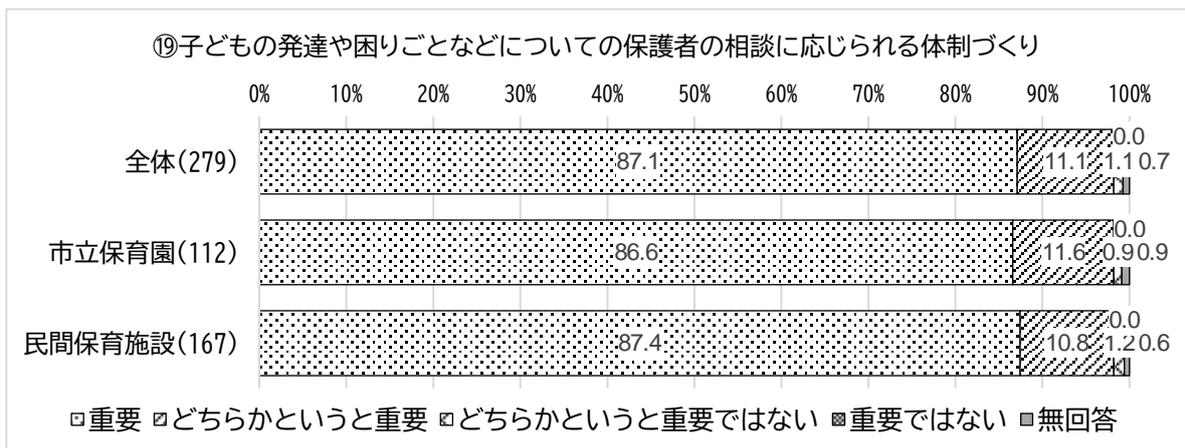
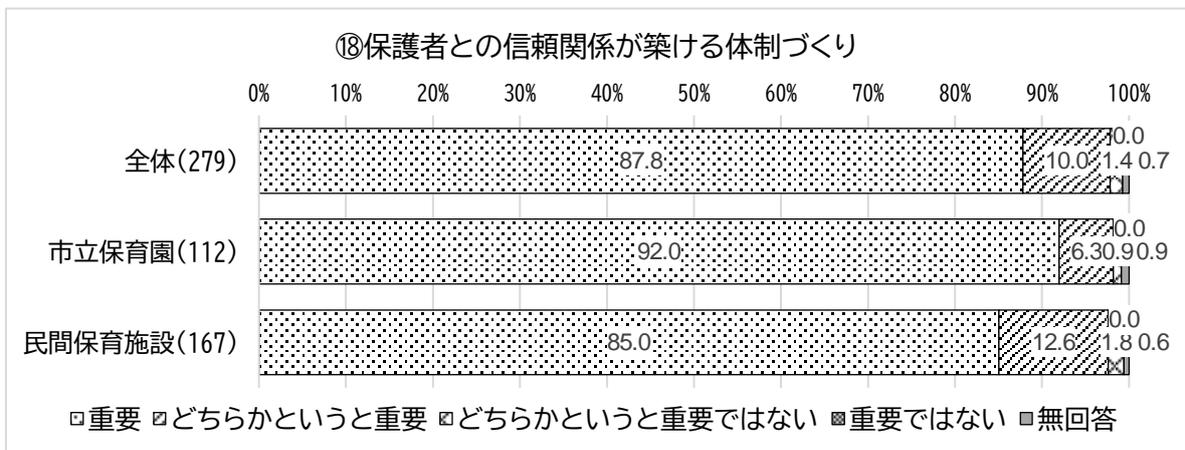
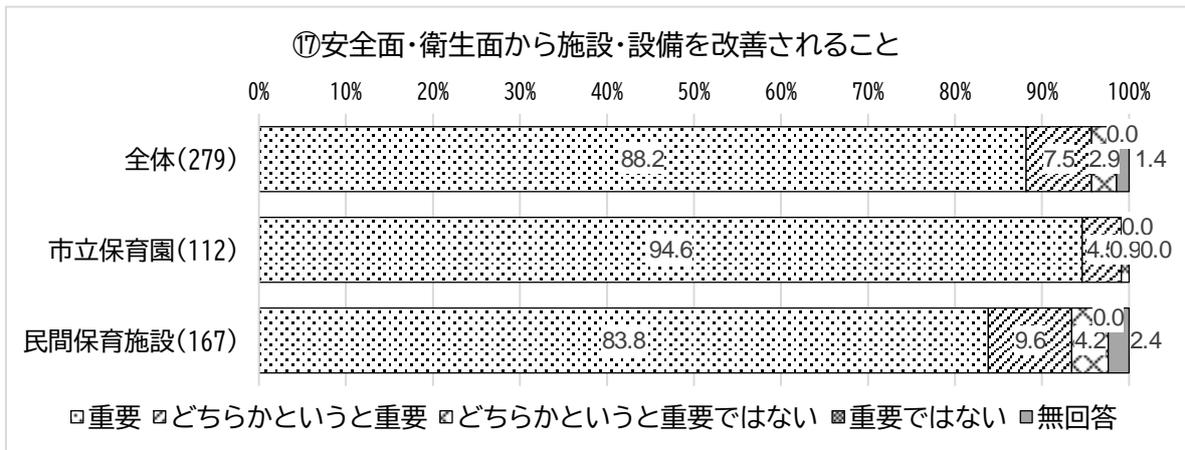
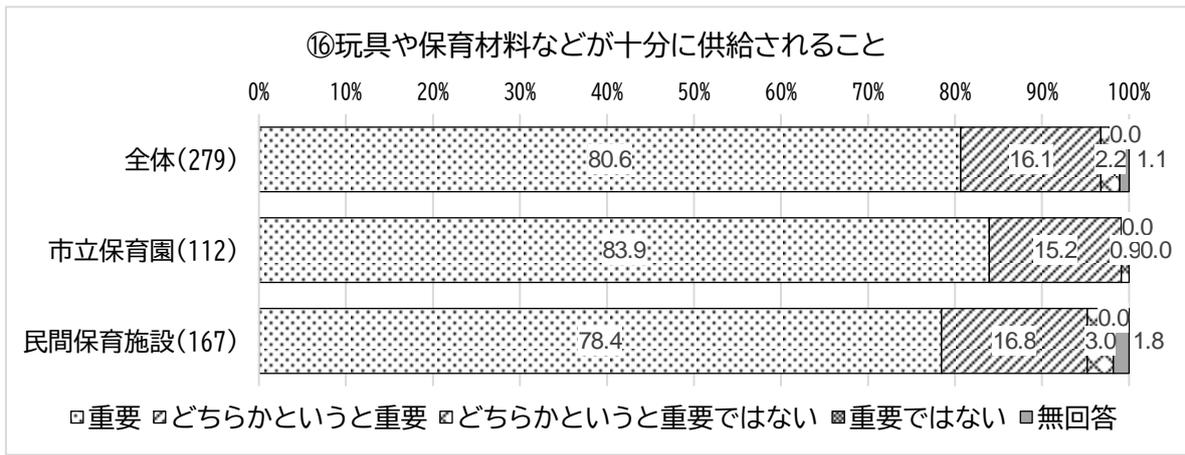


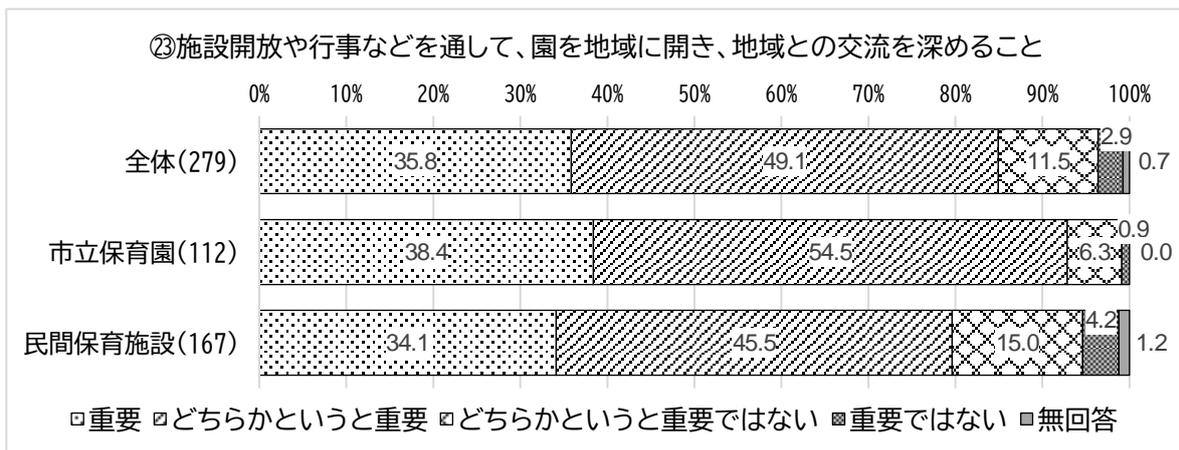
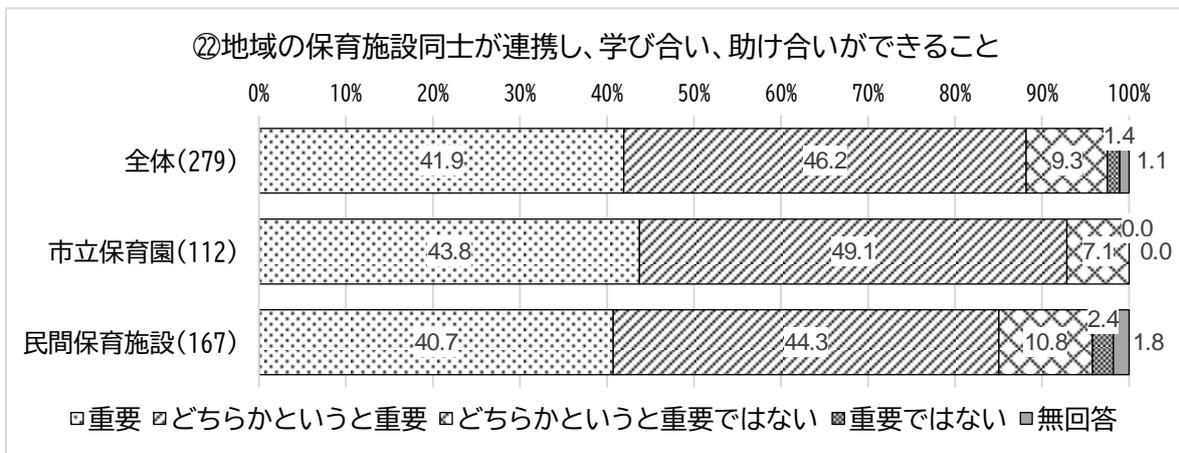
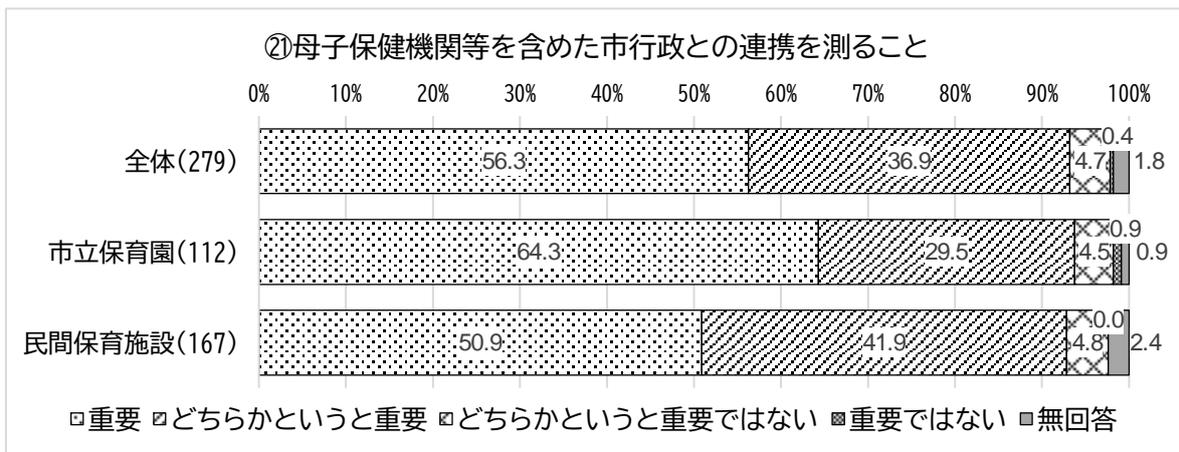
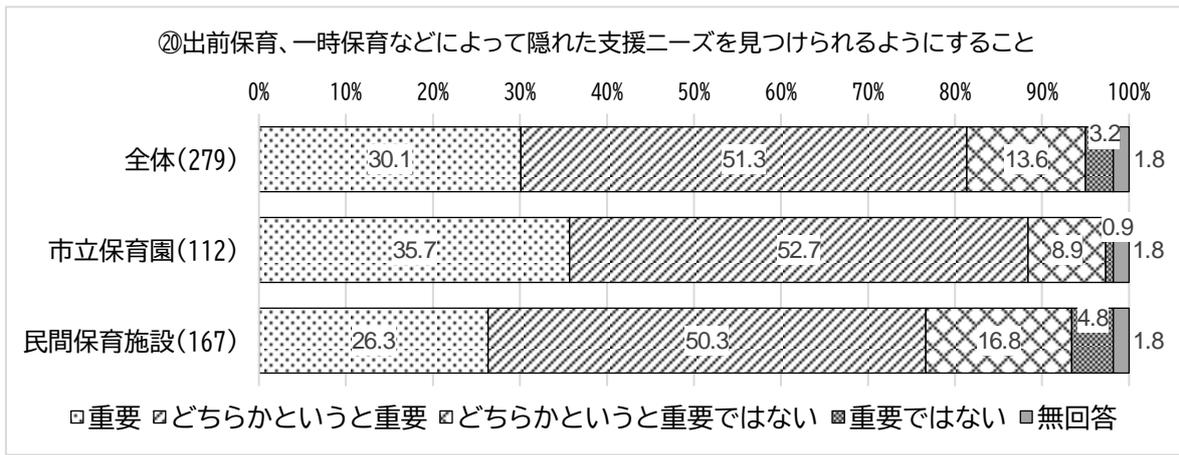
II 調査結果
3 保育者アンケート





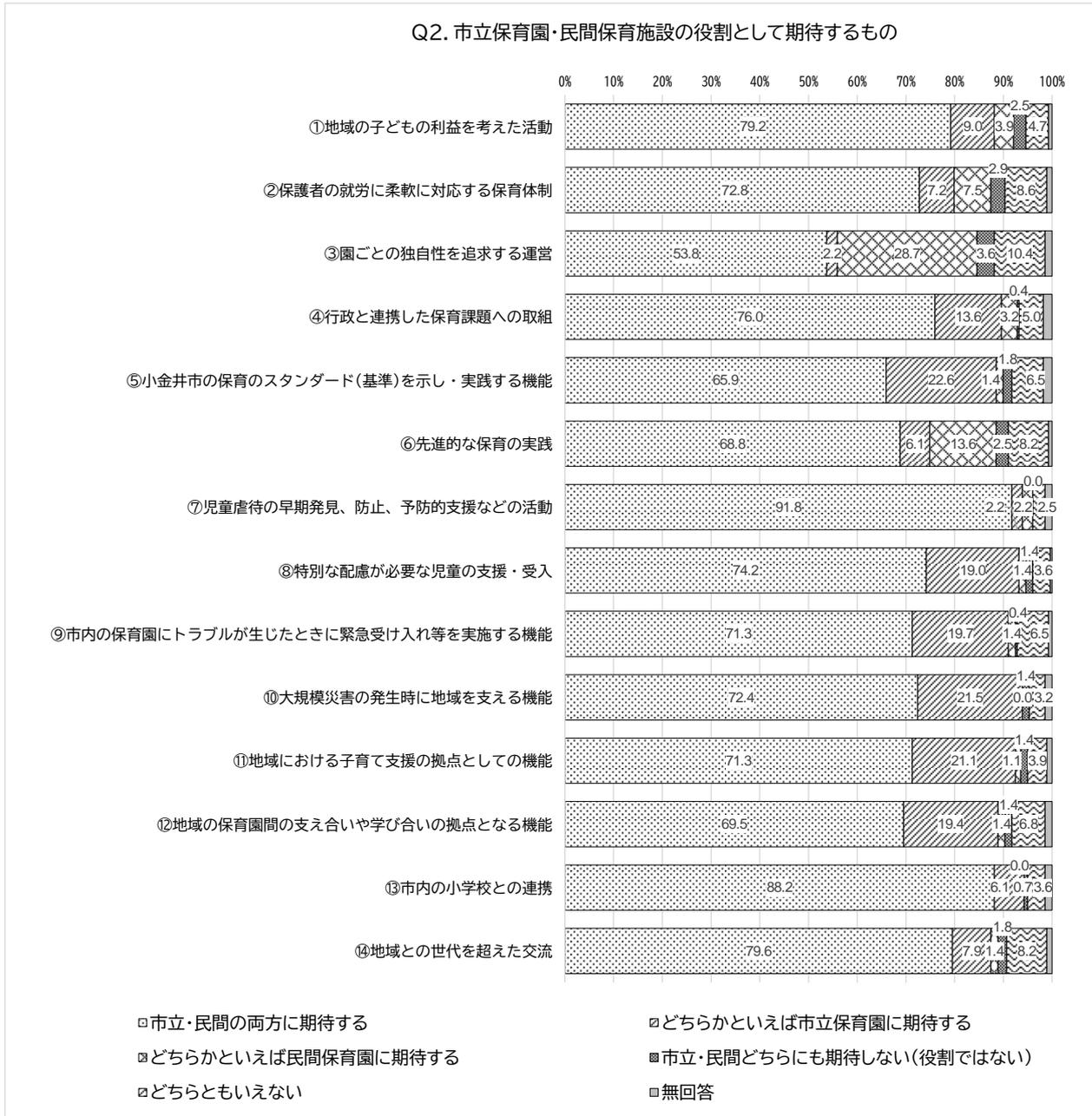
II 調査結果
3 保育者アンケート





II 調査結果
3 保育者アンケート

Q2. 市立保育園・民間保育園の役割として期待するもの(複数回答)

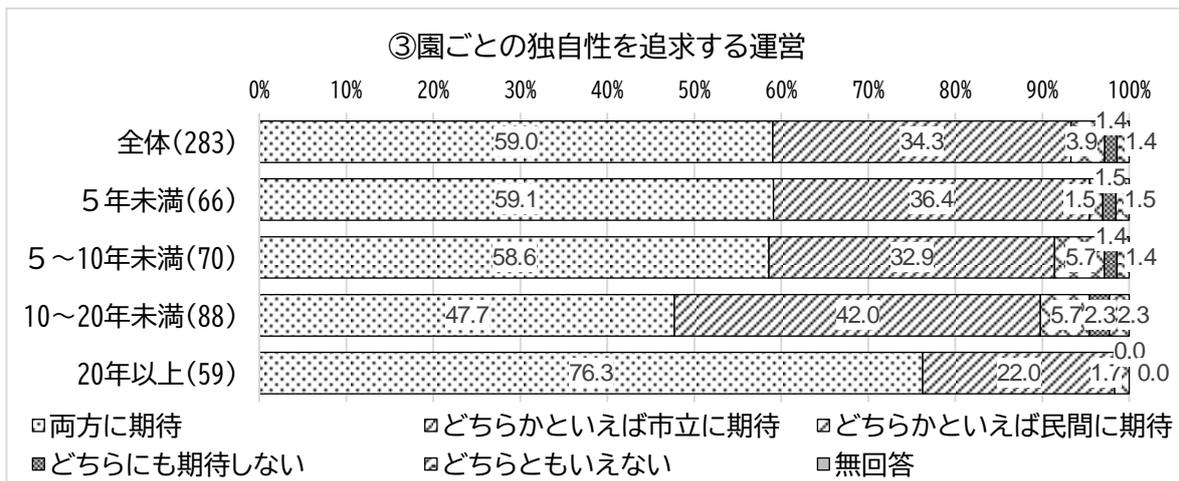
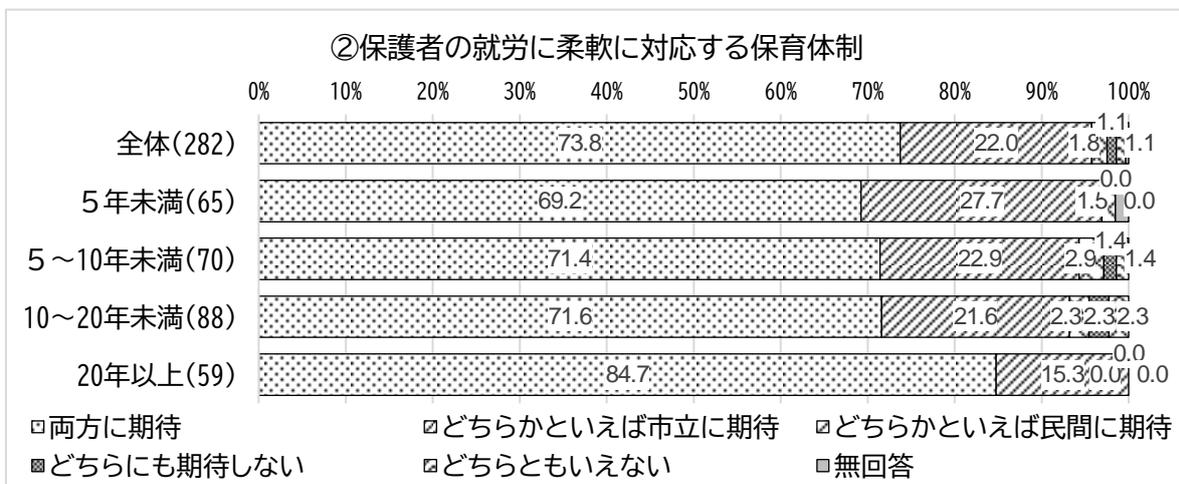
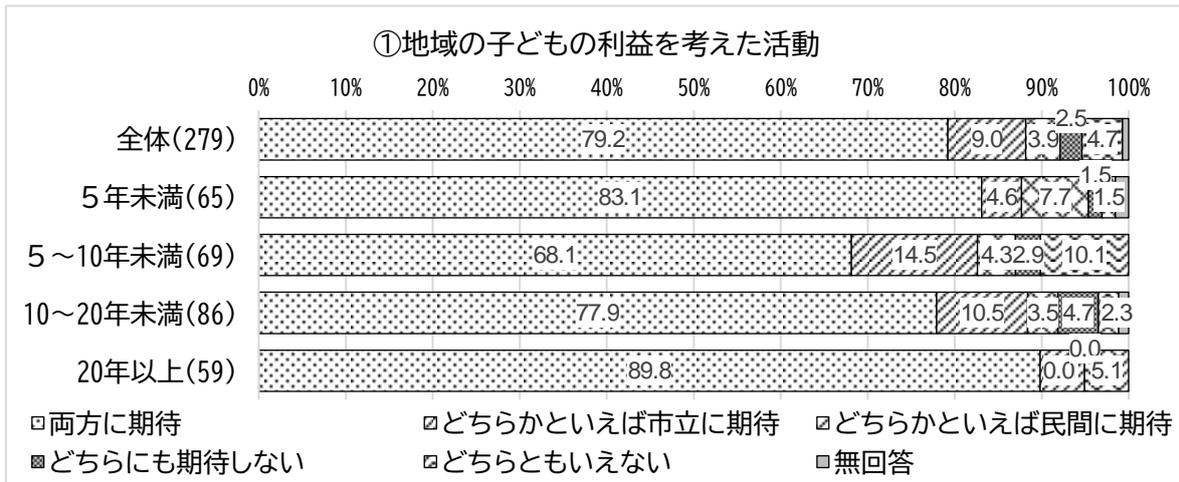


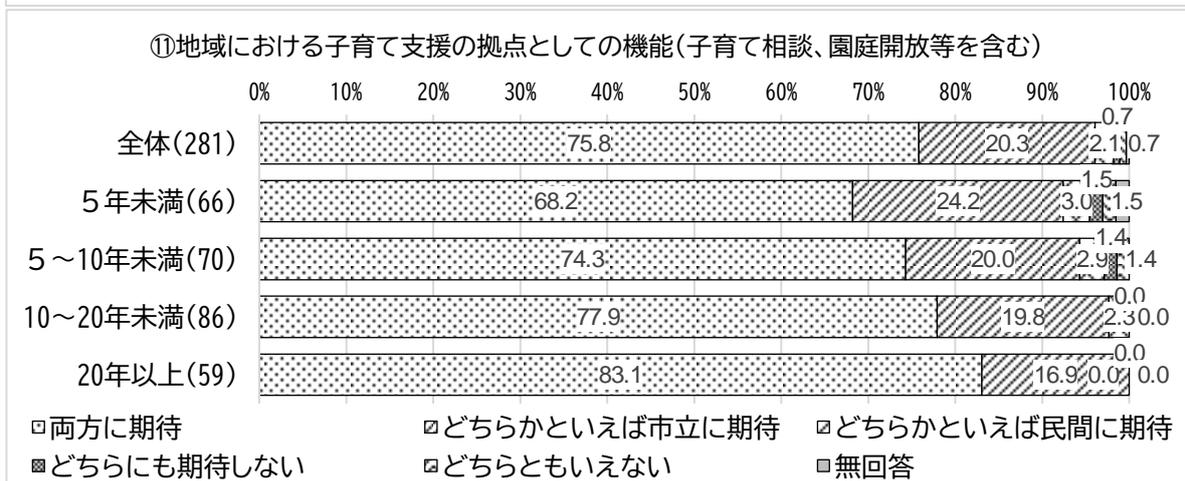
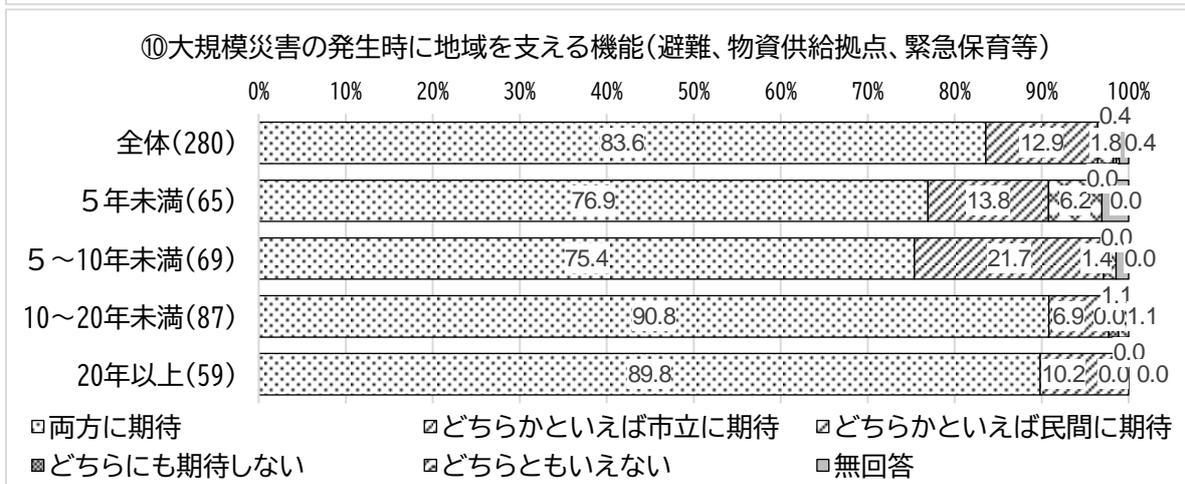
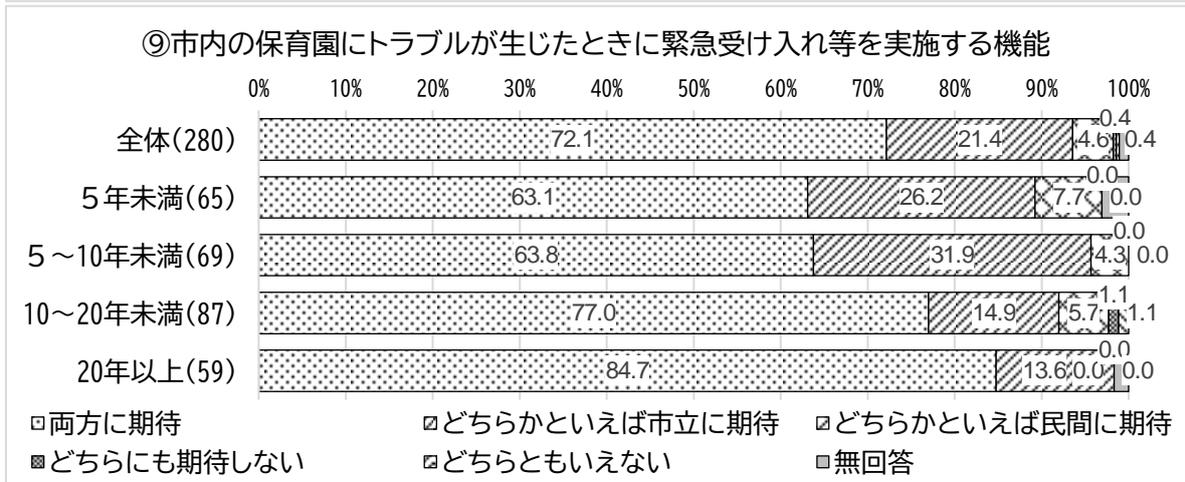
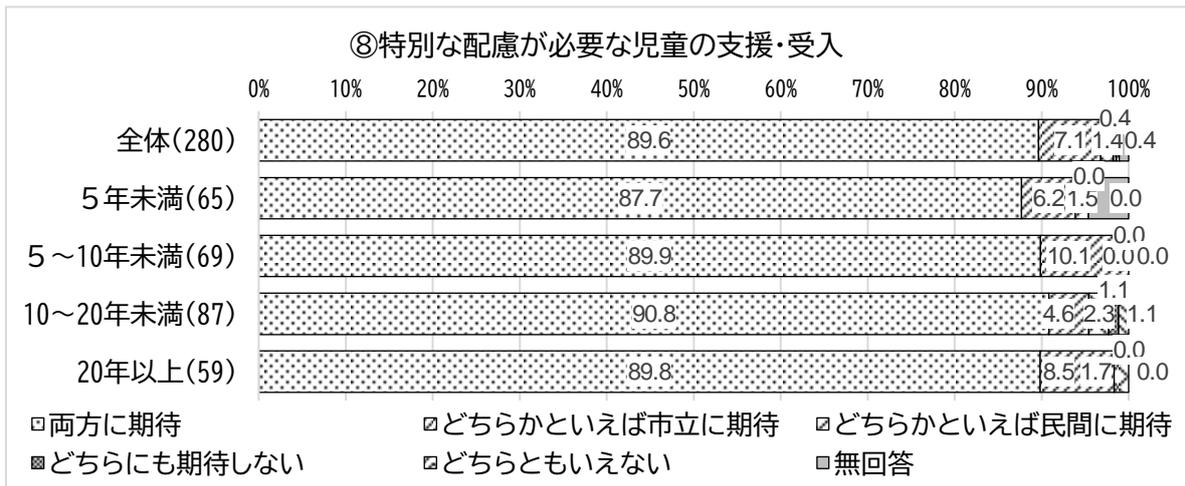
【全体】

- 「市立・民間の両方に期待する」は、すべての項目で最も比率が高くなっています。特に「⑦児童虐待の早期発見、防止、予防的支援などの活動」では90%以上、「⑬市内の小中学校との連携」では90%弱となっています。
- 「どちらかといえば市立保育園に期待する」は、「⑤小金井市の保育のスタンダード(基準)を示し・実践する機能」、「⑩大規模災害の発生時に地域を支える機能」、「⑪地域における子育て支援の拠点としての機能」、「⑨市内の保育園にトラブルが生じたときに緊急受け入れ等を実施する機能」、「⑫地域の保育園間の支え合いや学び合いの拠点となる機能」、「⑧特別な配慮が必要な児童の支援・受入」の6項目で20%前後と比較的比率が高くなっています。
- 「どちらかといえば民間保育園に期待する」は、「③園ごとの独自性を追求する運営」で20%台後半と比率が高くなっています。

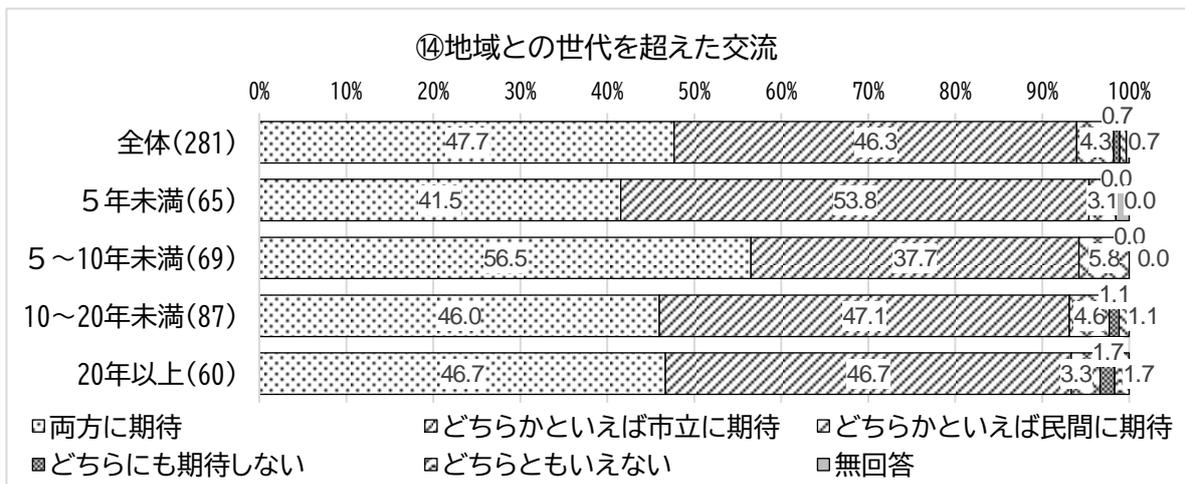
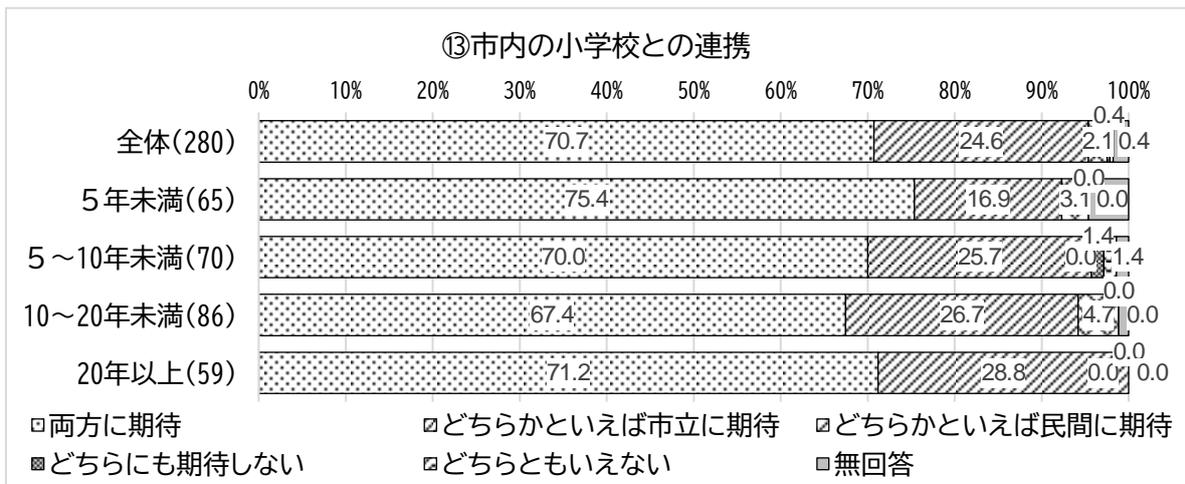
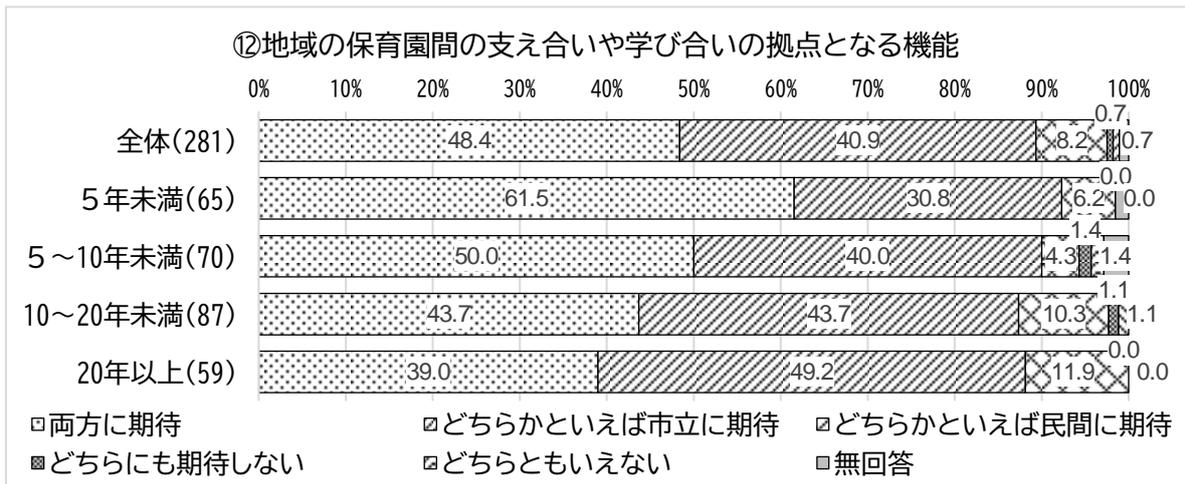
【属性別】経験年数

- 「②保護者の就労に柔軟に対応する保育体制」では、経験年数が短いほど「どちらかといえば市立に期待」が増加する傾向がみられます。
- 「⑨市内の保育園にトラブルが生じたときに緊急受け入れ等を実施する機能」及び「⑩地域における子育て支援の拠点としての機能（子育て相談、園庭開放等を含む）」では、経験年数が長いほど、「両方に期待」が増加する傾向がみられます。
- 「⑫地域の保育園間の支え合いや学び合いの拠点となる機能」では、経験年数が長いほど、「両方に期待」が減少し、「どちらかといえば民間に期待」が増加する傾向がみられます。



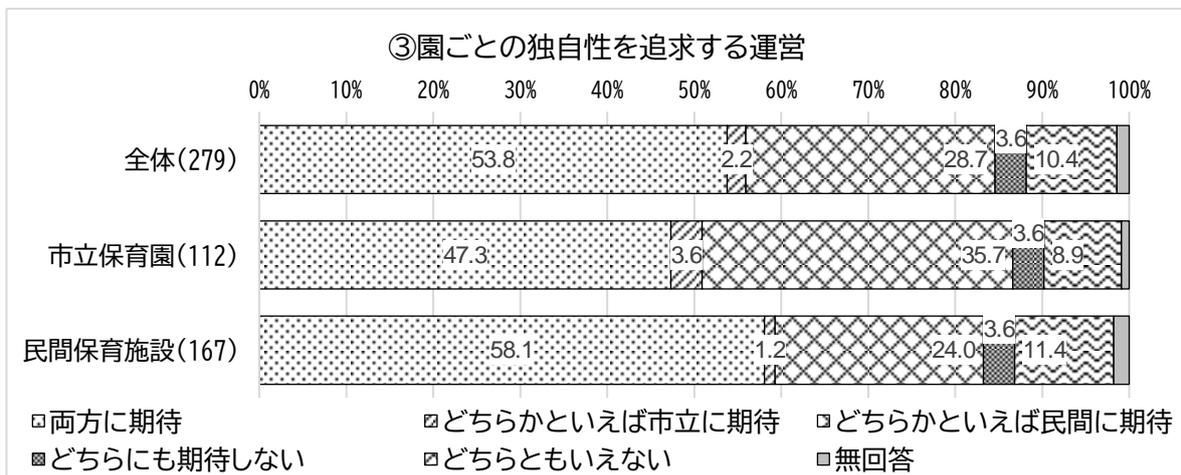
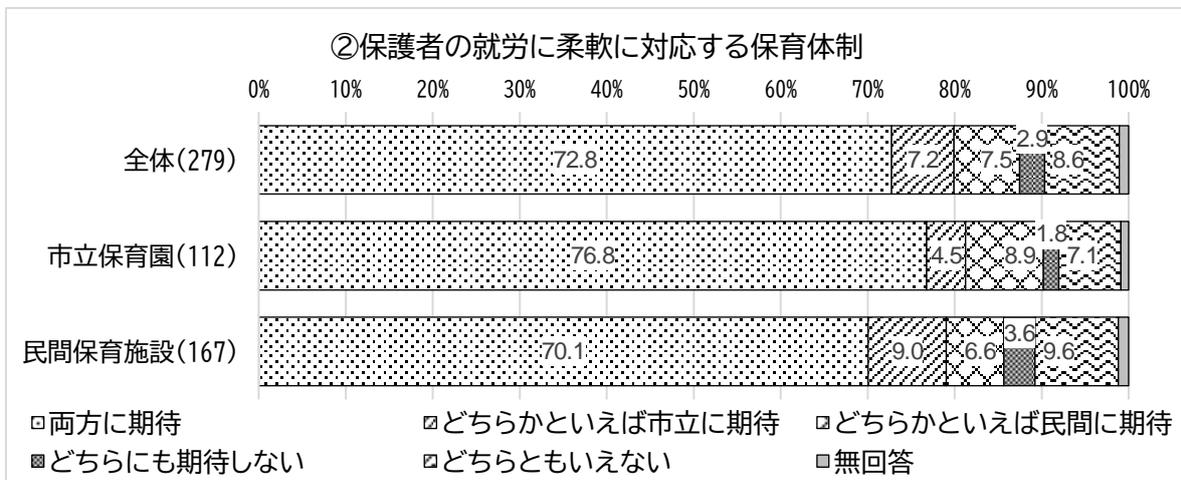
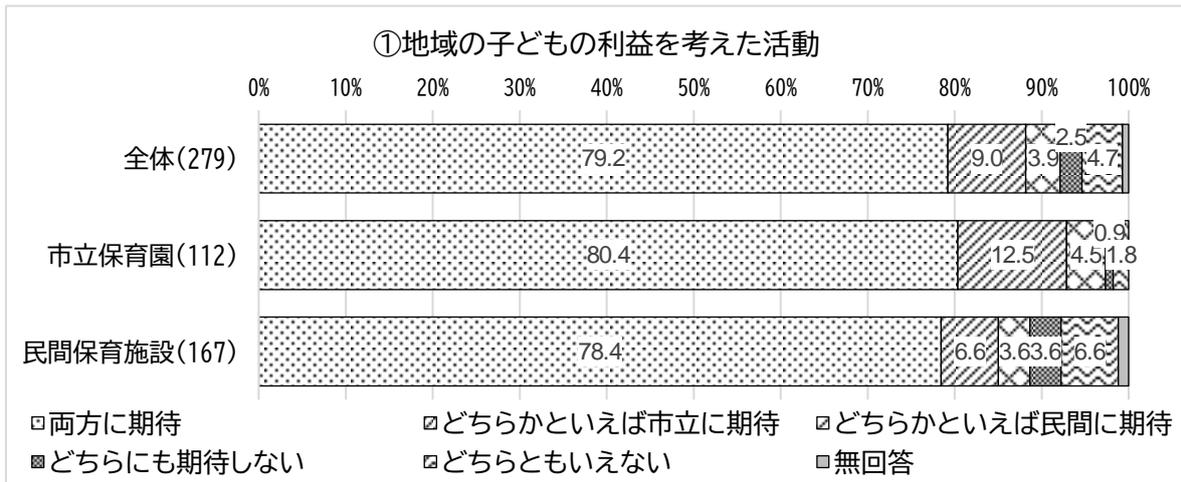


II 調査結果
3 保育者アンケート

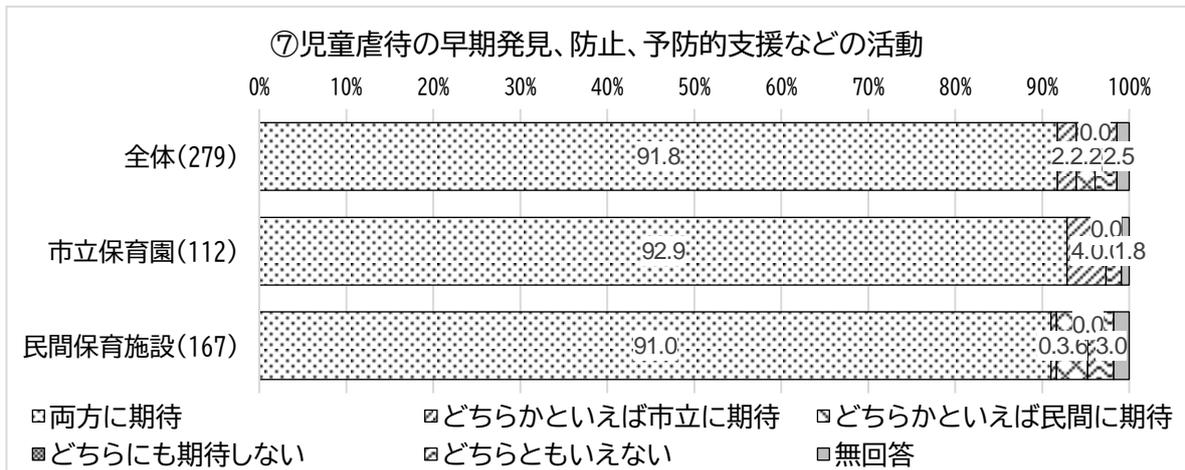
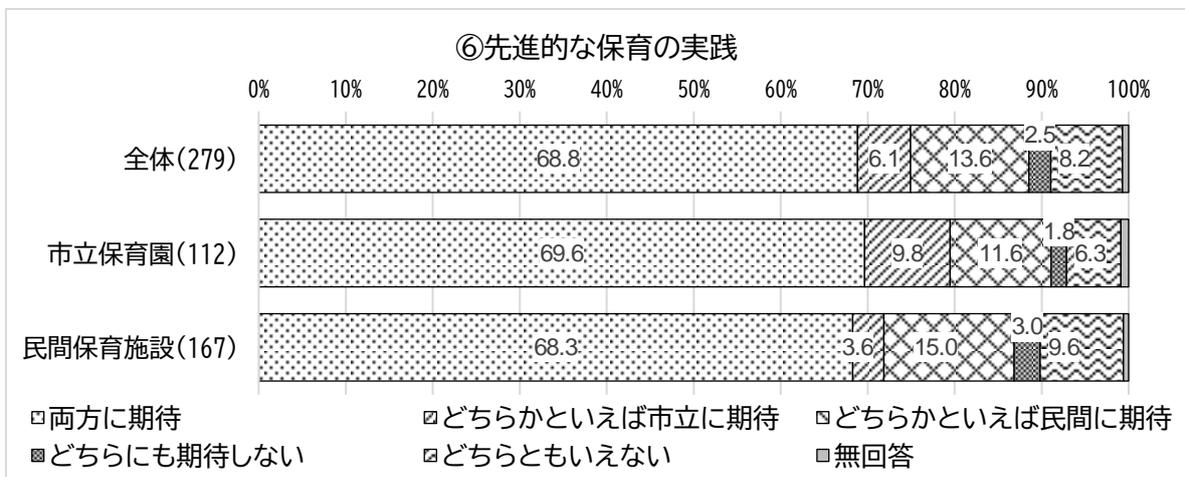
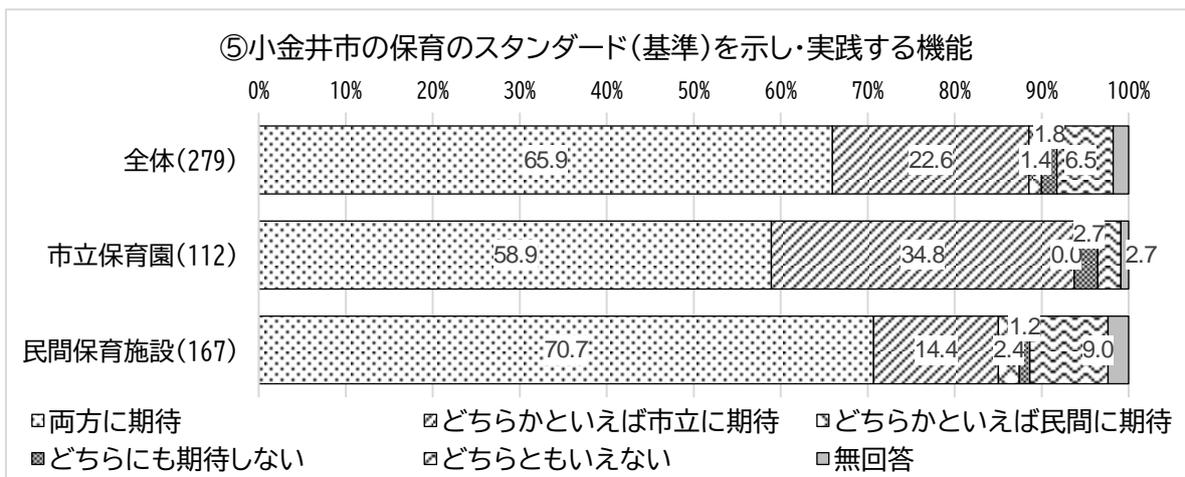
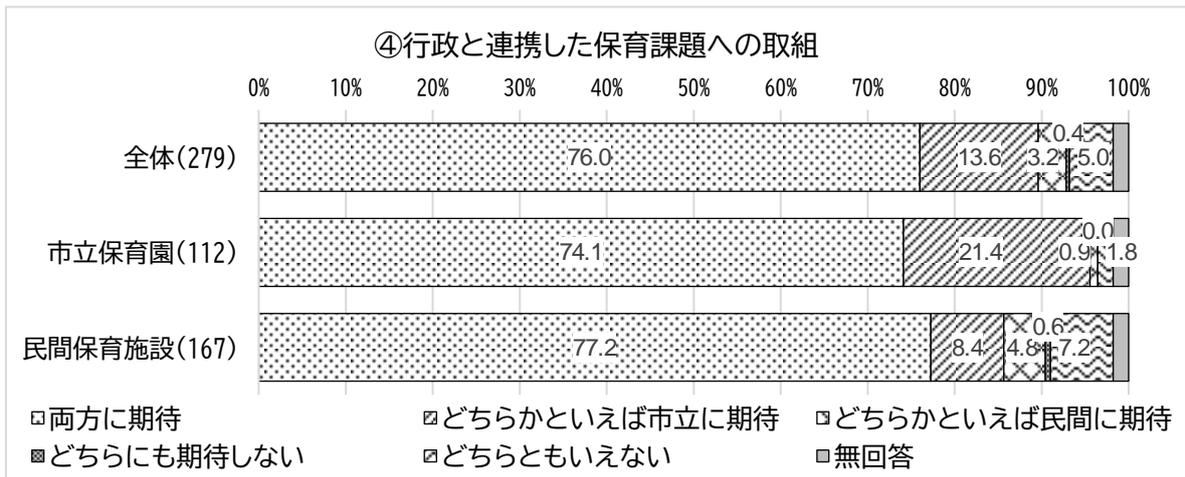


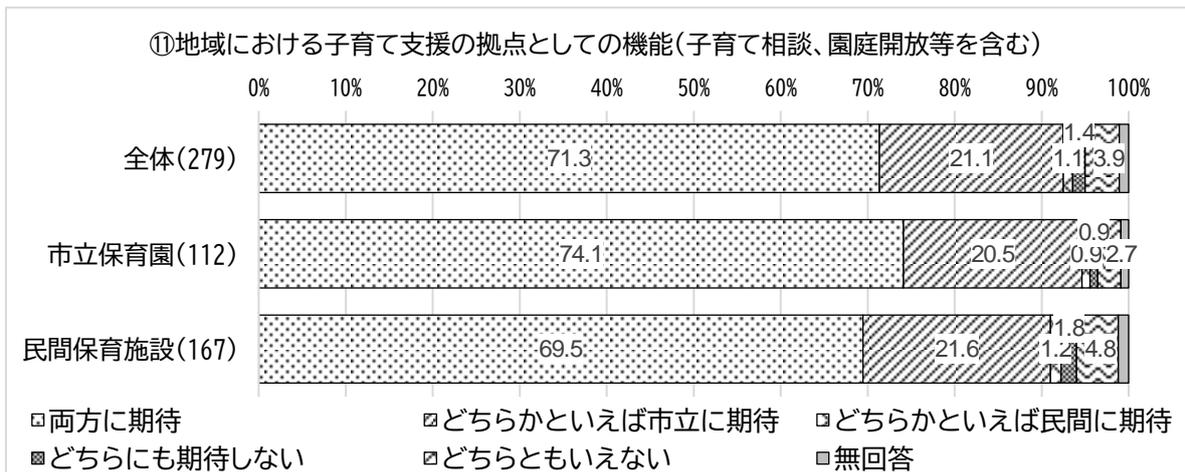
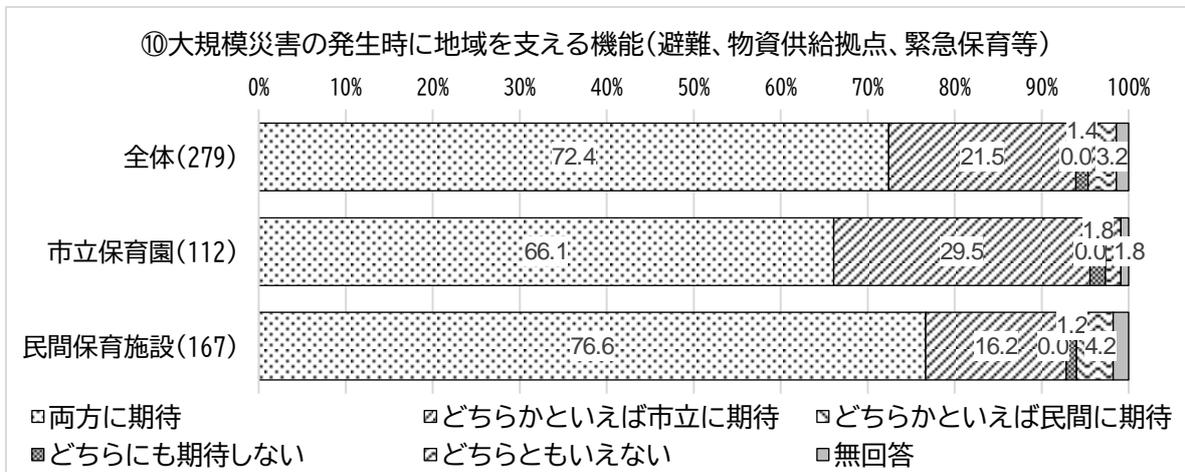
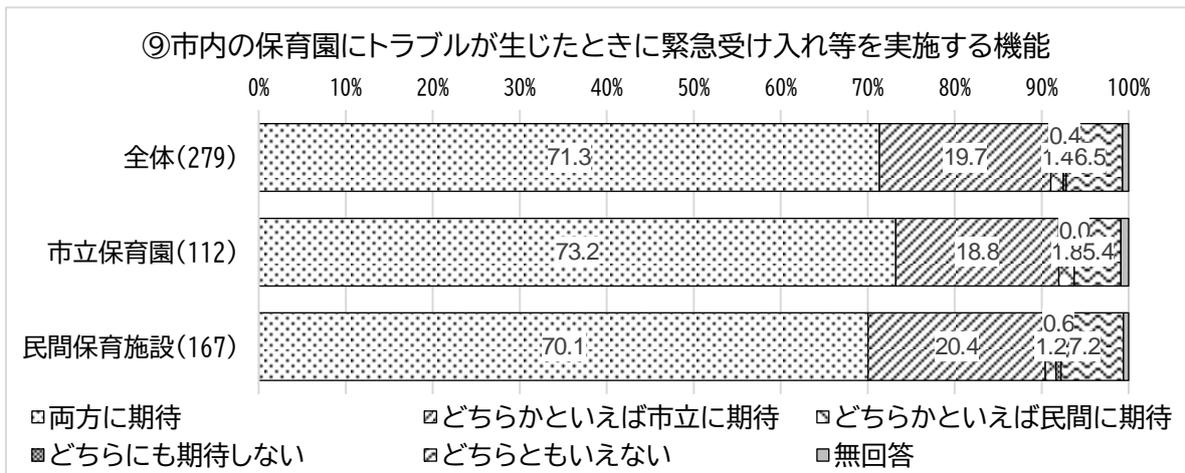
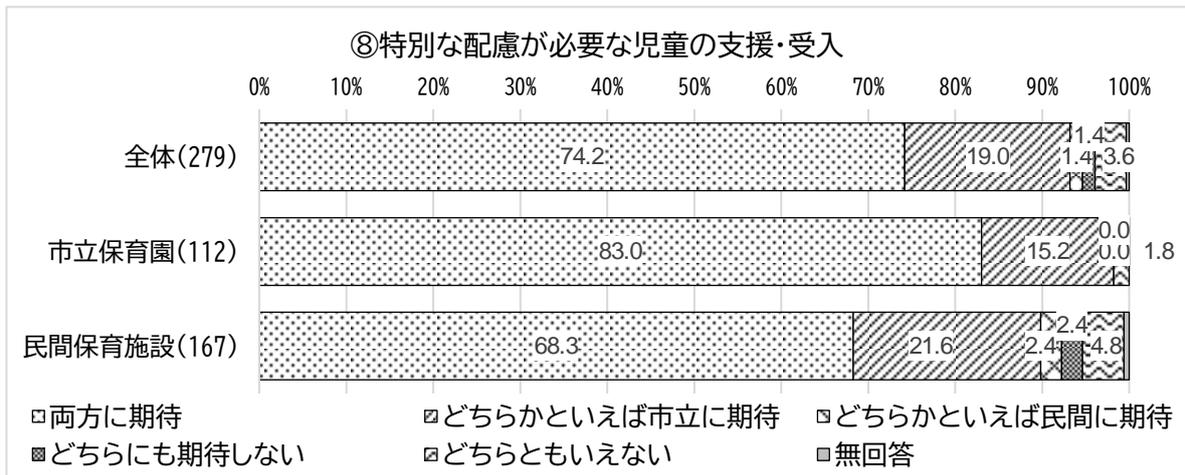
【属性別】勤務園の種類

- 「⑤小金井市の保育のスタンダード（基準）を示し・実践する機能」の「どちらかといえば市立に期待」の回答比率についてみると、市立保育園の保育者が民間保育施設の保育者を 20 ポイント以上上回っています。
- 「⑧特別な配慮が必要な児童の支援・受入」の「両方に期待」の回答比率では、市立保育園の保育者が民間保育施設の保育者を 15 ポイント程度上回っています。
- 「③園ごとの独自性を追求する運営」の「どちらかといえば民間に期待」の回答比率では、市立保育園の保育者が民間保育施設の保育者を 10 ポイント以上上回っています。

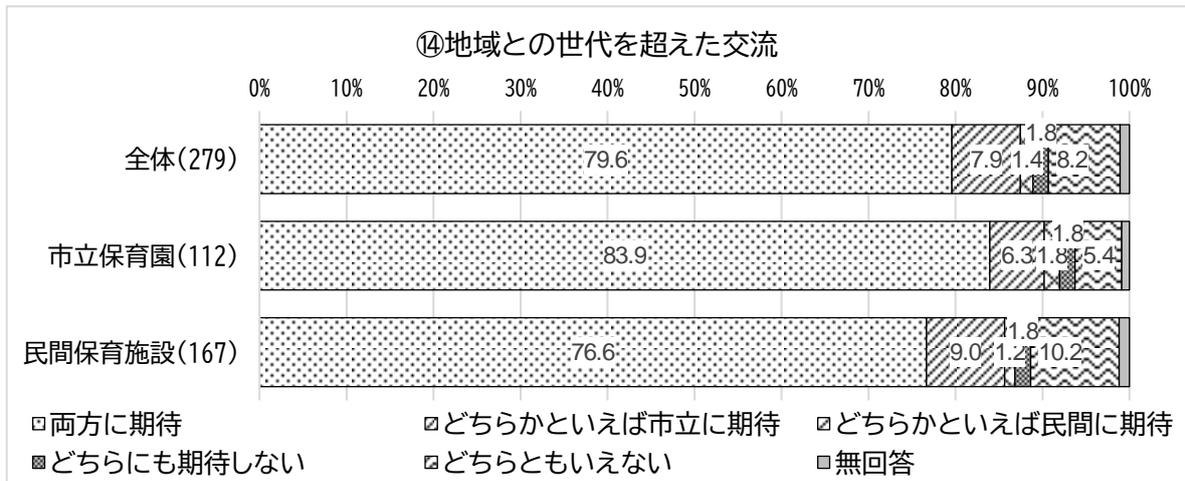
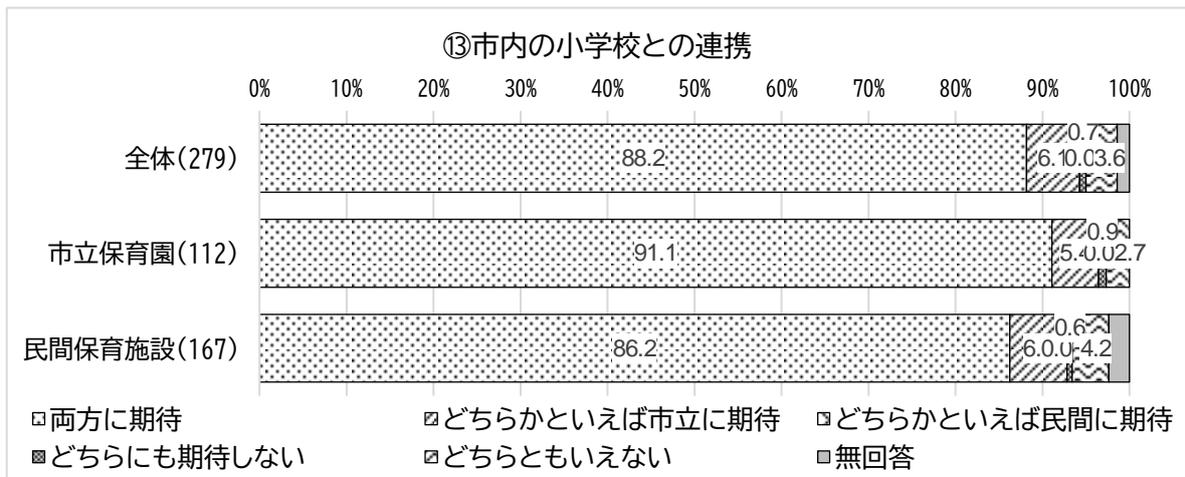
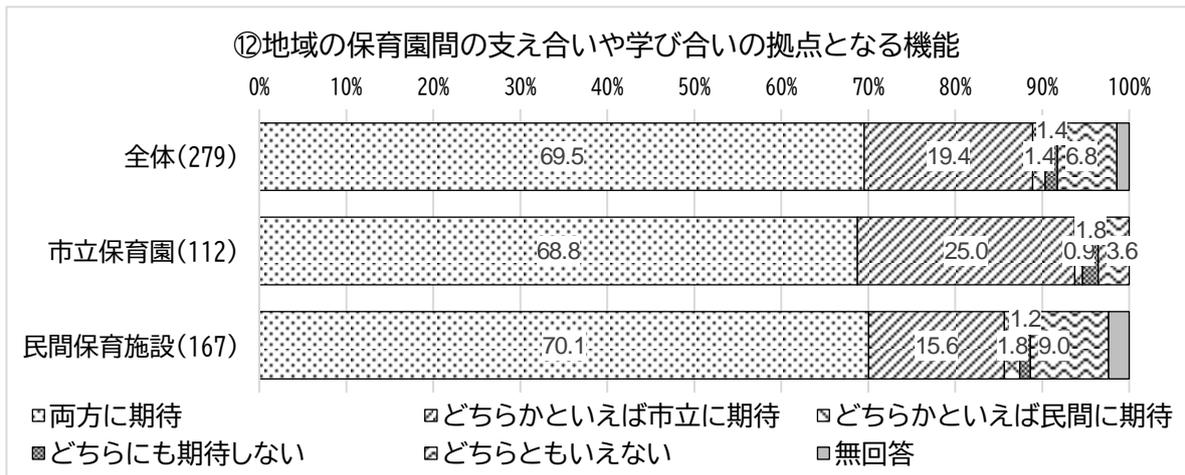


II 調査結果
3 保育者アンケート





II 調査結果
3 保育者アンケート



Q3. 現在の園で働くことを決めた理由(複数回答)

	全体	経験年数別				勤務園の種類別	
		5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	市立保育園	民間保育施設
		(279)	(65)	(69)	(86)	(59)	(112)
1 保育方針・保育内容	35.1	36.9	39.1	25.6	42.4	31.3	37.7
2 保育時間	18.3	26.2	15.9	19.8	10.2	16.1	19.8
3 業務の負荷	12.9	12.3	17.4	14.0	6.8	9.8	15.0
4 園の施設や設備	9.0	15.4	13.0	5.8	1.7	6.3	10.8
5 職場の雰囲気・人間関係	39.1	38.5	47.8	34.9	35.6	32.1	43.7
6 職場の保育士の信頼度・指導力	16.8	12.3	15.9	15.1	25.4	28.6	9.0
7 給料	34.8	44.6	40.6	31.4	22.0	26.8	40.1
8 経営の安定性	21.5	9.2	10.1	26.7	40.7	40.2	9.0
9 自宅からのアクセス	55.6	52.3	47.8	62.8	57.6	62.5	50.9
10 その他	5.7	4.6	4.3	5.8	8.5	5.4	6.0

【全体】

- 全体では、「自宅からのアクセス」が 55.6%で最も比率が高く、以下、「職場の雰囲気・人間関係」、「保育方針・保育内容」、「給料」が 30%台が続いています。

【属性別】経験年数

- 「自宅からのアクセス」は、経験年数に関わらず第1位となっていますが、「5～10年未満」では「職場の雰囲気・人間関係」と同率の1位となっています。
- 「給料」や「保育時間」、「園の施設や設備」は、経験年数が短い層ほど比率が高くなる傾向がみられる一方、「経営の安定性」は経験年数が長い人で比率が高いという傾向がみられます。

【属性別】勤務園の種類

- 市立保育園の保育者では、民間保育施設の保育者に比べ、「職場の安定性」では 30 ポイント以上、「職場の保育士の信頼度・指導力」では約 20 ポイント、「自宅からのアクセス」では 10 ポイント以上上回っています。
- 民間保育施設の保育者では「自宅からのアクセス」が 50.9%と比率が高いほか、「職場の雰囲気・人間関係」及び「給料」が 40%以上となっています。

II 調査結果
3 保育者アンケート

Q4. 保育士が不足している理由(複数回答)

	経験年数別					勤務園の種類別	
	全体	5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	市立保育園	民間保育施設
	(279)	(65)	(69)	(86)	(59)	(112)	(167)
給料の安さ	93.9	96.9	92.8	98.8	84.7	93.8	94.0
責任の重さ	76.3	64.6	73.9	80.2	86.4	83.9	71.3
業務量の多さ	84.2	83.1	76.8	91.9	83.1	83.0	85.0
休暇の取得の難しさ	60.9	49.2	52.2	67.4	74.6	75.0	51.5
勤務時間の柔軟性のなさ	41.2	32.3	37.7	50.0	42.4	50.9	34.7
社会的な評価の低さ	48.4	24.6	53.6	58.1	54.2	45.5	50.3
雇用の不安定さ	14.3	9.2	11.6	18.6	16.9	15.2	13.8
保育内容の理想と現実のギャップ	48.7	33.8	50.7	57.0	50.8	44.6	51.5
職場内での人間関係の難しさ	52.3	52.3	58.0	60.5	33.9	43.8	58.1
保護者との人間関係の難しさ	48.0	26.2	52.2	55.8	55.9	50.0	46.7
その他	1.8	0.0	2.9	3.5	0.0	0.9	2.4

【全体】

- 全体では、「給料の安さ」が93.9%で最も比率が高く、以下、「業務量の多さ」、「責任の重さ」、「休暇の取得の難しさ」が60～80%台で続いています。

【属性別】経験年数

- 「給料の安さ」は経験年数に関わらず上位に位置していますが、20年以上では80%台と低く、「責任の重さ」が第1位となっています。また、「責任の重さ」や「休暇取得の難しさ」は経験年数が長いほど高くなる傾向がみられます。
- 「社会的な評価の低さ」や「保育内容の理想と現実のギャップ」、「保護者との人間関係の難しさ」は5年未満では20～30%台と低い一方で、5年以上では50%台となっており、経験年数による差が大きくなっています。

【属性別】勤務園の種類

- 「休暇取得の難しさ」や「勤務時間の柔軟性のなさ」、「責任の重さ」は、民間保育施設の保育者に比べて市立保育園の保育者で高くなっています。
- 一方、「職場内での人間関係の難しさ」は市立保育園の保育者に比べ、民間保育施設の保育者で高くなっています。